

＜集計分析結果＞

(クロス集計版)

# 在宅介護実態調査の集計結果

～第 9 期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和 5 年 3 月

＜本庄市＞



## 目次

1	在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討.....	1
1.1	集計・分析の狙い.....	1
1.2	集計結果と着目すべきポイント.....	1
(1)	基礎集計.....	1
(2)	要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化..	4
(3)	要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化.....	8
(4)	「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係.....	10
(5)	「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係.....	15
(6)	「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係.....	19
(7)	「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係.....	22
2	仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討.....	34
2.1	集計・分析の狙い.....	34
2.2	集計結果と着目すべきポイント.....	35
(1)	基本集計.....	35
(2)	就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み.....	38
(3)	「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見 込み」の関係.....	42
(4)	「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係.....	48
(5)	就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況.....	51
(6)	就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援.....	55
3	保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	60
3.1	集計・分析の狙い.....	60
3.2	集計結果と着目すべきポイント.....	61
(1)	基礎集計.....	61
(2)	世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス	63
(3)	「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」.....	65
(4)	「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」.....	69
4	将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	73
4.1	集計・分析の狙い.....	73
4.2	集計結果と着目すべきポイント.....	73
(1)	基礎集計.....	73
(2)	「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」.....	75
(3)	「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」.....	77
(4)	「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」.....	80
5	医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討.....	85
5.1	集計・分析の狙い.....	85
5.2	集計結果と着目すべきポイント.....	85

(1) 基礎集計.....	85
(2) 訪問診療の利用割合.....	90
(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ.....	92
(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無.....	93
6 サービス未利用の理由など.....	95
6.1 集計・分析の狙い.....	95
6.2 集計結果（参考）.....	96
(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由.....	96
(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由.....	100
(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス.....	107
(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢.....	111
(5) 要介護度別の抱えている傷病.....	112
(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病.....	114

※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

## 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

### 1.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。
- それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができるのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。
- なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の2つからなります。
- また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護3以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

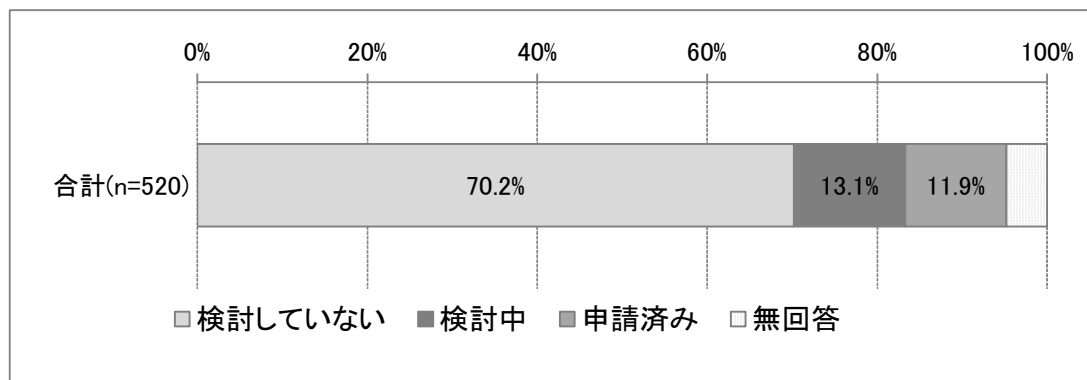
### 1.2 集計結果と着目すべきポイント

#### (1) 基礎集計

##### 【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く70.2%となっている。次いで、「検討中（13.1%）」、「申請済み（11.9%）」となっている。

図表 1-1 施設等検討の状況



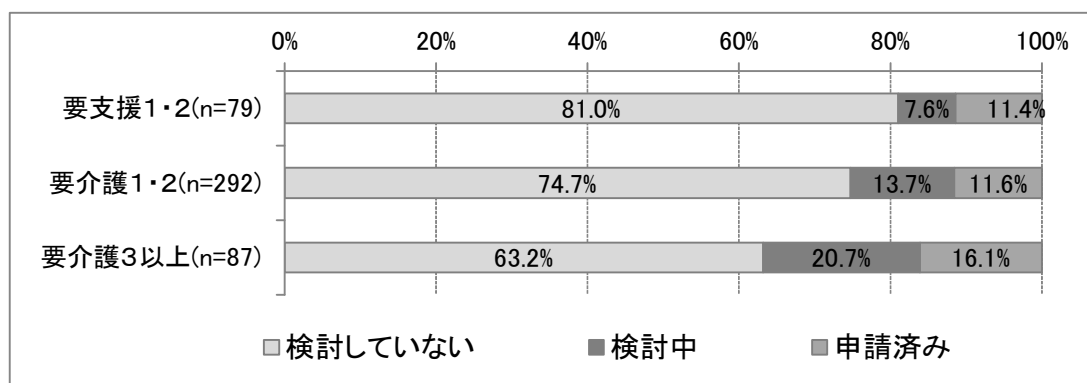
### 【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定<sup>1</sup>結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が81.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が11.4%、「検討中」が7.6%となっている。

「要介護１・２」では「検討していない」が74.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が13.7%、「申請済み」が11.6%となっている。

「要介護３以上」では「検討していない」が63.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.7%、「申請済み」が16.1%となっている。

図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況<+>



<sup>1</sup> 要介護や要支援状態の区分、あるいは非該当を決める最終的な判定。一次判定をもとに、主治医意見書、基本調査の特記事項などと合わせて、市町村の介護認定審査会の委員の合議で決められる。数字が大きくなるほど、支援を必要とする度合いが大きくなることを示す。

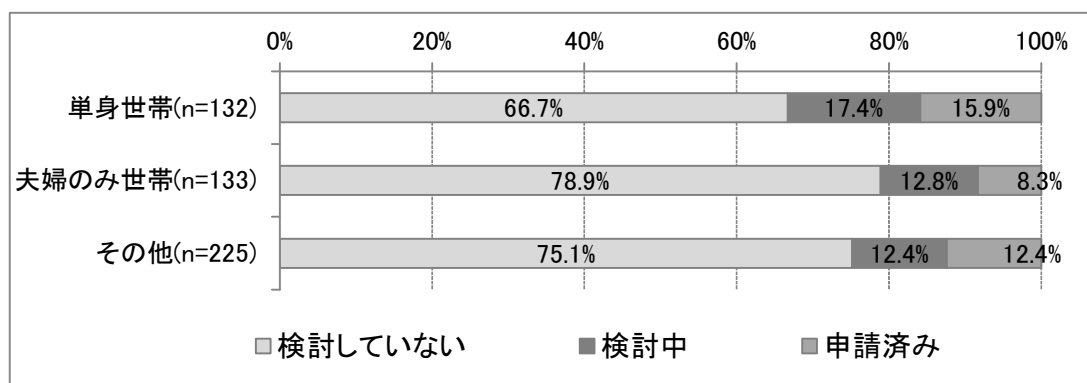
### 【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.4%、「申請済み」が15.9%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が78.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.8%、「申請済み」が8.3%となっている。

「その他」では「検討していない」が75.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が12.4%となっている。

図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

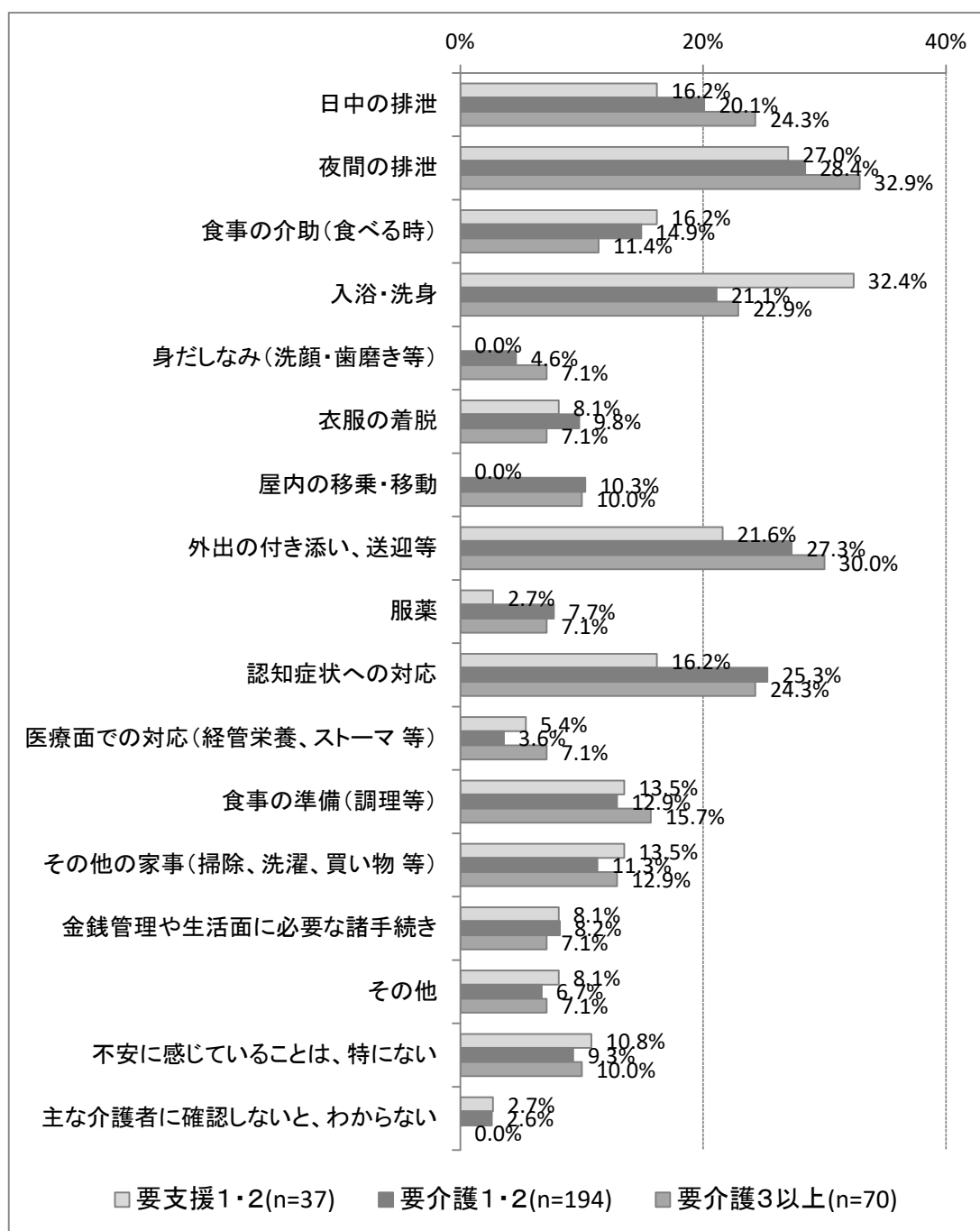
介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「入浴・洗身」が 32.4%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 27.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 21.6%となっている。

「要介護１・２」では「夜間の排泄」が 28.4%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 27.3%、「認知症状への対応」が 25.3%となっている。

「要介護３以上」では「夜間の排泄」が 32.9%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 30.0%、「日中の排泄」、「認知症状への対応」が 24.3%となっている。



図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



#### 【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度<sup>2</sup>別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が32.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が26.1%、「夜間の排泄」が23.6%となっている。

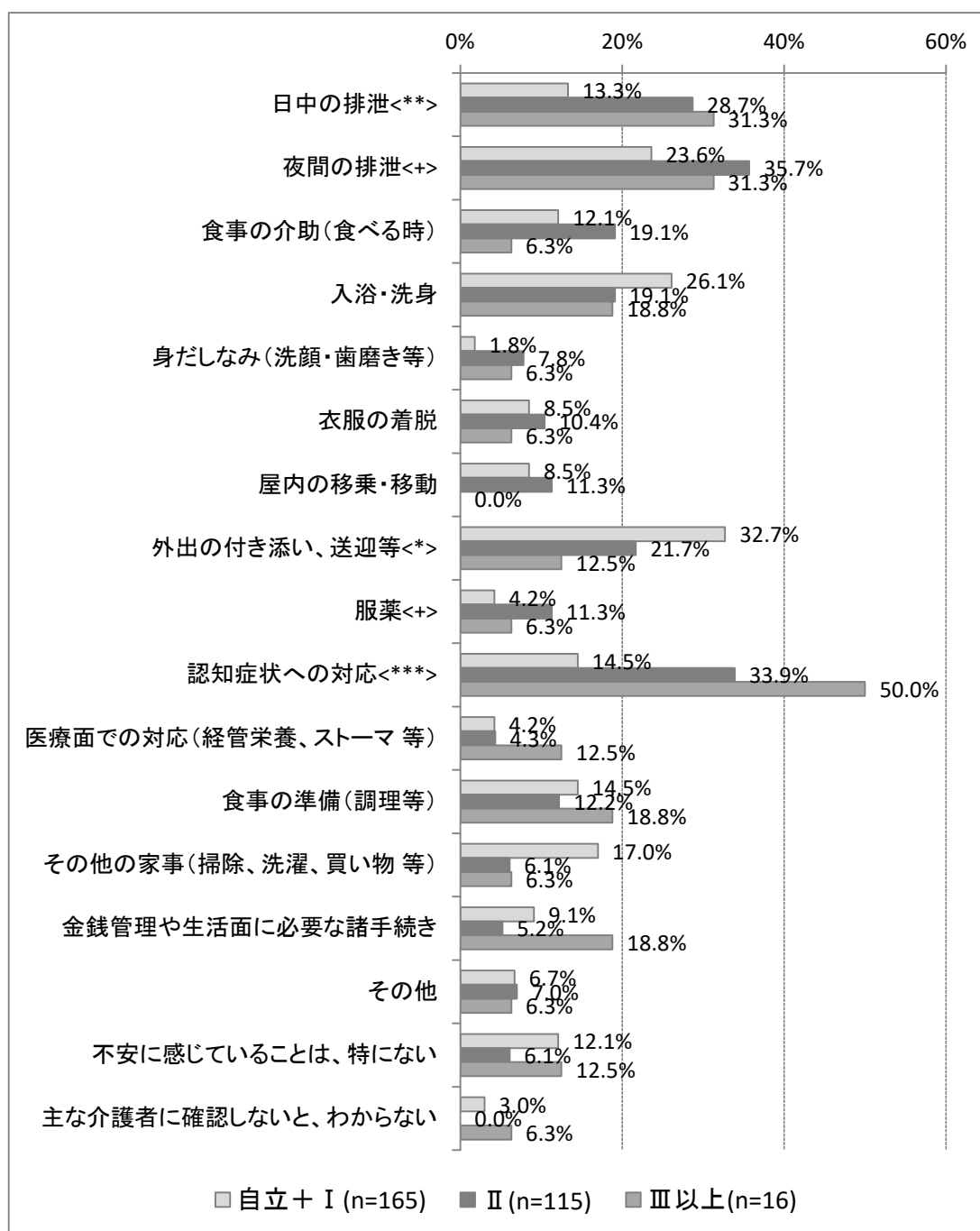
「Ⅱ」では「夜間の排泄」が35.7%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が33.9%、「日中の排泄」が28.7%となっている。

「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が31.3%、「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が18.8%となっている。

---

<sup>2</sup> 認知症のある高齢者が日常生活を送る上で支援を必要とする度合いを示すもの。「自立」と「Ⅰ」は日常生活ではほぼ自立している状態、「Ⅱ」は日常生活に多少の困難を抱えている状態、「Ⅲ以上」は、日常生活に大きな支障を抱えており、介護を必要とする状態を指す。

図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護



### (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

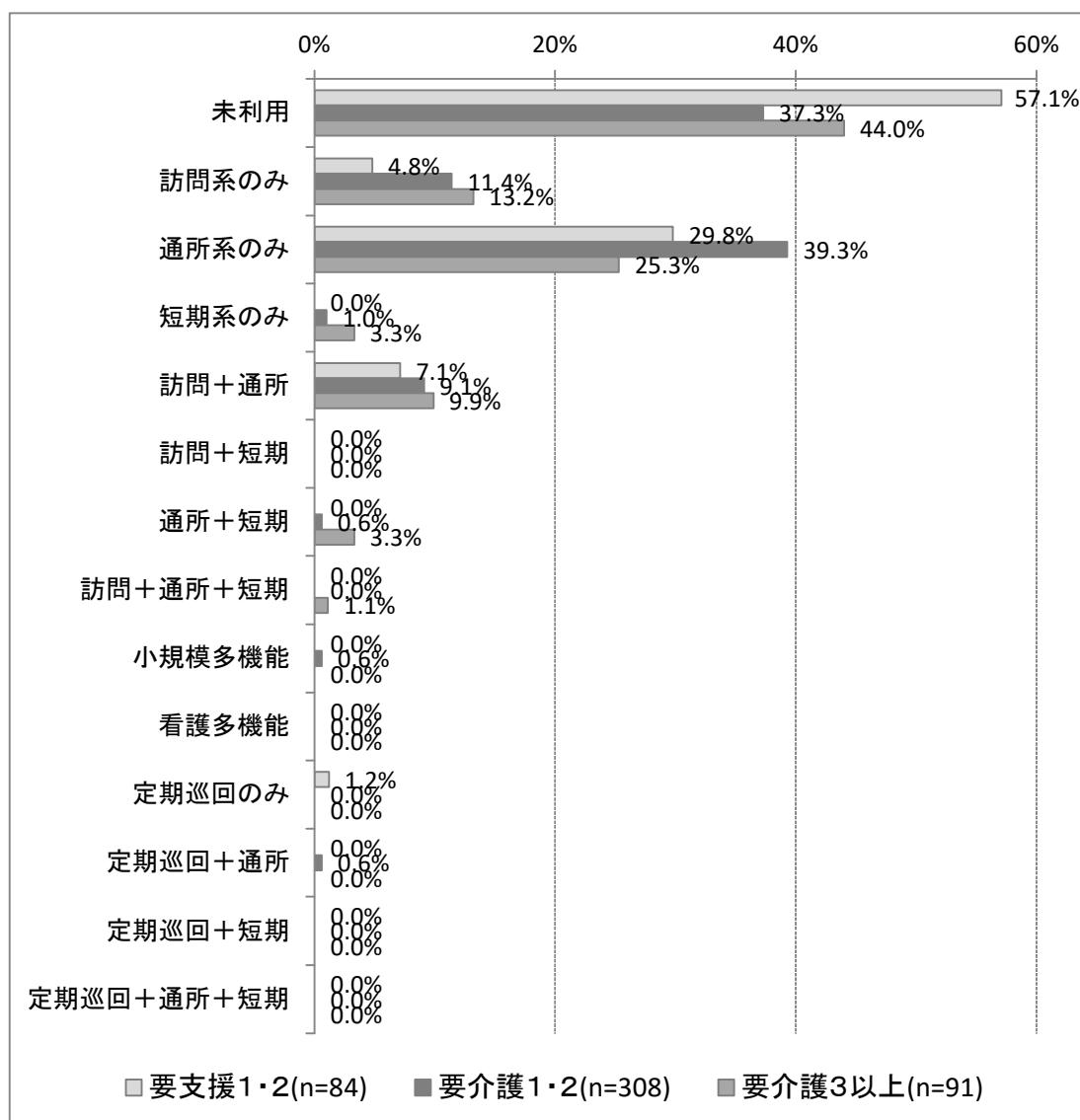
#### 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が57.1%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が29.8%、「訪問+通所」が7.1%となっている。

「要介護1・2」では「通所系のみ」が39.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が37.3%、「訪問系のみ」が11.4%となっている。

「要介護3以上」では「未利用」が44.0%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が25.3%、「訪問系のみ」が13.2%となっている。

図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<\*\*>



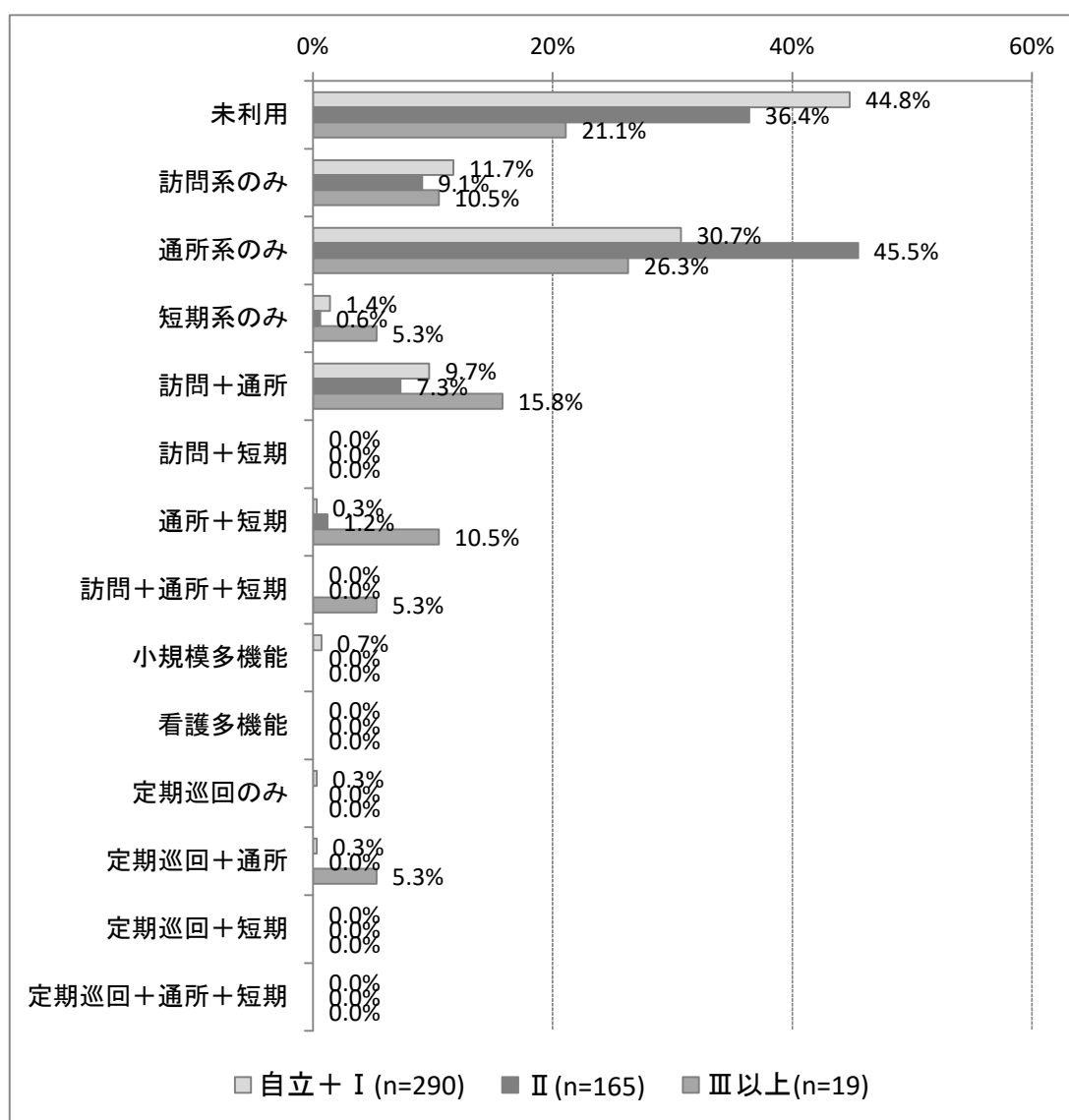
# 【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が44.8%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が30.7%、「訪問系のみ」が11.7%となっている。

「Ⅱ」では「通所系のみ」が45.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.4%、「訪問系のみ」が9.1%となっている。

「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が26.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が21.1%、「訪問+通所」が15.8%となっている。

図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<\*\*\*>



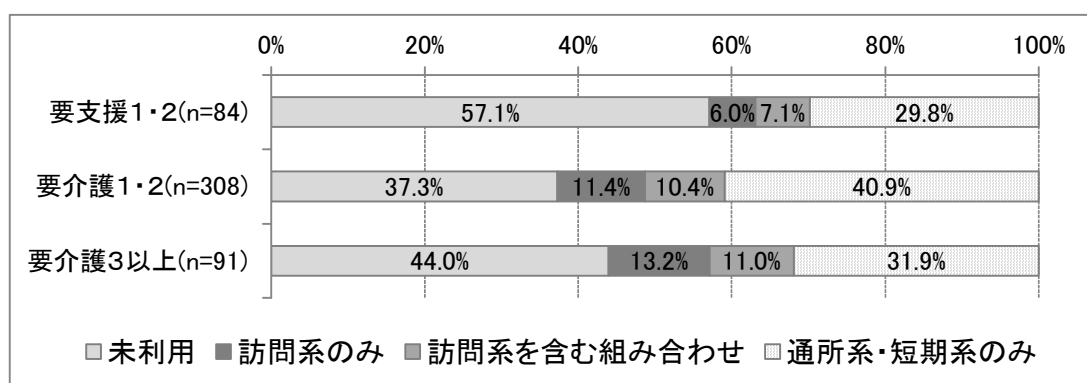
### 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が57.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が29.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が7.1%となっている。

「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が40.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が37.3%、「訪問系のみ」が11.4%となっている。

「要介護3以上」では「未利用」が44.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.9%、「訪問系のみ」が13.2%となっている。

図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<+>



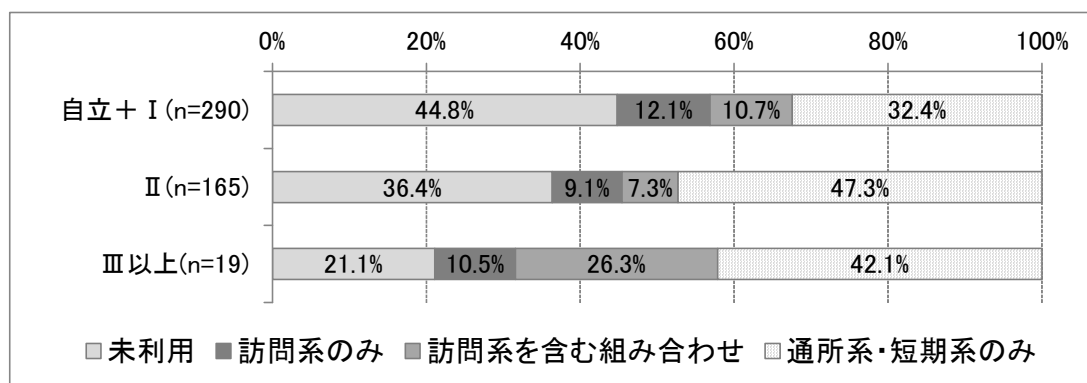
### 【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+I」では「未利用」が44.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.4%、「訪問系のみ」が12.1%となっている。

II」では「通所系・短期系のみ」が47.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.4%、「訪問系のみ」が9.1%となっている。

「III以上」では「通所系・短期系のみ」が42.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.3%、「未利用」が21.1%となっている。

図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<\*>



### (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

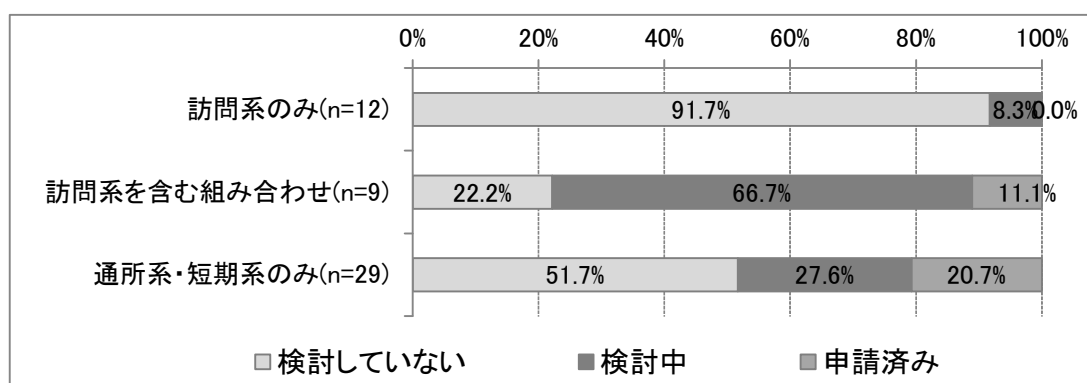
【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が91.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

「訪問系を含む組み合わせ」では「検討中」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が22.2%、「申請済み」が11.1%となっている。

「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が51.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.6%、「申請済み」が20.7%となっている。

図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）<\*>



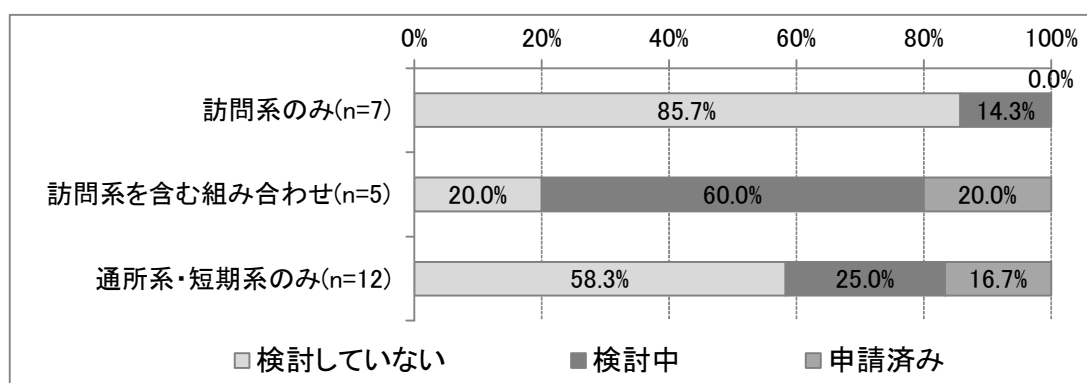
【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が85.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が14.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

「訪問系を含む組み合わせ」では「検討中」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」、「申請済み」が20.0%となっている。

「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が58.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が16.7%となっている。

図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



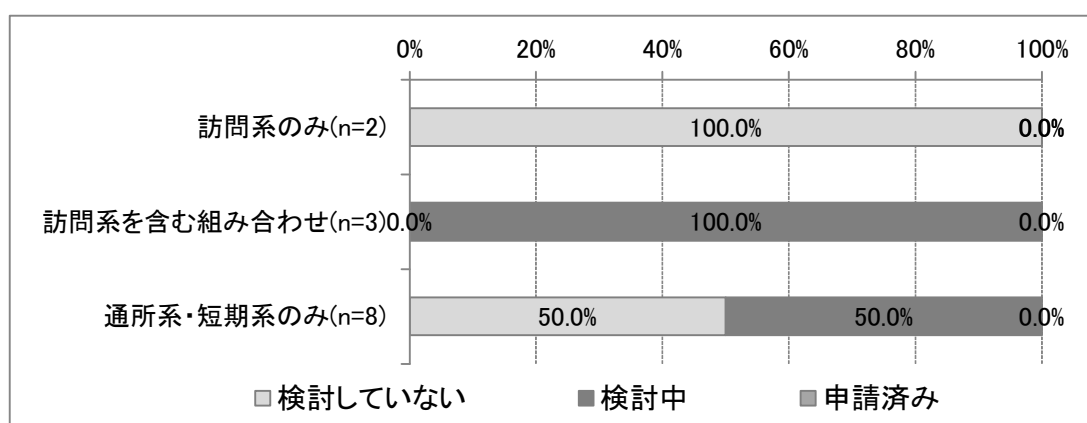
【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が100.0%となっている。

「訪問系を含む組み合わせ」では「検討中」が100.0%となっている。

「通所系・短期系のみ」では「検討していない」、「検討中」が50.0%となっている。

図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）<+>





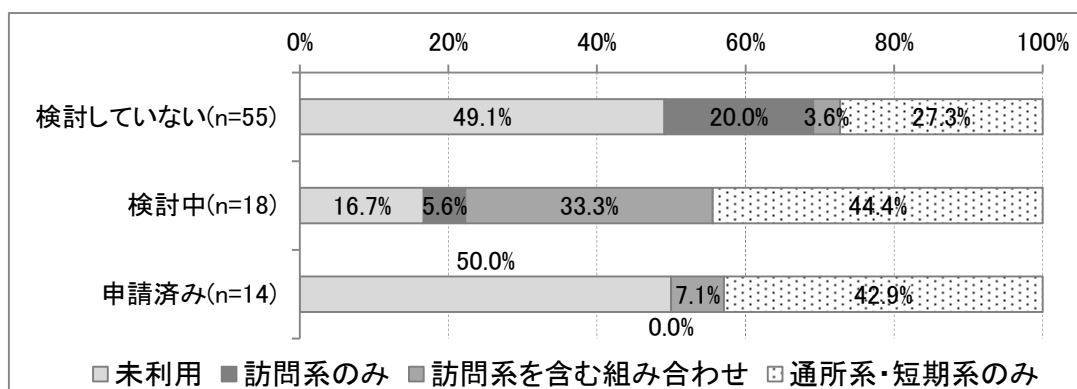
【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「未利用」が49.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.3%、「訪問系のみ」が20.0%となっている。

「検討中」では「通所系・短期系のみ」が44.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「未利用」が16.7%となっている。

「申請済み」では「未利用」が50.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が42.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が7.1%となっている。

図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）<\*>



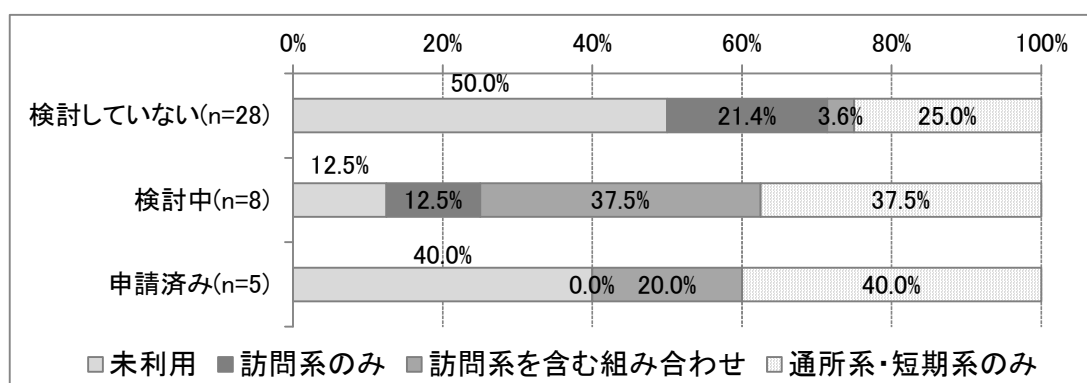
【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「未利用」が50.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.0%、「訪問系のみ」が21.4%となっている。

「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が37.5%、次いで「未利用」が12.5%となっている。

「申請済み」では「未利用」が40.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が0.0%となっている。

図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



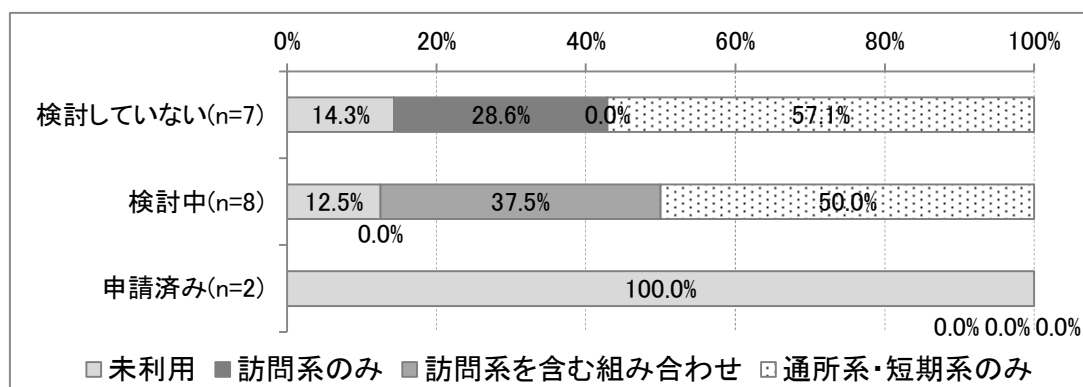
【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が57.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が28.6%、「未利用」が14.3%となっている。

「検討中」では「通所系・短期系のみ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が37.5%、「未利用」が12.5%となっている。

「申請済み」では「未利用」が100.0%となっている。

図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）<\*>



(5)「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

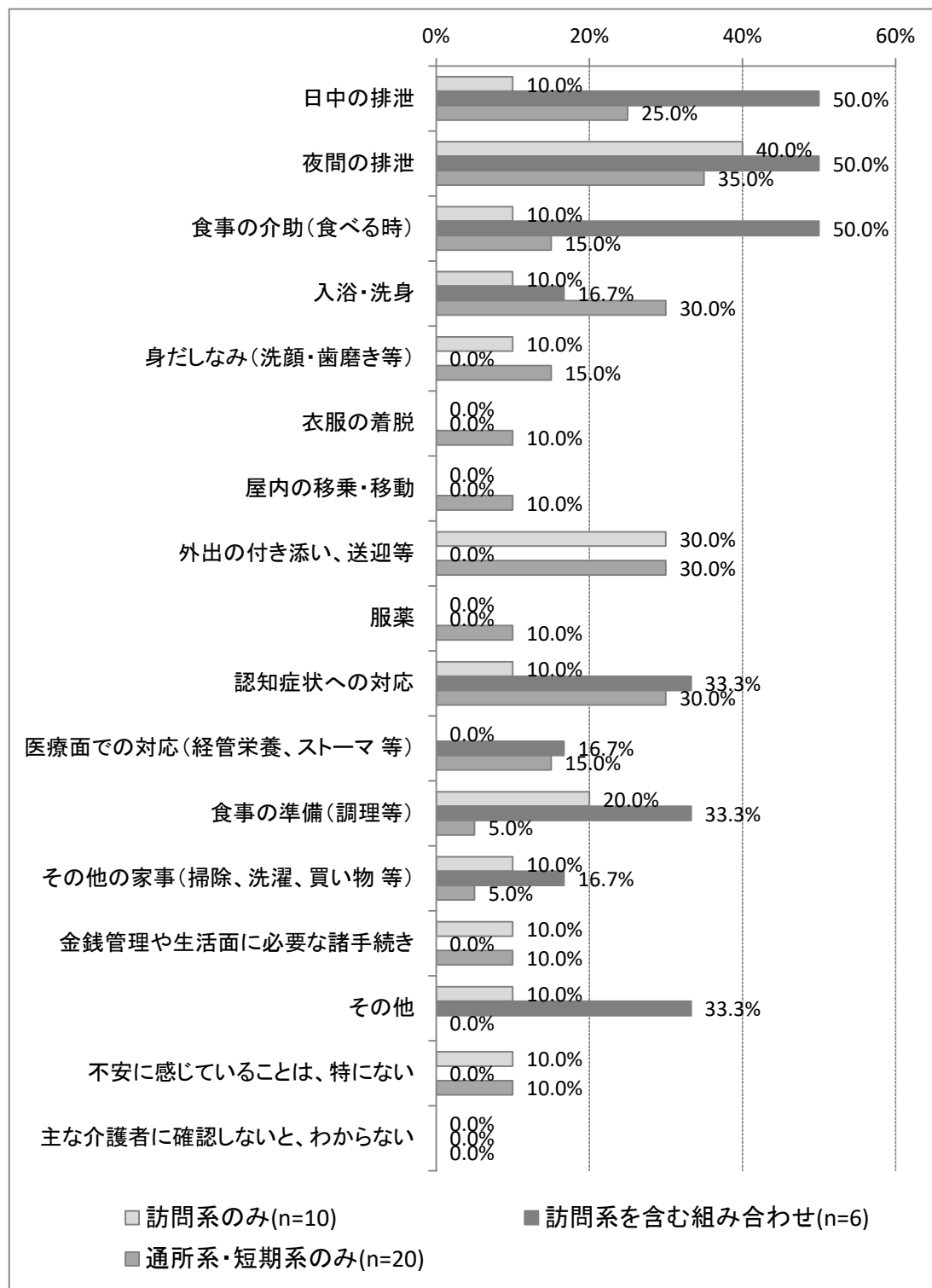
【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「夜間の排泄」が40.0%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.0%、「食事の準備（調理等）」が20.0%となっている。

「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」が50.0%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「その他」が33.3%、「入浴・洗身」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が16.7%となっている。

「通所系・短期系のみ」では「夜間の排泄」が35.0%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が30.0%、「日中の排泄」が25.0%となっている。

図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



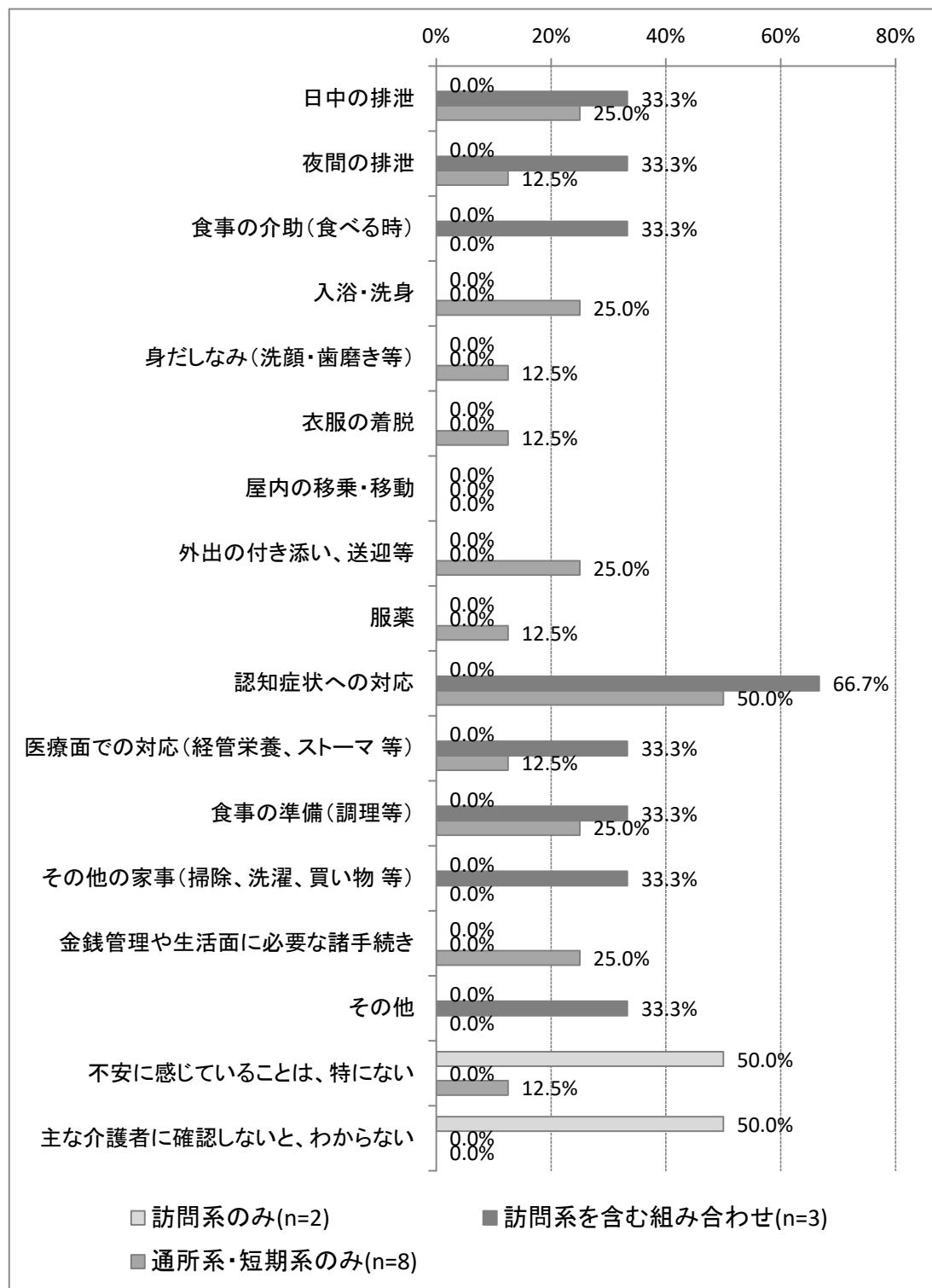
**【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】**

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が50.0%となっている。

「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「その他」が33.3%、となっている。

「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が25.0%、「夜間の排泄」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「不安に感じていることは、特にない」が12.5%となっている。

図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6)「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

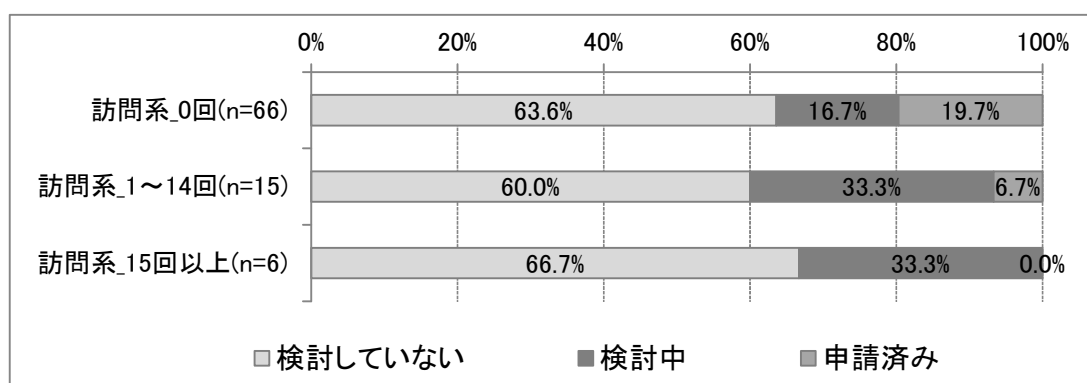
【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では「検討していない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が19.7%、「検討中」が16.7%となっている。

「訪問系\_1～14回」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が6.7%となっている。

「訪問系\_15回以上」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



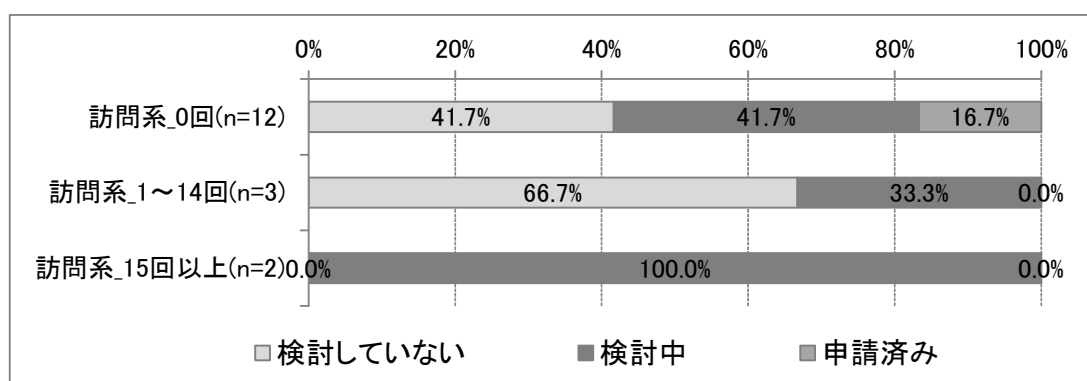
【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では「検討していない」、  
「検討中」が41.7%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が16.7%となっている。

「訪問系\_1～14回」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

「訪問系\_15回以上」では「検討中」が100.0%となっている。

図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）】

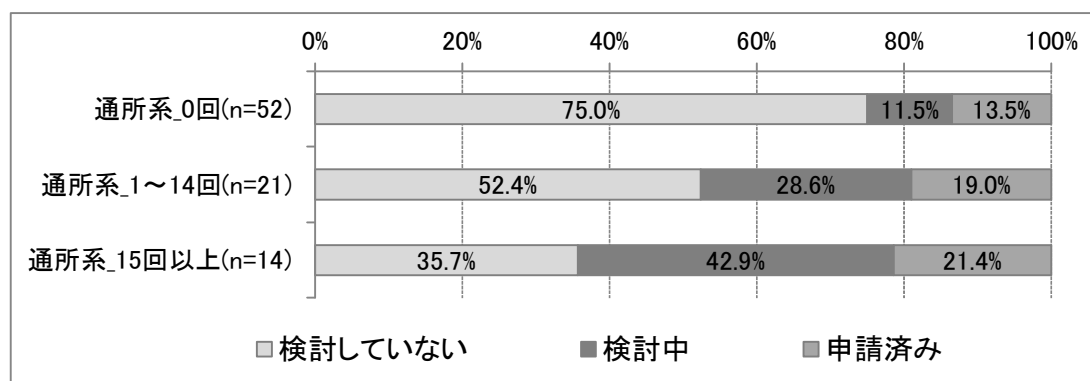
施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では「検討していない」

が75.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が13.5%、「検討中」が11.5%となっている。

「通所系\_1～14回」では「検討していない」が52.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が19.0%となっている。

「通所系\_15回以上」では「検討中」が42.9%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が35.7%、「申請済み」が21.4%となっている。

図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）<\*>



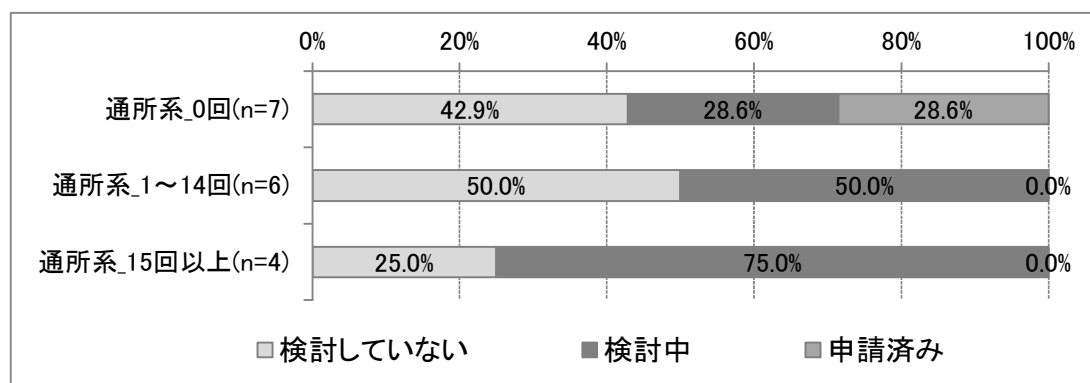
【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では「検討していない」が42.9%、「検討中」、「申請済み」が28.6%となっている。

「通所系\_1～14回」では「検討していない」、「検討中」が50.0%となっている。

「通所系\_15回以上」では「検討中」が75.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が25.0%、「申請済み」が0.0%となっている。

図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）





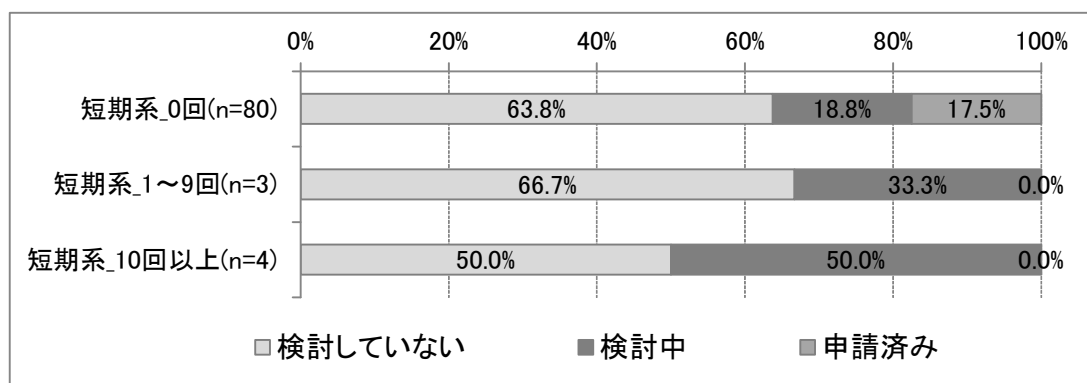
【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では「検討していない」が63.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.8%、「申請済み」が17.5%となっている。

「短期系\_1～9回」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

「短期系\_10回以上」では「検討していない」、「検討中」が50.0%となっている。

図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



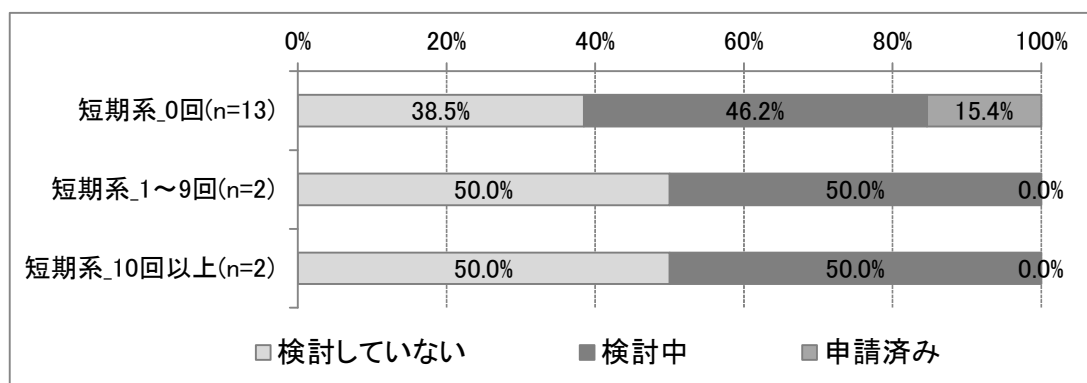
【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では「検討中」が46.2%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が38.5%、「申請済み」が15.4%となっている。

「短期系\_1～9回」では「検討していない」、「検討中」が50.0%となっている。

「短期系\_10回以上」では「検討していない」、「検討中」が50.0%となっている。

図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7)「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

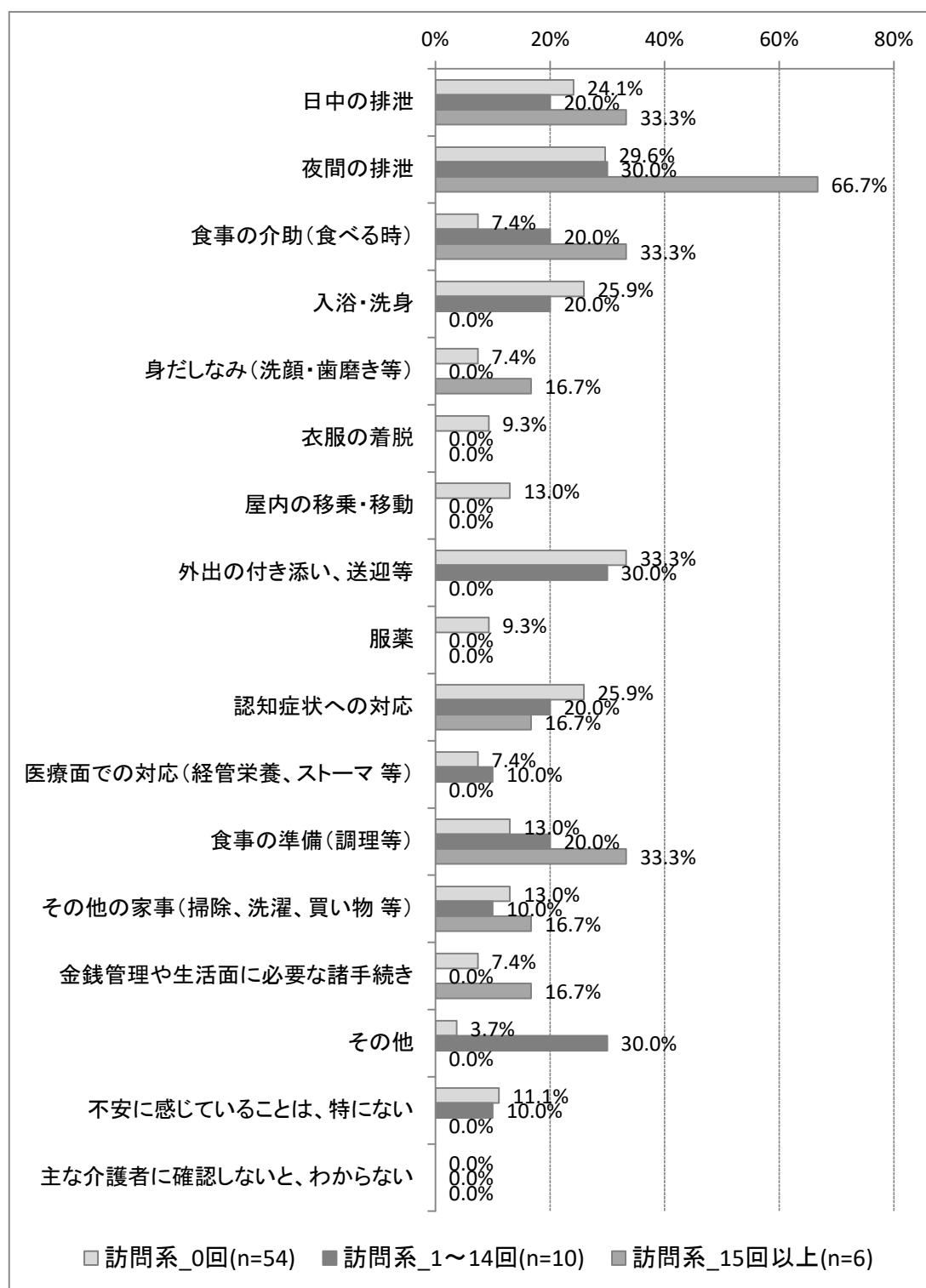
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では「外出の付き添い、送迎等」が33.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が29.6%、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が25.9%となっている。

「訪問系\_1～14回」では「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他」が30.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が20.0%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「不安に感じていることは、特にない」が10.0%となっている。

「訪問系\_15回以上」では「夜間の排泄」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「食事の準備（調理等）」が33.3%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が16.7%となっている。

図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



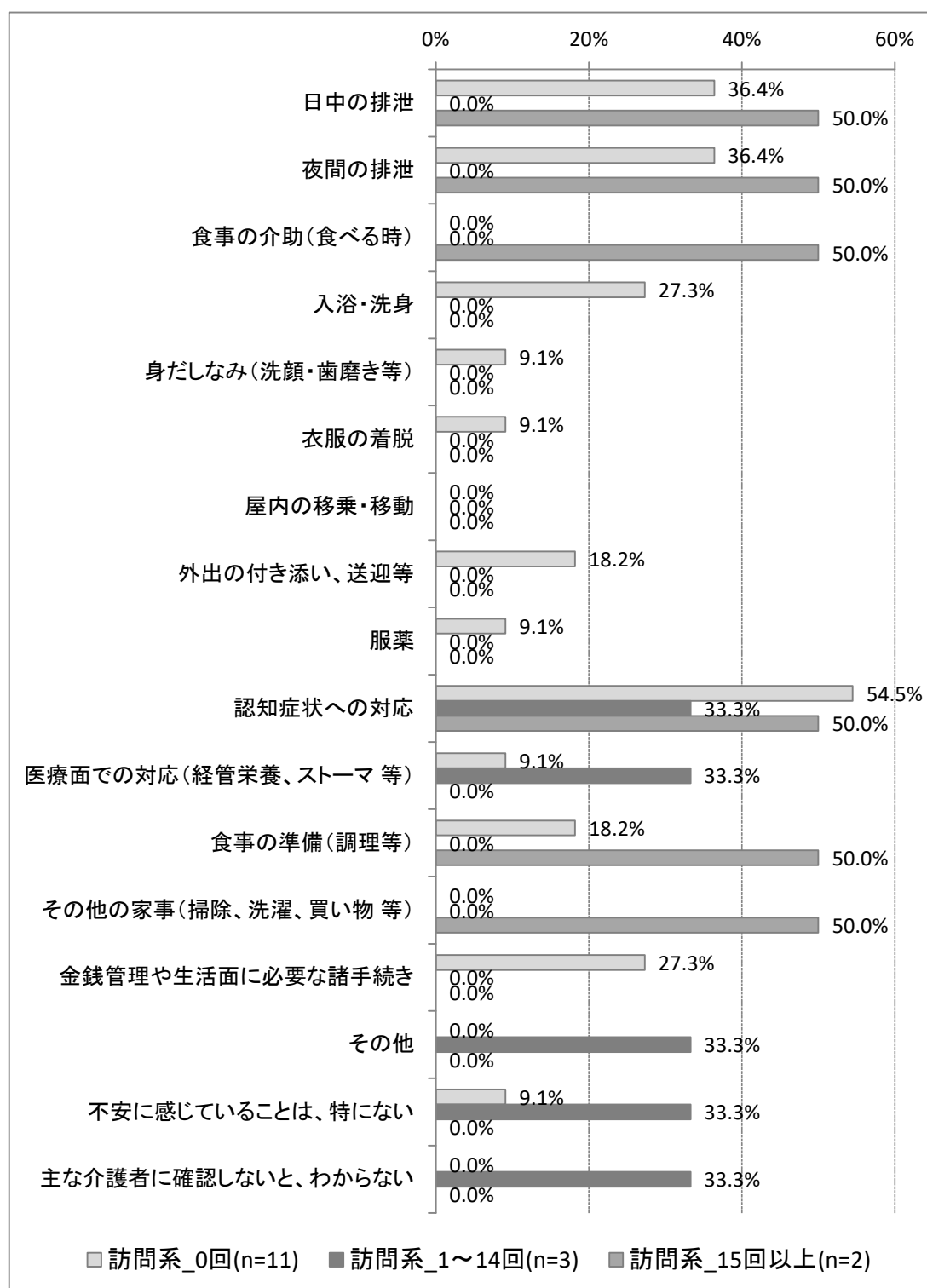
**【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】**

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系\_0回」では「認知症状への対応」が54.5%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が36.4%、「入浴・洗身」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が27.3%となっている。

「訪問系\_1～14回」では「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「その他」、「不安に感じていることは、特になし」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が33.3%となっている。

「訪問系\_15回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が50.0%となっている。

図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



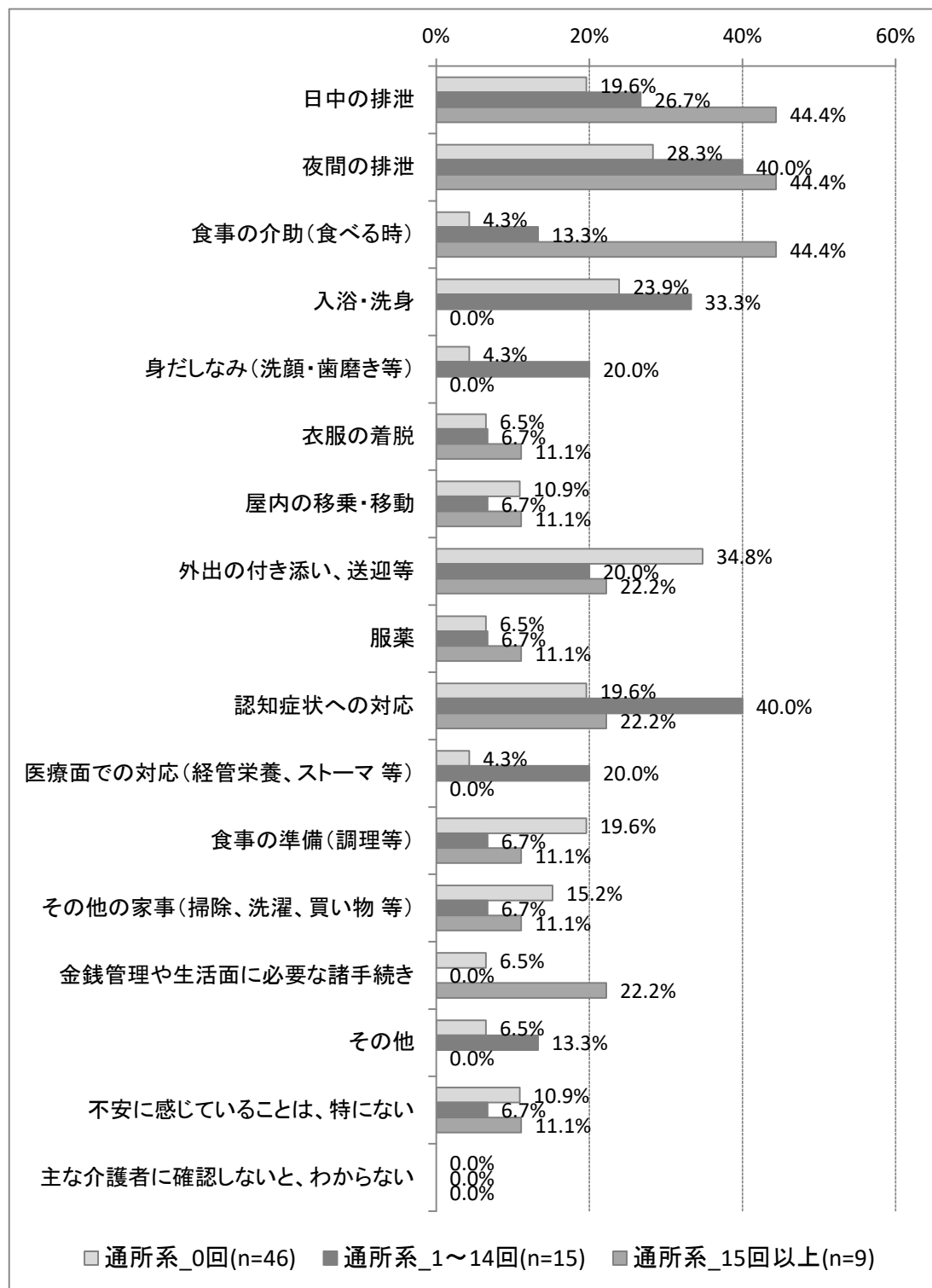
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護 3 以上）】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0 回」では「外出の付き添い、送迎等」が 34.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 28.3%、「入浴・洗身」が 23.9%となっている。

「通所系\_1～14 回」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 40.0%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が 33.3%、「日中の排泄」が 26.7%となっている。

「通所系\_15 回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」が 44.4%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 22.2%、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「服薬」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「不安に感じていることは、特にない」が 11.1%となっている。

図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】

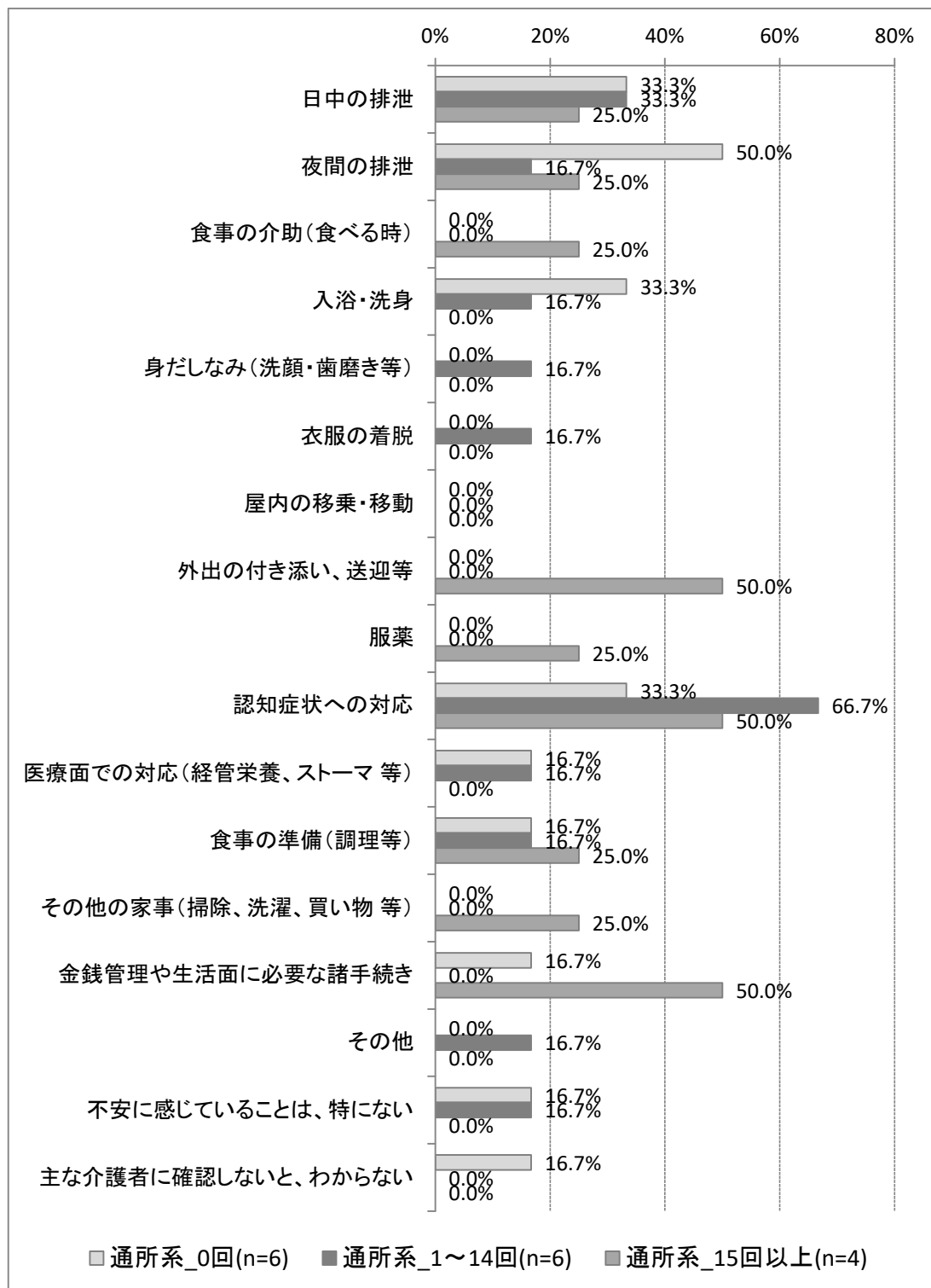
介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系\_0回」では「夜間の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が33.3%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が16.7%となっている。

「通所系\_1～14回」では「認知症状への対応」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が33.3%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が16.7%となっている。

「通所系\_15回以上」では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「服薬」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が25.0%、となっている。



図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



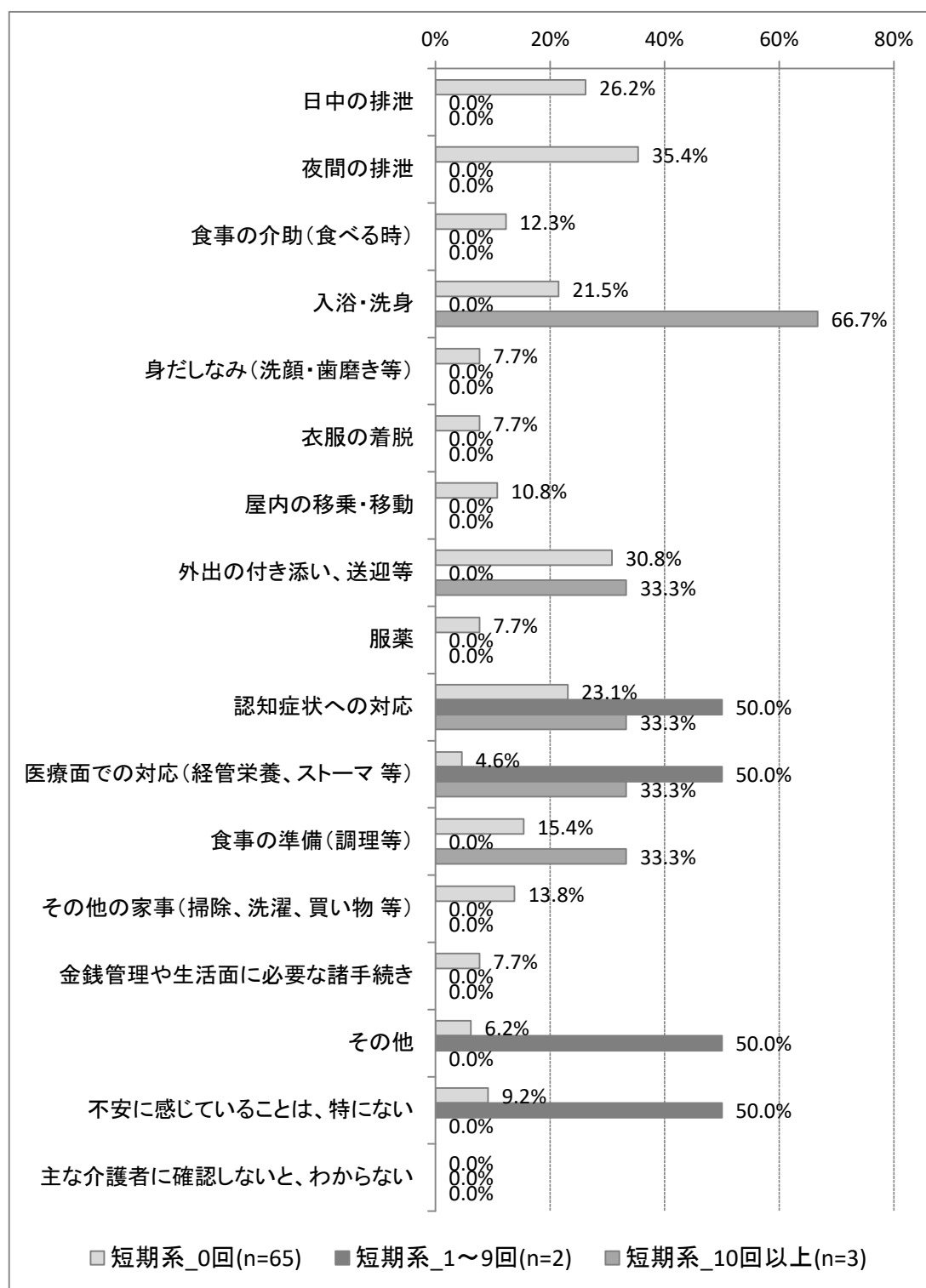
**【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】**

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では「夜間の排泄」が35.4%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.8%、「日中の排泄」が26.2%となっている。

「短期系\_1～9回」では「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「その他」、「不安に感じていることは、特になし」が50.0%となっている。

「短期系\_10回以上」では「入浴・洗身」が66.7%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」が33.3%、となっている。

図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



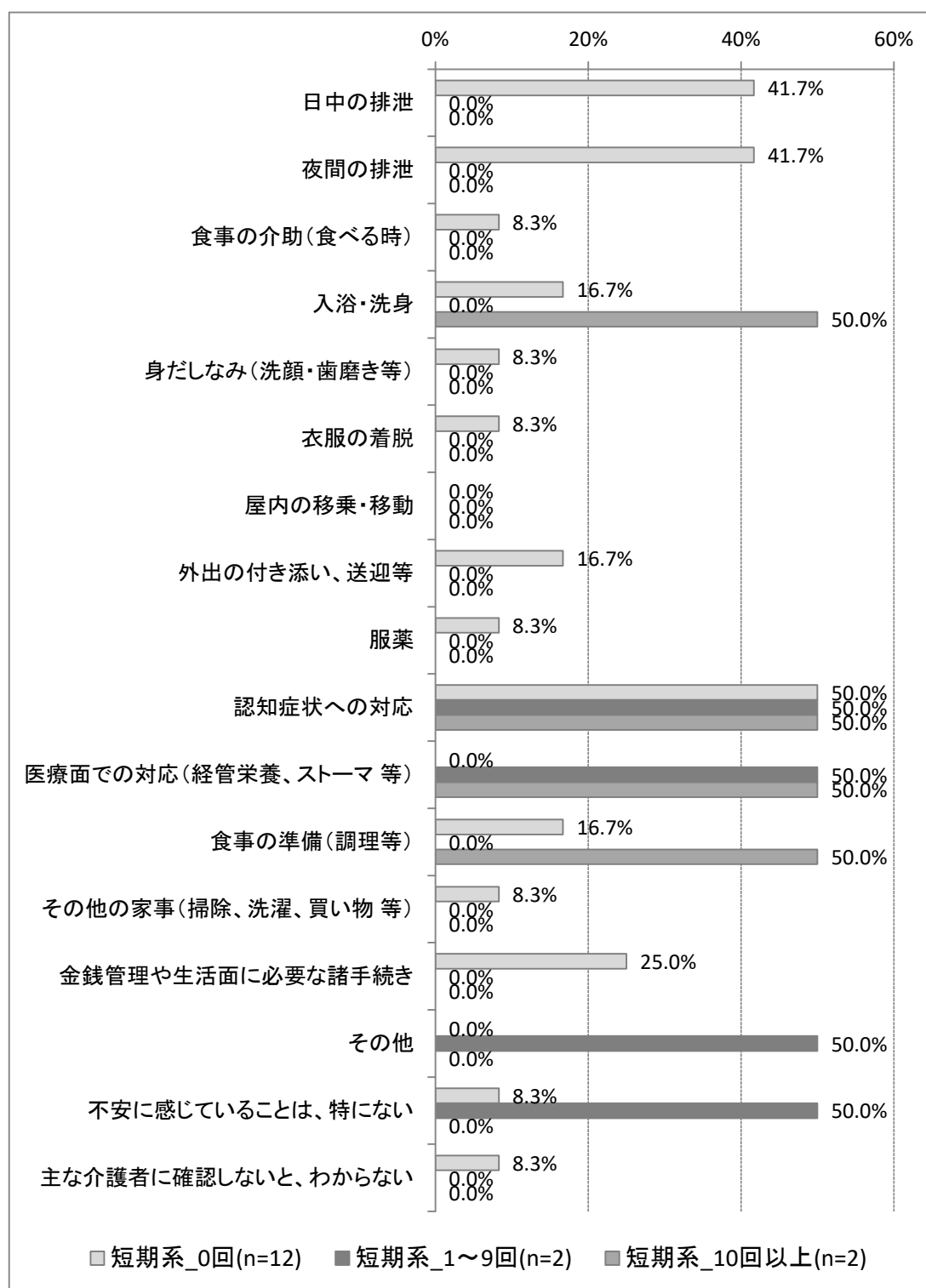
**【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】**

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系\_0回」では「認知症状への対応」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が41.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が25.0%となっている。

「短期系\_1～9回」では「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が50.0%となっている。

「短期系\_10回以上」では「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」が50.0%となっている。

図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



## 2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

### 2.1 集計・分析の狙い

- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

## 2.2 集計結果と着目すべきポイント

### (1) 基本集計

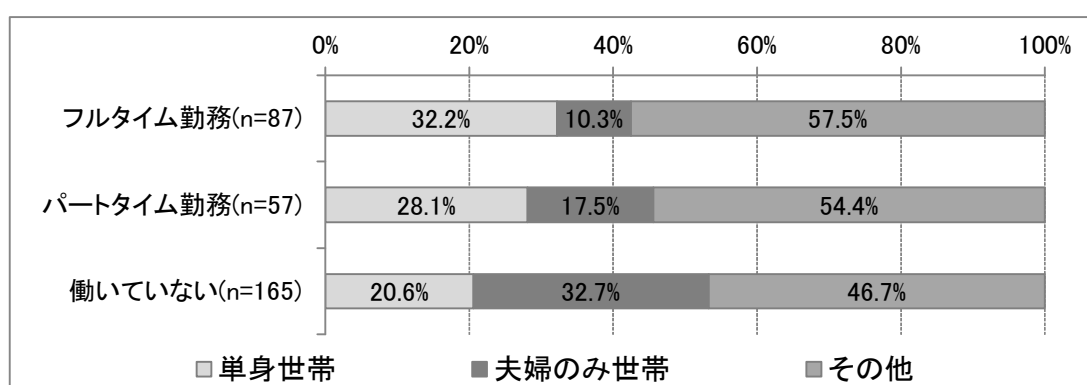
#### 【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が57.5%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が32.2%、「夫婦のみ世帯」が10.3%となっている。

「パートタイム勤務」では「その他」が54.4%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が28.1%、「夫婦のみ世帯」が17.5%となっている。

「働いていない」では「その他」が46.7%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が32.7%、「単身世帯」が20.6%となっている。

図表 2-1 就労状況別・世帯類型<\*>



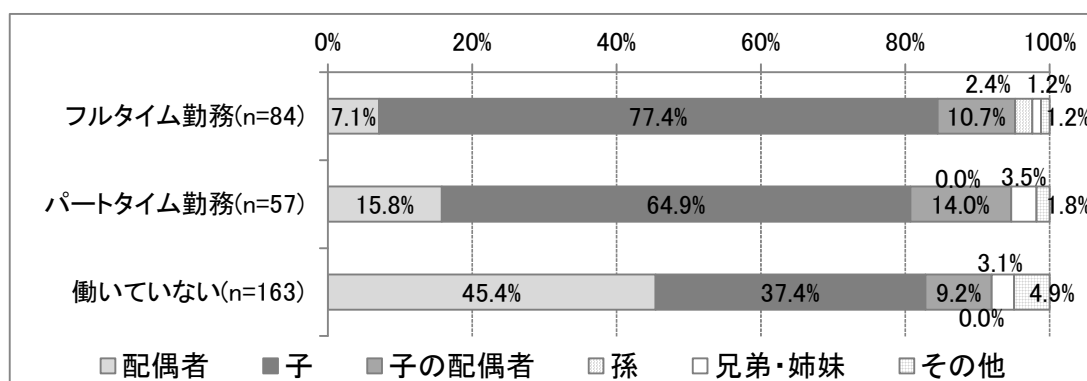
#### 【就労状況別・★主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が77.4%と最も割合が高く、次いで「子の配偶者」が10.7%、「配偶者」が7.1%となっている。

「パートタイム勤務」では「子」が64.9%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が15.8%、「子の配偶者」が14.0%となっている。

「働いていない」では「配偶者」が45.4%と最も割合が高く、次いで「子」が37.4%、「子の配偶者」が9.2%となっている。

図表 2-2 就労状況別・★主な介護者の本人との関係<\*\*\*>



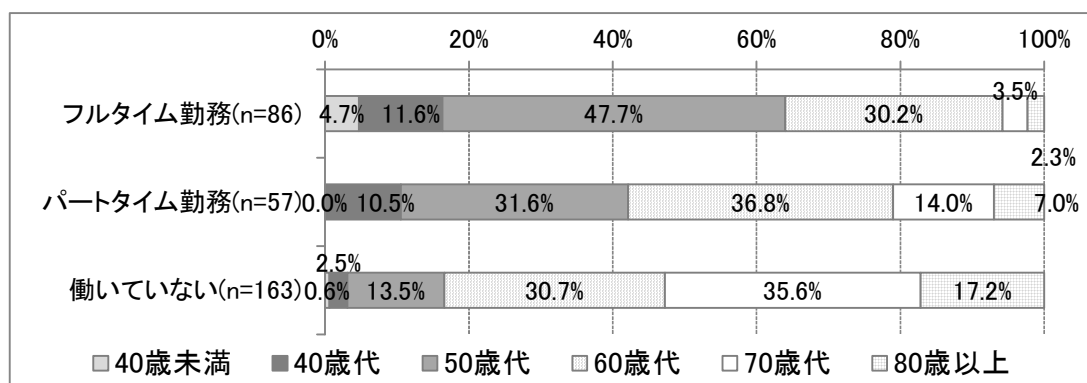
#### 【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が 47.7%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 30.2%、「40 歳代」が 11.6%となっている。

「パートタイム勤務」では「60 歳代」が 36.8%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」が 31.6%、「70 歳代」が 14.0%となっている。

「働いていない」では「70 歳代」が 35.6%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 30.7%、「80 歳以上」が 17.2%となっている。

図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢<\*\*\*>



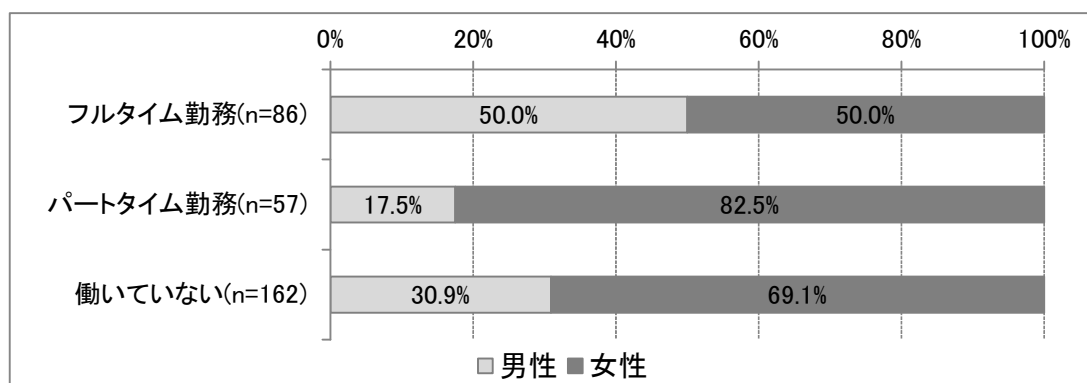
#### 【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「男性」、「女性」が 50.0%となっている。

「パートタイム勤務」では「女性」が 82.5%、「男性」が 17.5%となっている。

「働いていない」では「女性」が 69.1%、「男性」が 30.9%となっている。

図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別<\*\*\*>





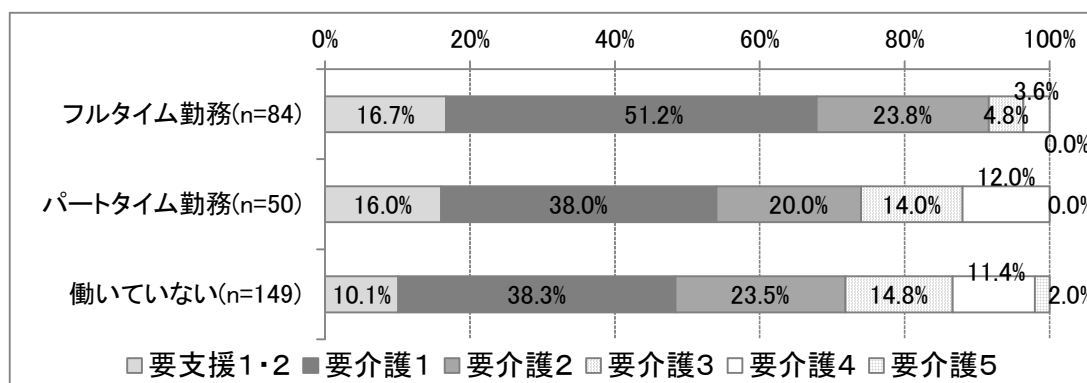
### 【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」が51.2%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が23.8%、「要支援1・2」が16.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「要介護1」が38.0%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が20.0%、「要支援1・2」が16.0%となっている。

「働いていない」では「要介護1」が38.3%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が23.5%、「要介護3」が14.8%となっている。

図表 2-5 就労状況別・要介護度<+>



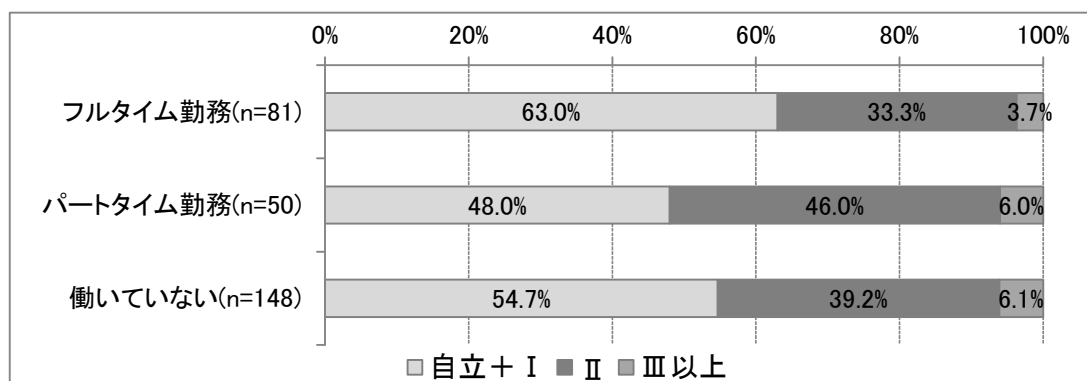
### 【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+I」が63.0%と最も割合が高く、次いで「II」が33.3%、「III以上」が3.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「自立+I」が48.0%と最も割合が高く、次いで「II」が46.0%、「III以上」が6.0%となっている。

「働いていない」では「自立+I」が54.7%と最も割合が高く、次いで「II」が39.2%、「III以上」が6.1%となっている。

図表 2-6 就労状況別・認知症自立度



## (2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

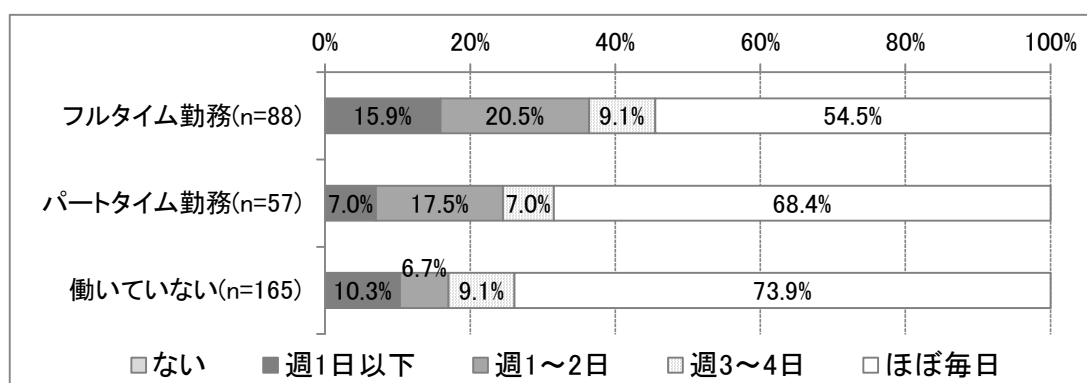
### 【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が54.5%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が20.5%、「週1日以下」が15.9%となっている。

「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が68.4%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が17.5%、「週1日以下」が7.0%となっている。

「働いていない」では「ほぼ毎日」が73.9%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が10.3%、「週3～4日」が9.1%となっている。

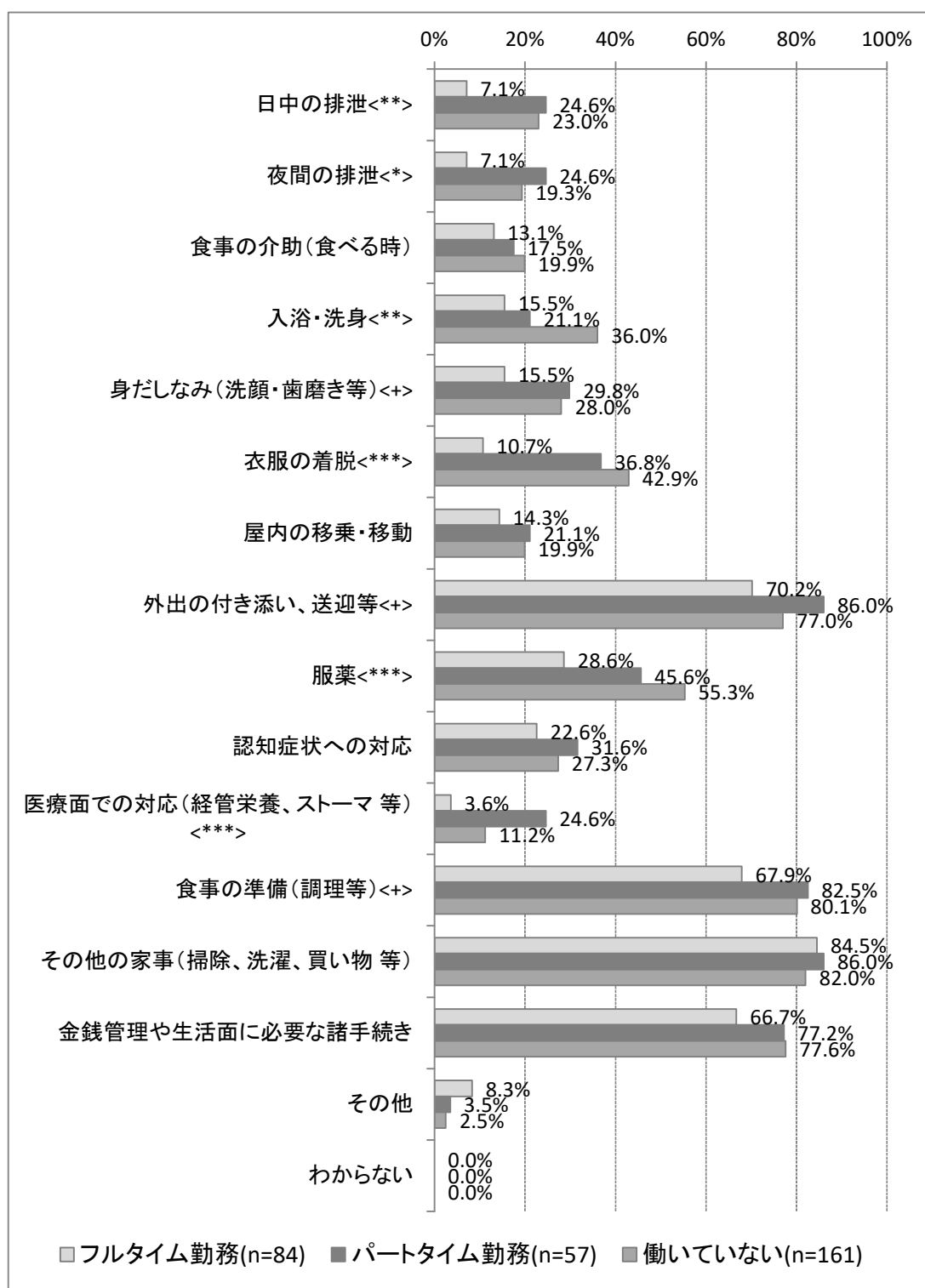
図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度<\*>



### 【就労状況別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が84.5%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.2%、「食事の準備（調理等）」が67.9%となっている。「パートタイム勤務」では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が86.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が82.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.2%となっている。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が82.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が80.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.6%となっている。

図表 2-8 就労状況別・★主な介護者が行っている介護

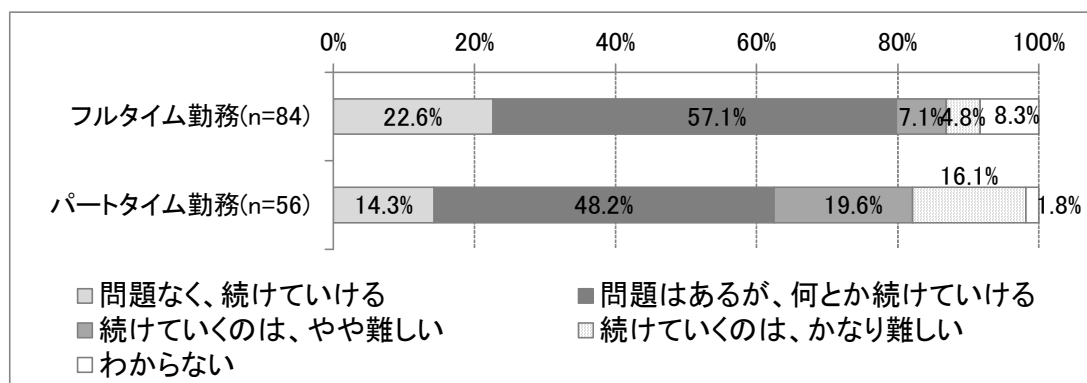


### 【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.6%、「わからない」が8.3%となっている。

「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が48.2%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が19.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が16.1%となっている。

図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み<\*>

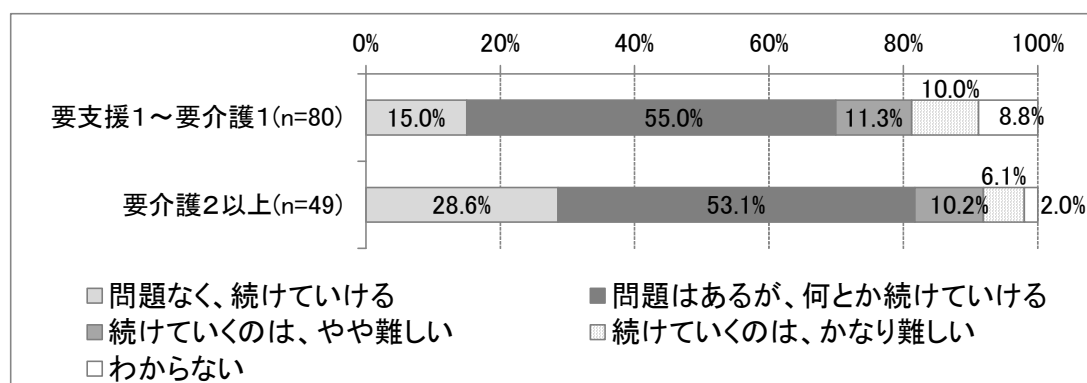


### 【要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が55.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.0%、「続けていくのは、やや難しい」が11.3%となっている。

「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が53.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が28.6%、「続けていくのは、やや難しい」が10.2%となっている。

図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

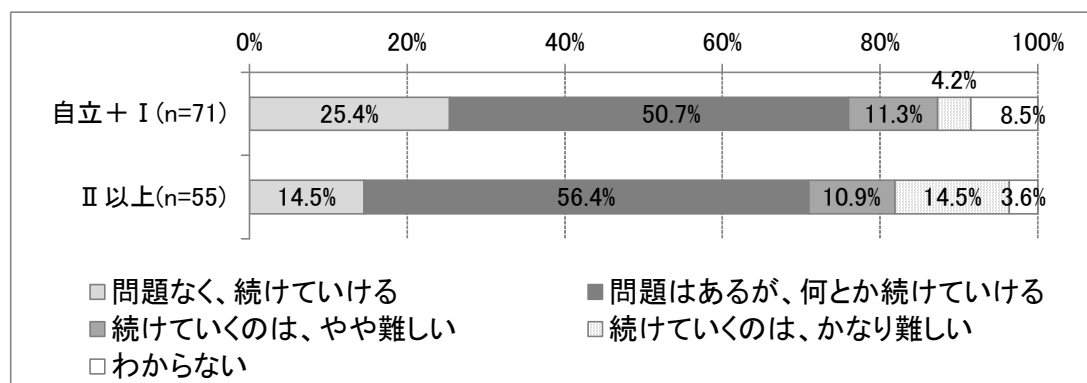


【認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が50.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が25.4%、「続けていくのは、やや難しい」が11.3%となっている。

「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」が14.5%、「続けていくのは、やや難しい」が10.9%となっている。

図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



(3)「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

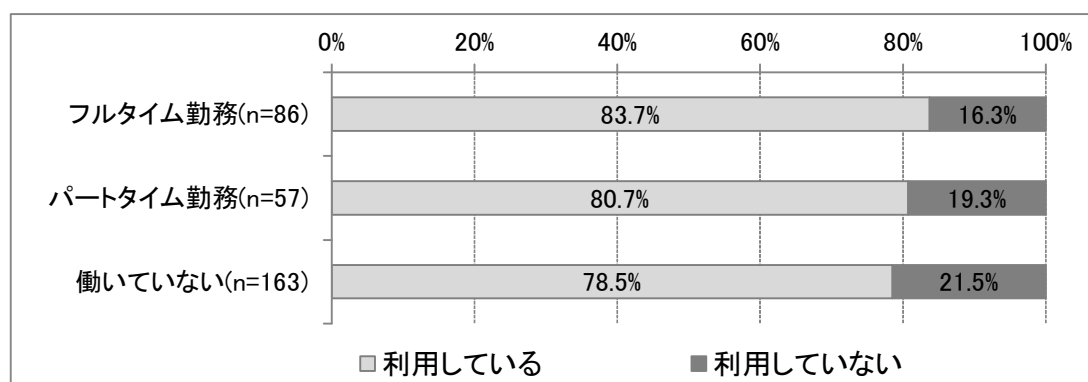
【就労状況別・★介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が83.7%、「利用していない」が16.3%となっている。

「パートタイム勤務」では「利用している」が80.7%、「利用していない」が19.3%となっている。

「働いていない」では「利用している」が78.5%、「利用していない」が21.5%となっている。

図表 2-12 就労状況別・★介護保険サービス利用の有無



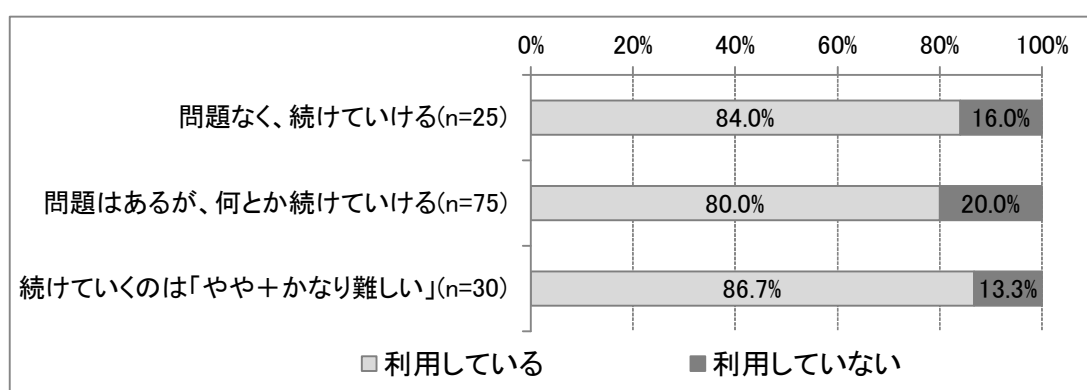
【就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が84.0%、「利用していない」が16.0%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が80.0%、「利用していない」が20.0%となっている。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「利用している」が86.7%、「利用していない」が13.3%となっている。

図表 2-13 就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）】

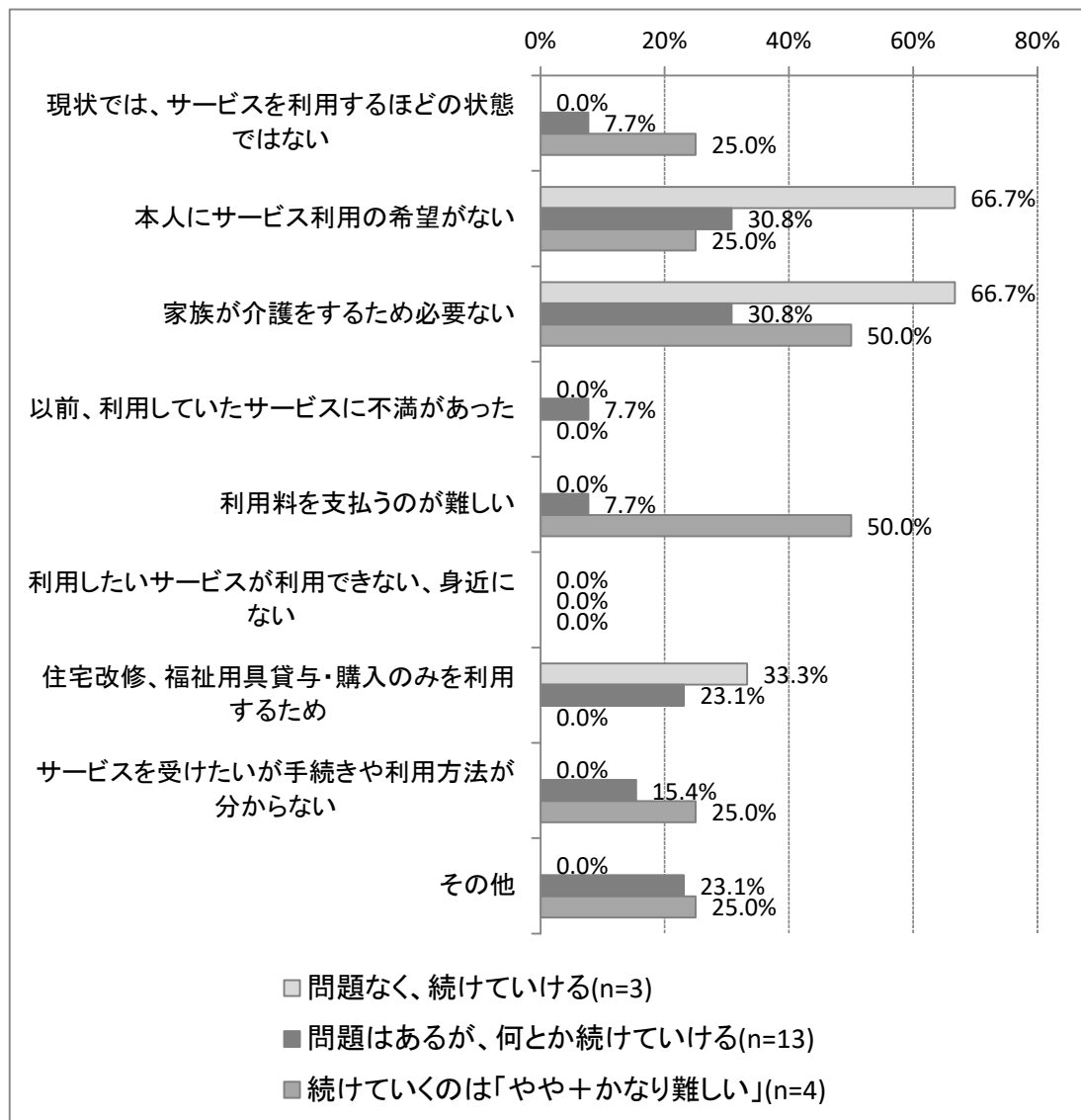
未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が33.3%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が30.8%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が23.1%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が15.4%となっている。

「続けていくのはやや＋かなり難しい」では「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が50.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が25.0%となっている。



図表 2-14 就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）



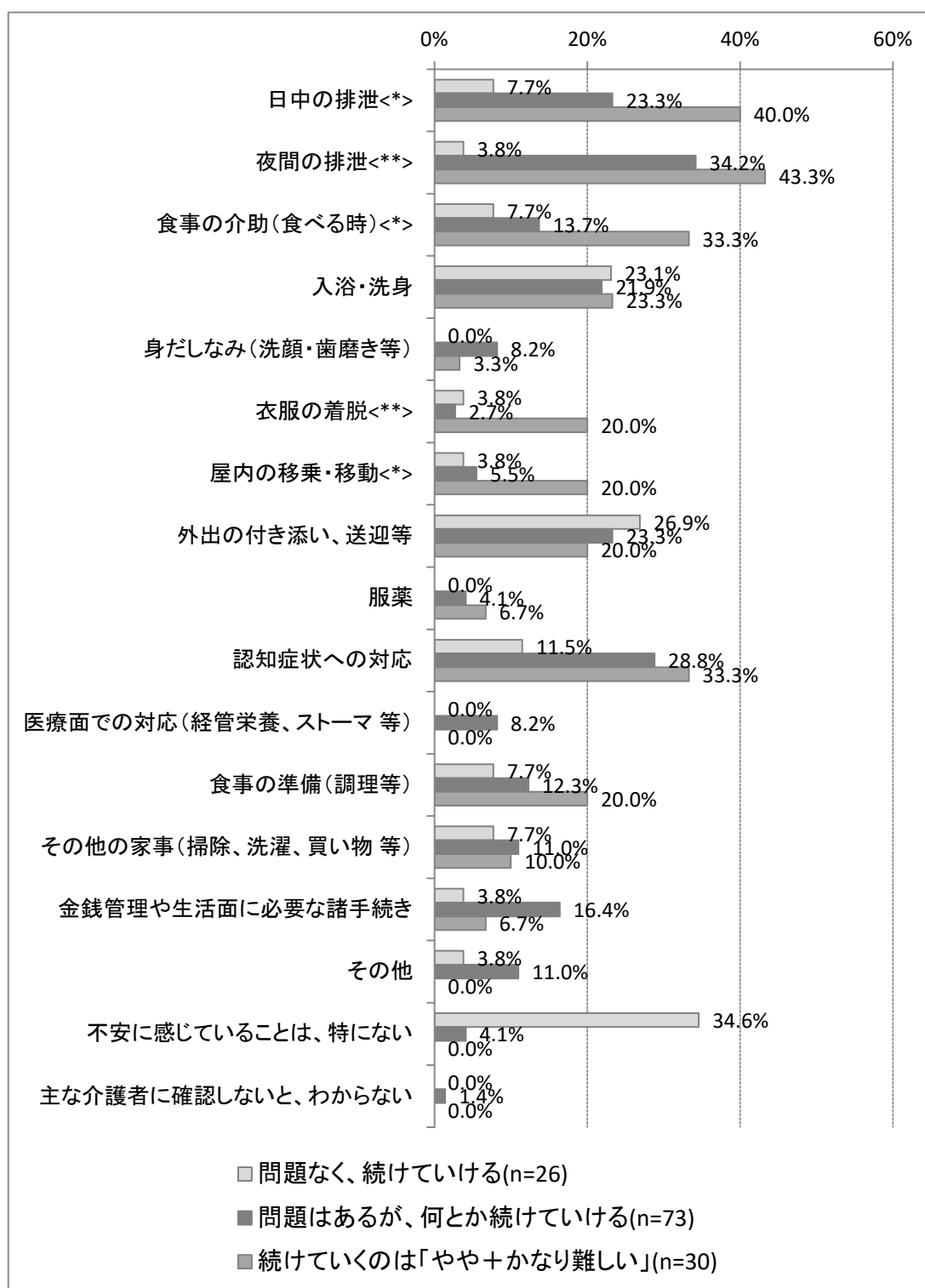
【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「不安に感じていることは、特にない」が34.6%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.9%、「入浴・洗身」が23.1%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「夜間の排泄」が34.2%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が28.8%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が23.3%となっている。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「夜間の排泄」が43.3%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が40.0%、「食事の介助（食べる時）」、「認知症状への対応」が33.3%となっている。

図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



#### (4)「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

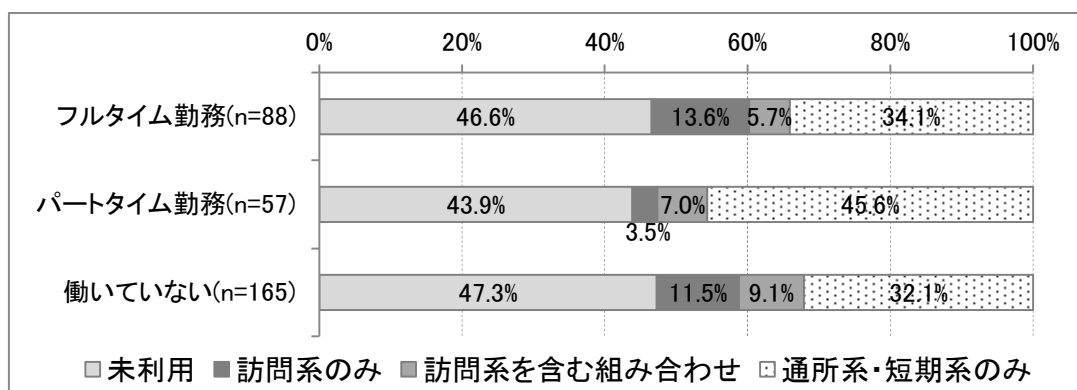
##### 【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「未利用」が46.6%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が34.1%、「訪問系のみ」が13.6%となっている。

「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が45.6%と最も割合が高く、次いで「未利用」が43.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が7.0%となっている。

「働いていない」では「未利用」が47.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.1%、「訪問系のみ」が11.5%となっている。

図表 2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ

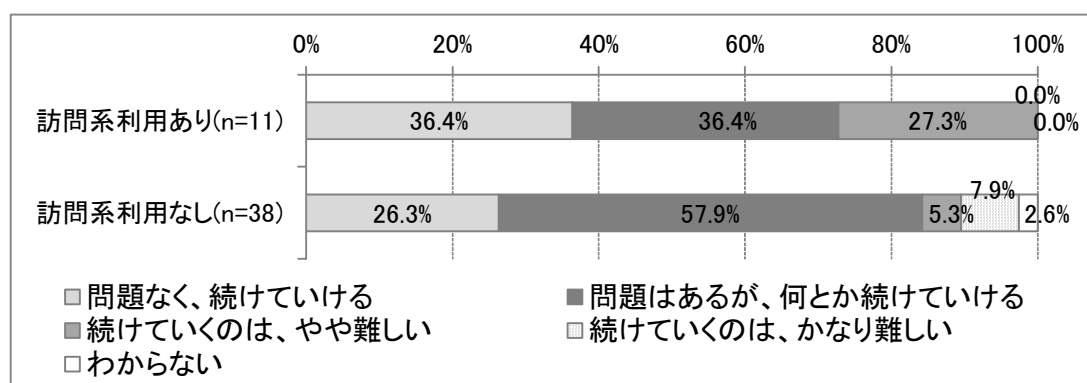


【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けていける」が36.4%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が27.3%となっている。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.9%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が26.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.9%となっている。

図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み  
（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

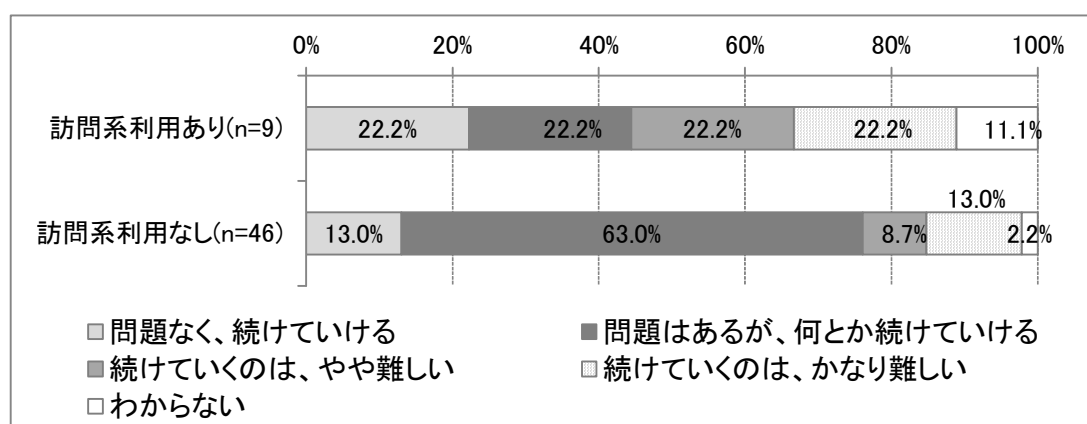


【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が22.2%、「わからない」が11.1%となっている。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」が13.0%、「続けていくのは、やや難しい」が8.7%となっている。

図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み  
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

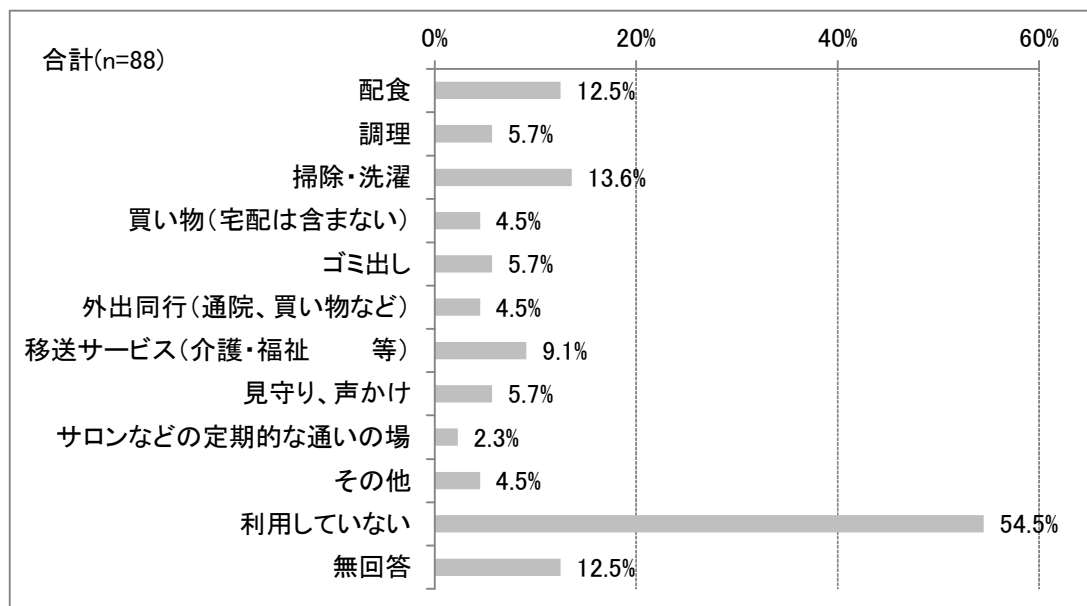


(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）】

「利用していない」の割合が最も高く 54.5%となっている。次いで、「掃除・洗濯(13.6%)」、「配食(12.5%)」となっている。

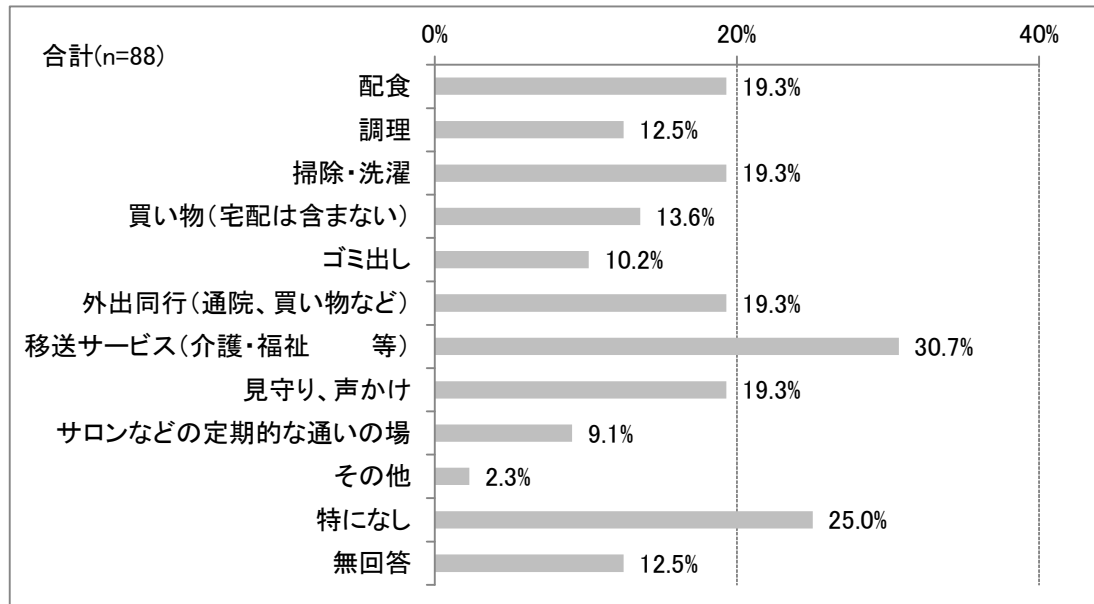
図表 2-19\_1 ★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く 30.7%となっている。次いで、「特になし（25.0%）」、「配食（19.3%）」、「掃除・洗濯（19.3%）」、「外出同行（通院、買い物など）（19.3%）」、「見守り、声かけ（19.3%）」となっている。

図表 2-19\_2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）





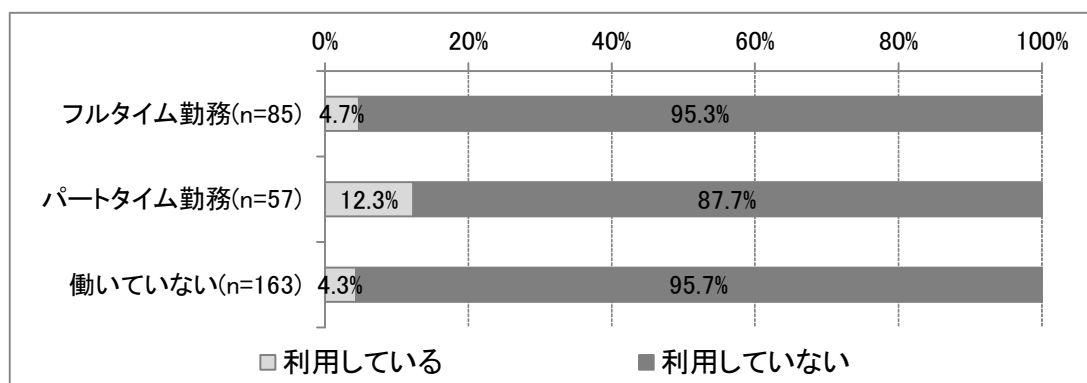
【就労状況別・★訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が95.3%、「利用している」が4.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「利用していない」が87.7%、「利用している」が12.3%となっている。

「働いていない」では「利用していない」が95.7%、「利用している」が4.3%となっている。

図表 2-20 就労状況別・★訪問診療の利用の有無<+>



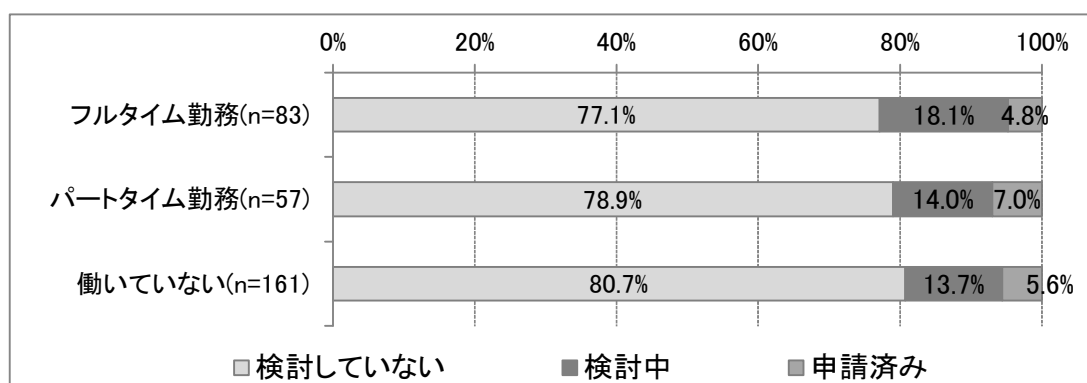
【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が77.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.1%、「申請済み」が4.8%となっている。

「パートタイム勤務」では「検討していない」が78.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が14.0%、「申請済み」が7.0%となっている。

「働いていない」では「検討していない」が80.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が13.7%、「申請済み」が5.6%となっている。

図表 2-21 就労状況別・施設等検討の状況



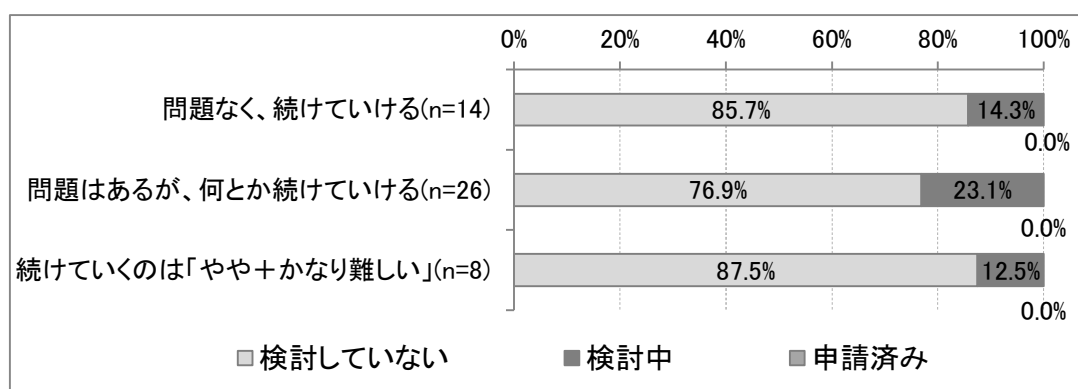
【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が85.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が14.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が76.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.1%、「申請済み」が0.0%となっている。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討していない」が87.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.5%、「申請済み」が0.0%となっている。

図表 2-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況  
（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



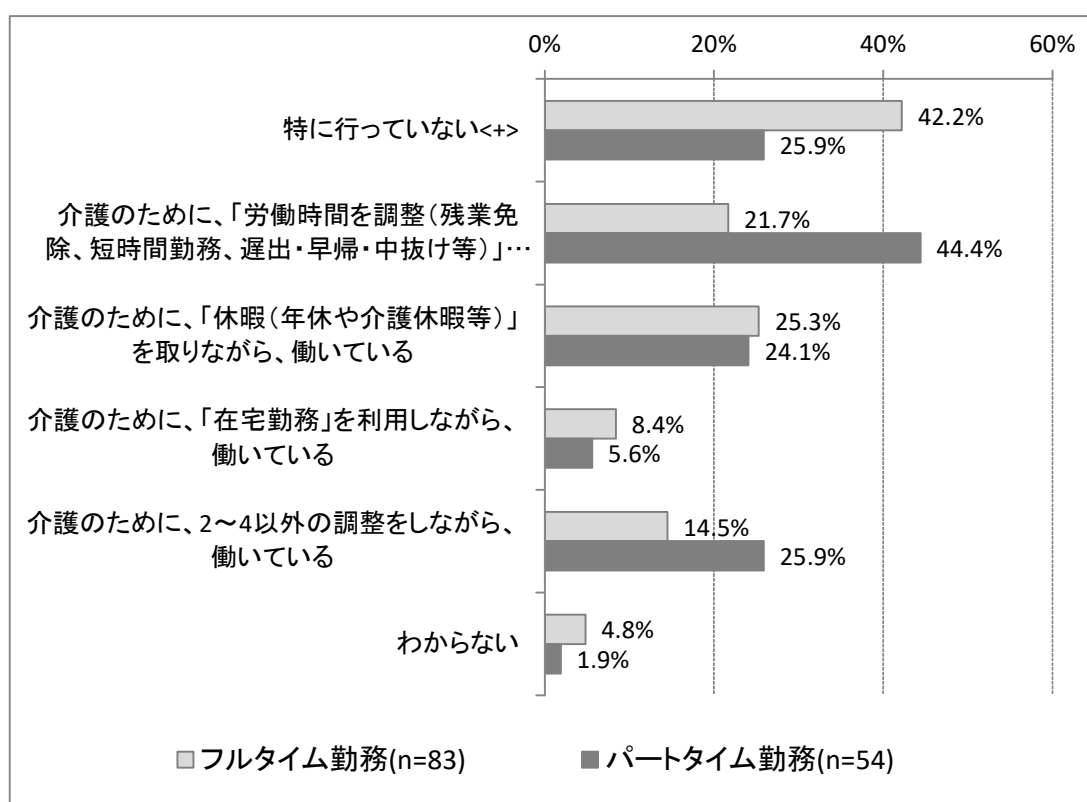
## (6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

### 【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が42.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が25.3%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が21.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が44.4%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が25.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が24.1%となっている。

図表 2-23 就労状況別・介護のための働き方の調整



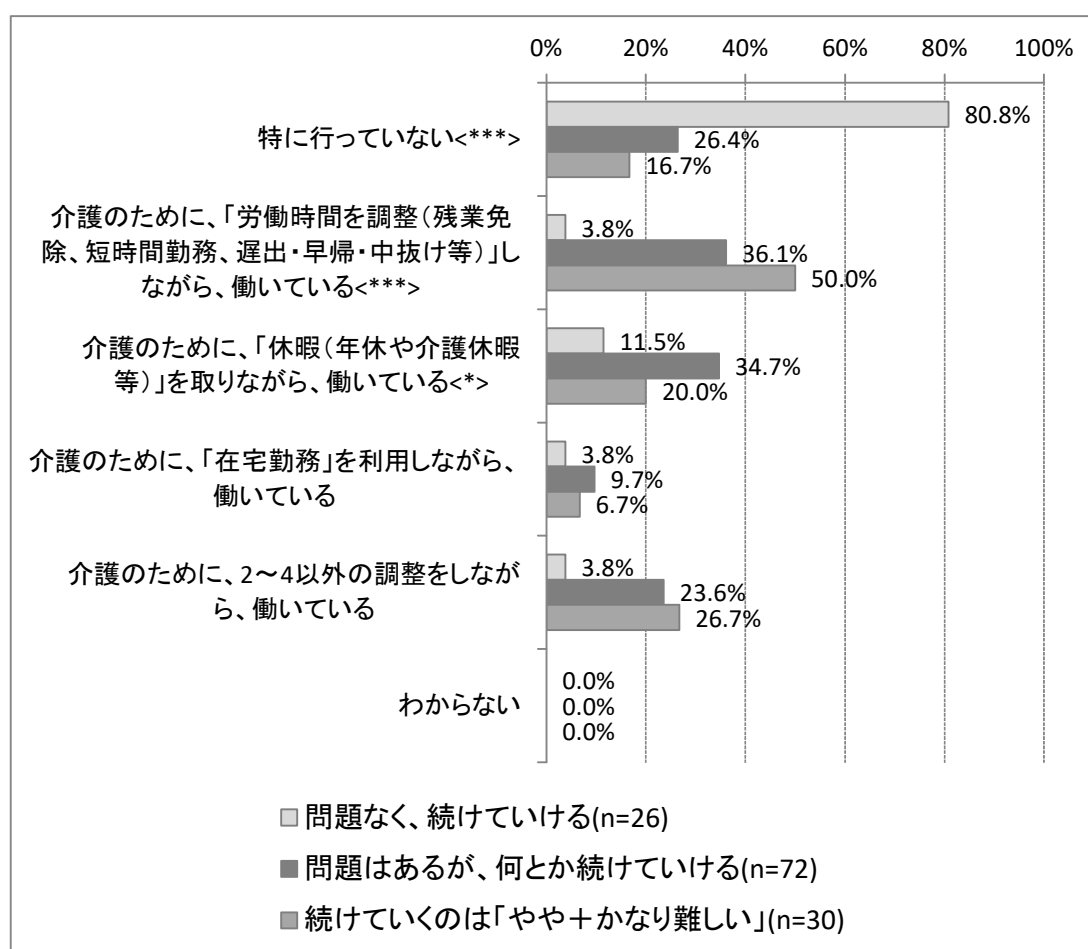
【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が80.8%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が11.5%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が3.8%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が36.1%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が34.7%、「特に行っていない」が26.4%となっている。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が50.0%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が26.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が20.0%となっている。

図表 2-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

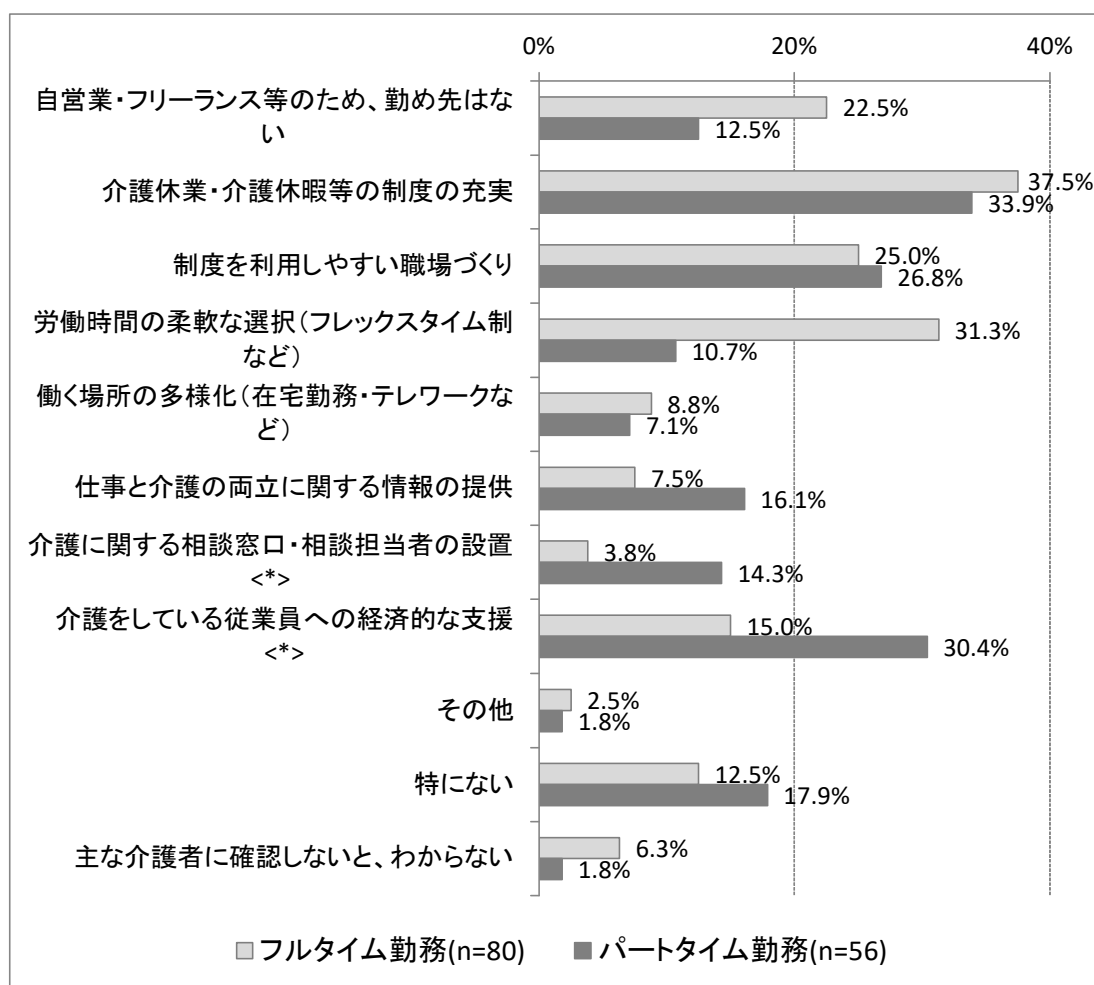


【就労状況別・★効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が37.5%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が31.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が25.0%となっている。

「パートタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.9%と最も割合が高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が30.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.8%となっている。

図表 2-25 就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



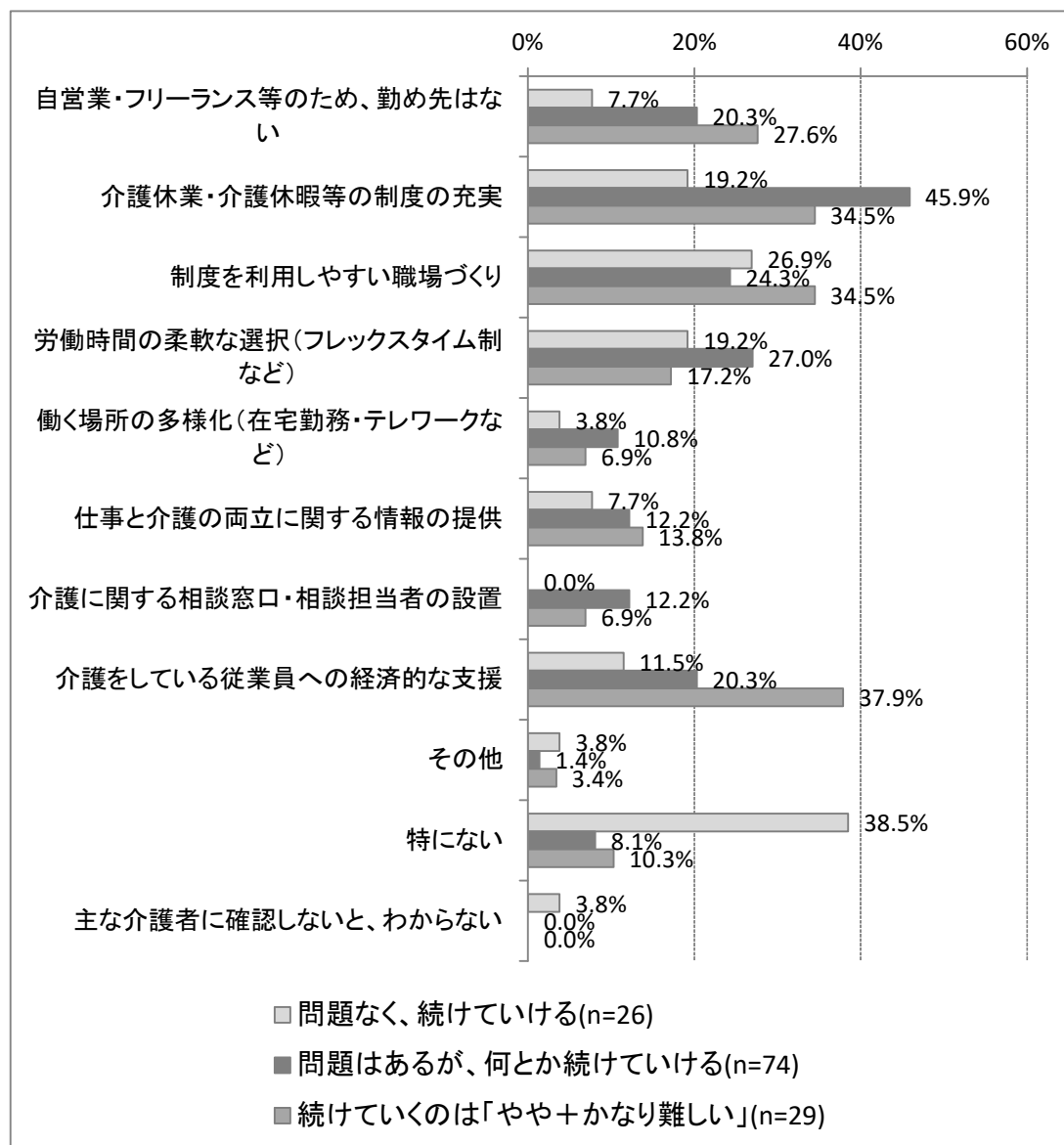
【就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が38.5%と最も割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が26.9%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が19.2%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が45.9%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.3%となっている。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護をしている従業員への経済的な支援」が37.9%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」が34.5%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が27.6%となっている。

図表 2-26 就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



### 3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

#### 3.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。
- 具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。
- なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。



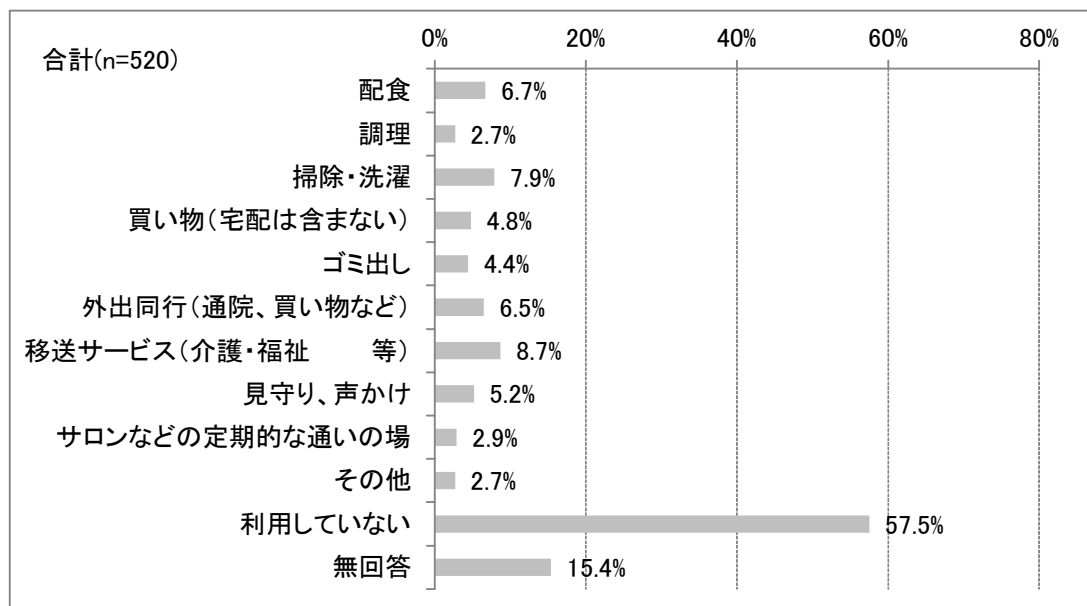
### 3.2 集計結果と着目すべきポイント

#### (1) 基礎集計

##### 【★保険外の支援・サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 57.5%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（8.7%）」、「掃除・洗濯（7.9%）」となっている。

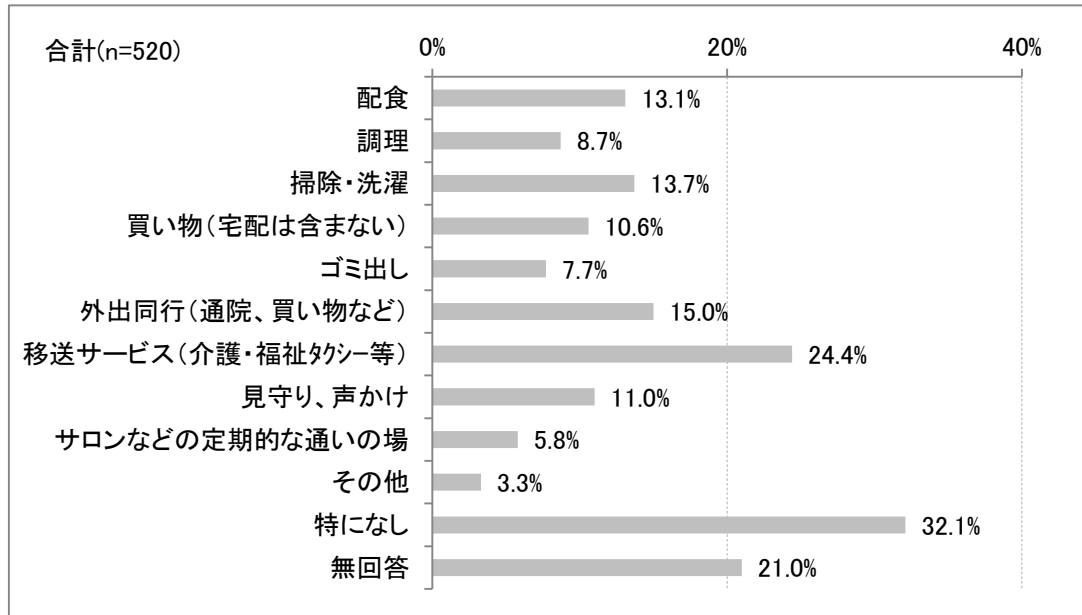
図表 3-1 ★保険外の支援・サービスの利用状況



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「特になし」の割合が最も高く 32.1%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（24.4%）」、「外出同行（通院、買い物など）（15.0%）」となっている。

図表 3-2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

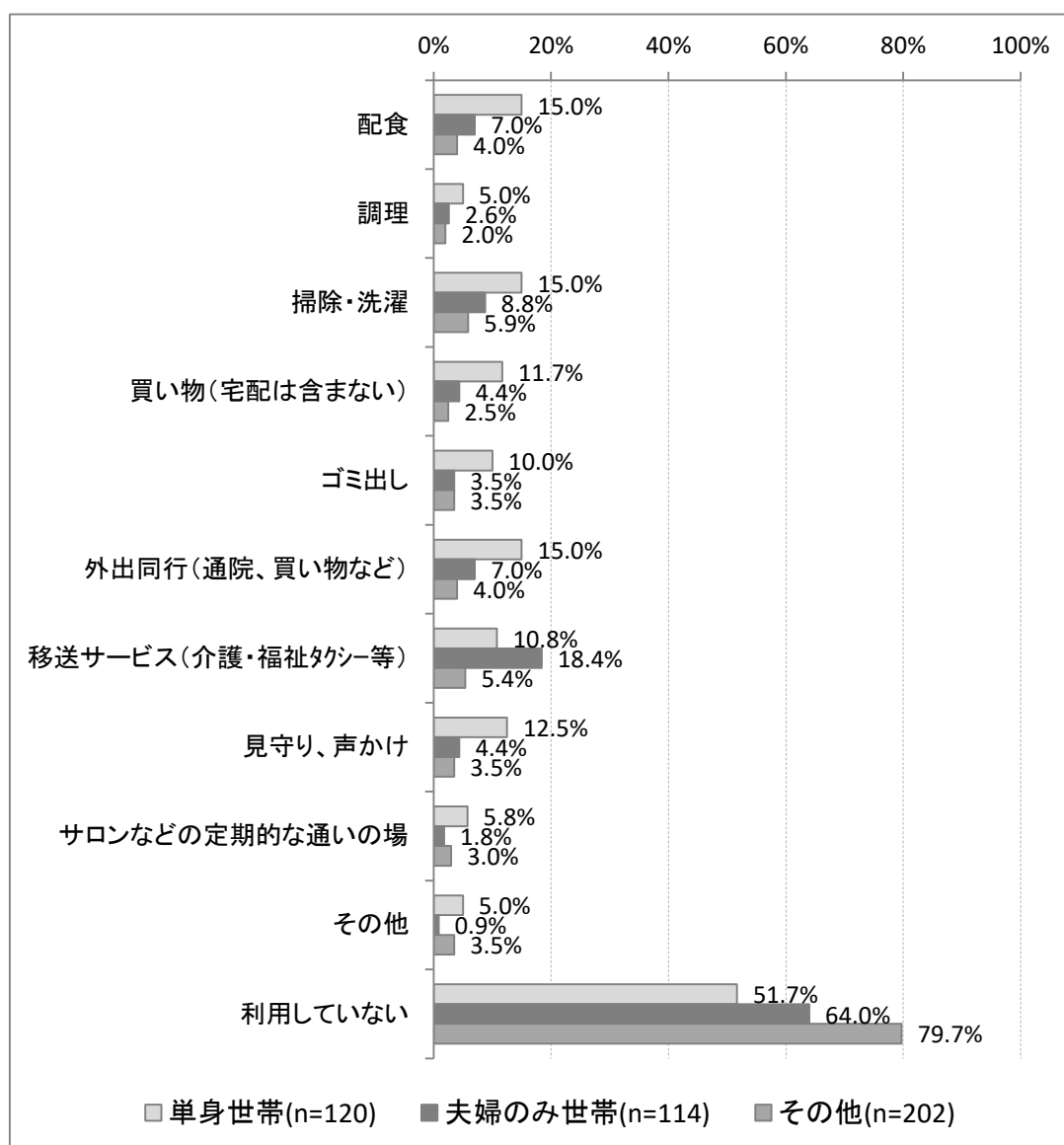
【世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が51.7%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が15.0%、「見守り、声かけ」が12.5%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が64.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.4%、「掃除・洗濯」が8.8%となっている。

「その他」では「利用していない」が79.7%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が5.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.4%となっている。

図表 3-3 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



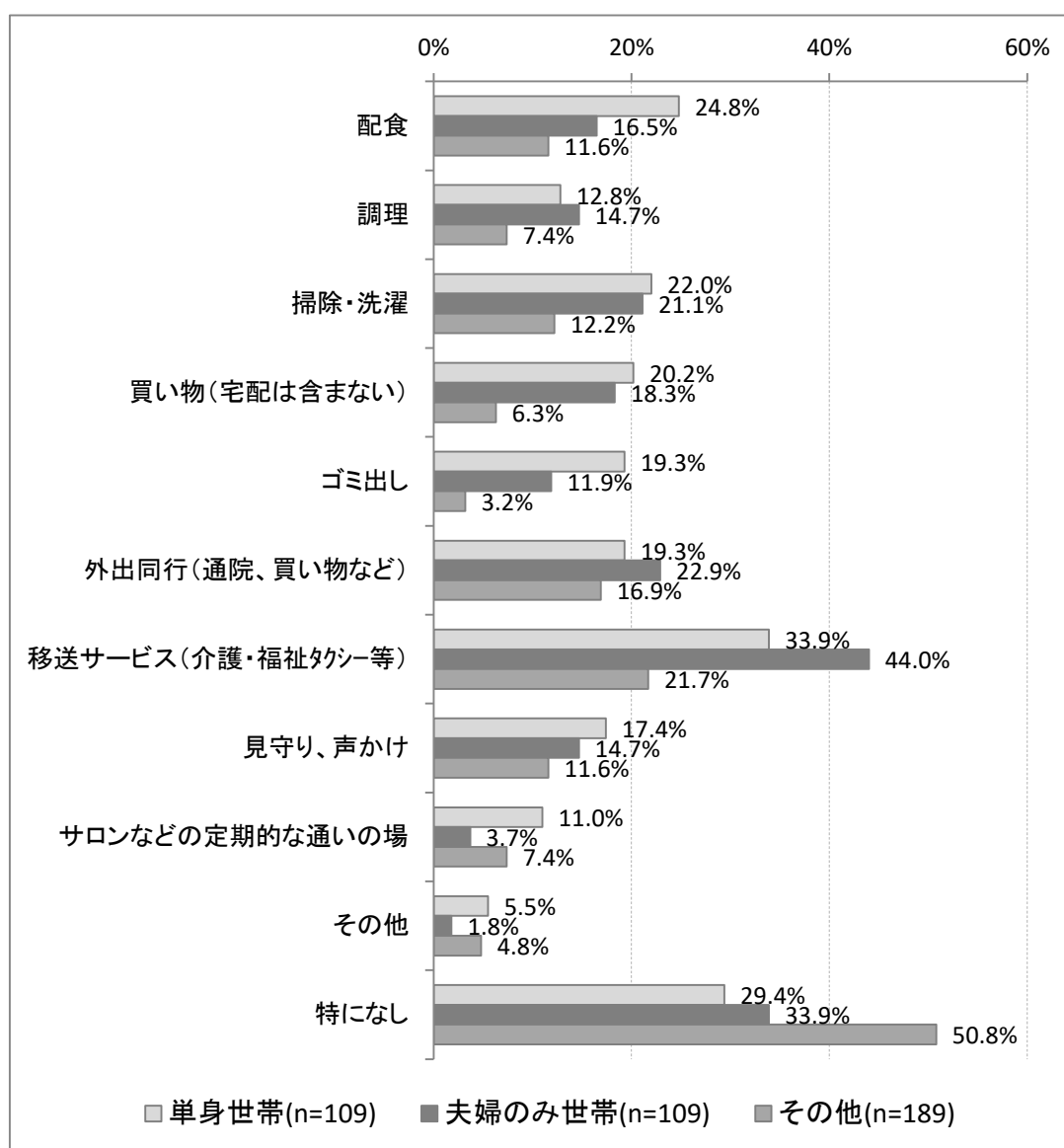
【世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.9%と最も割合が高く、次いで「特になし」が29.4%、「配食」が24.8%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が44.0%と最も割合が高く、次いで「特になし」が33.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が22.9%となっている。

「その他」では「特になし」が50.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が16.9%となっている。

図表 3-4 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(3)「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

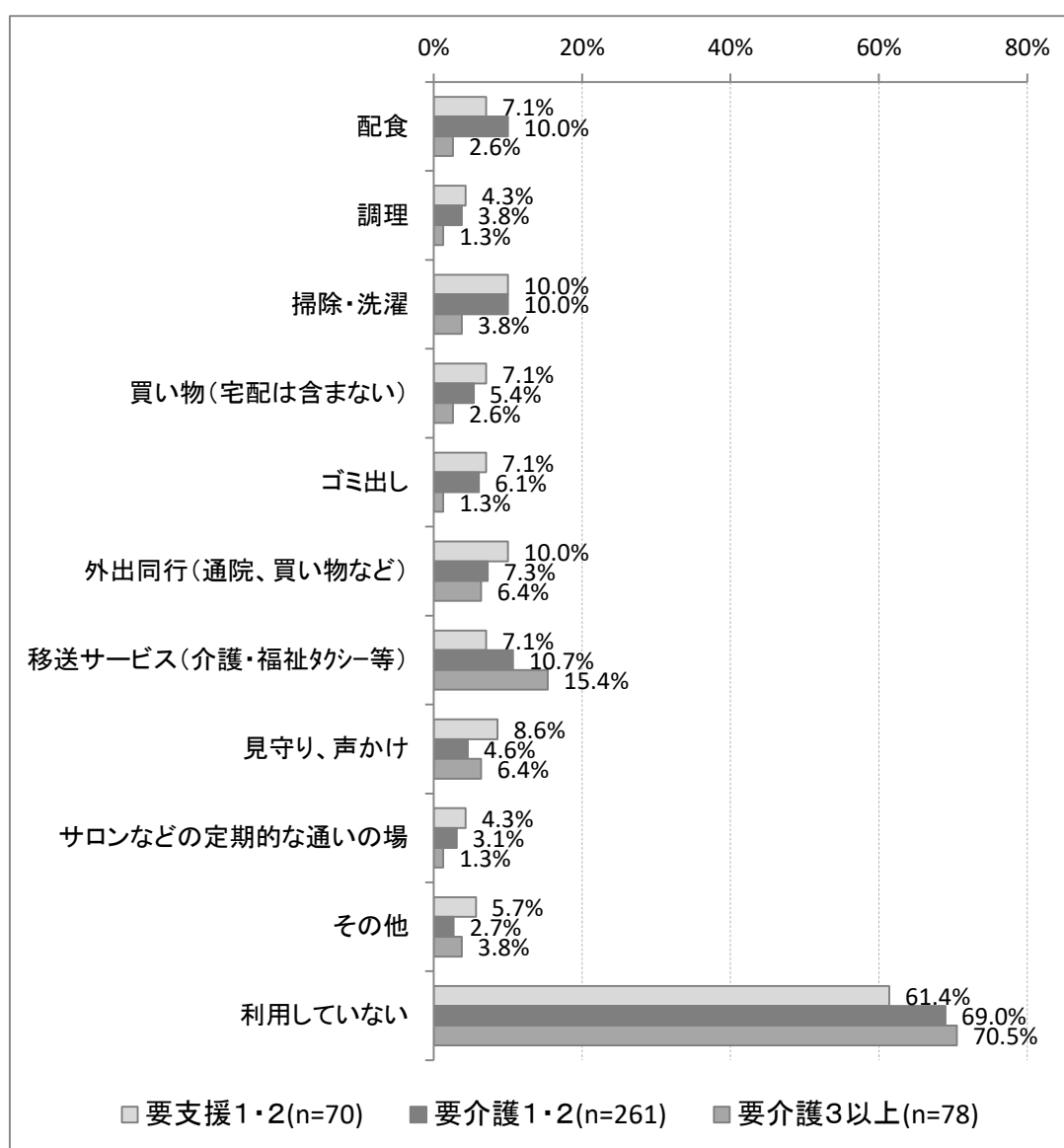
【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が61.4%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が10.0%、「見守り、声かけ」が8.6%となっている。

「要介護1・2」では「利用していない」が69.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.7%、「配食」、「掃除・洗濯」が10.0%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が70.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.4%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が6.4%となっている。

図表 3-5 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



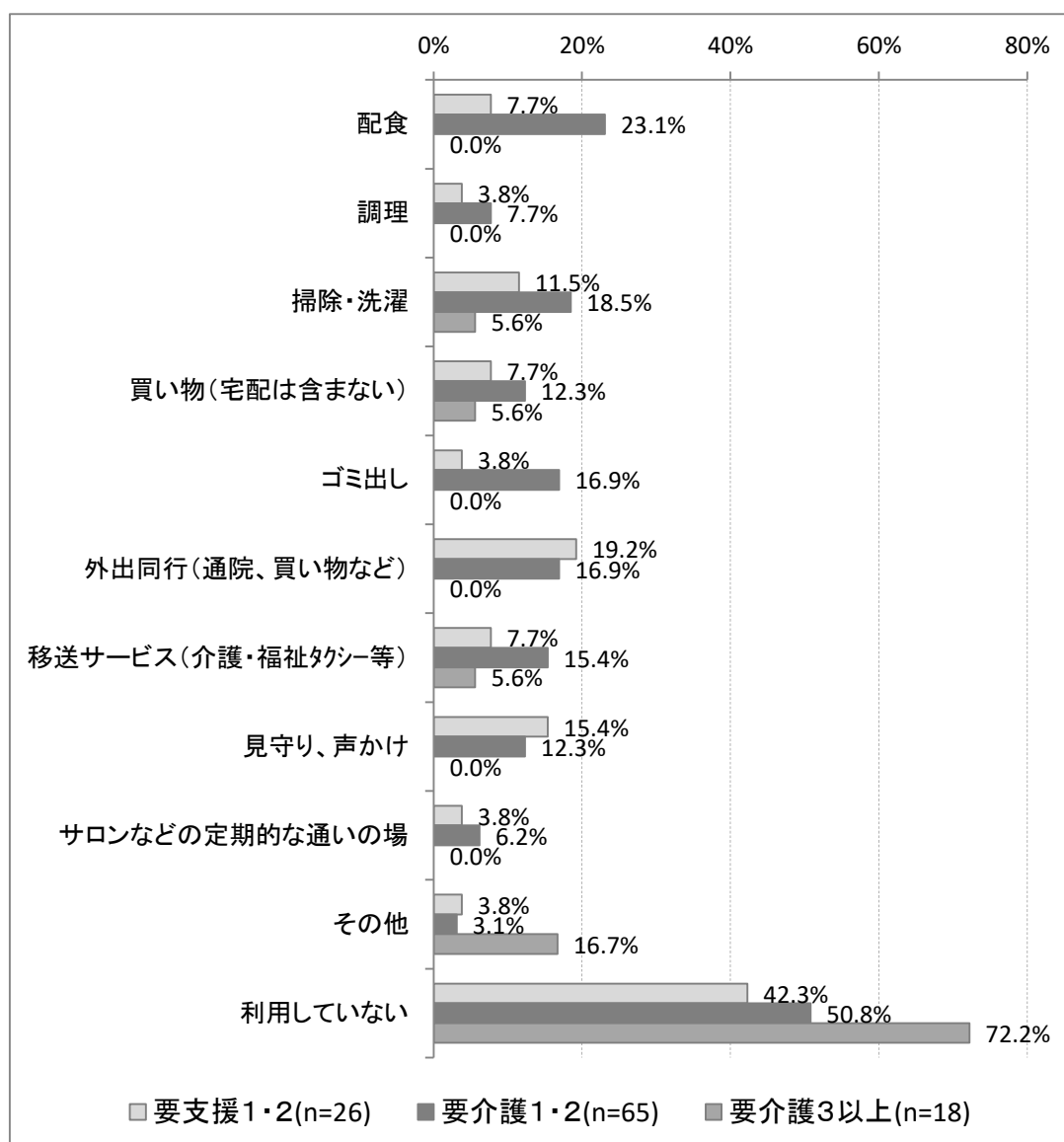
【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が42.3%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が19.2%、「見守り、声かけ」が15.4%となっている。

「要介護１・２」では「利用していない」が50.8%と最も割合が高く、次いで「配食」が23.1%、「掃除・洗濯」が18.5%となっている。

「要介護３以上」では「利用していない」が72.2%と最も割合が高く、次いで「その他」が16.7%、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.6%となっている。

図表 3-6 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



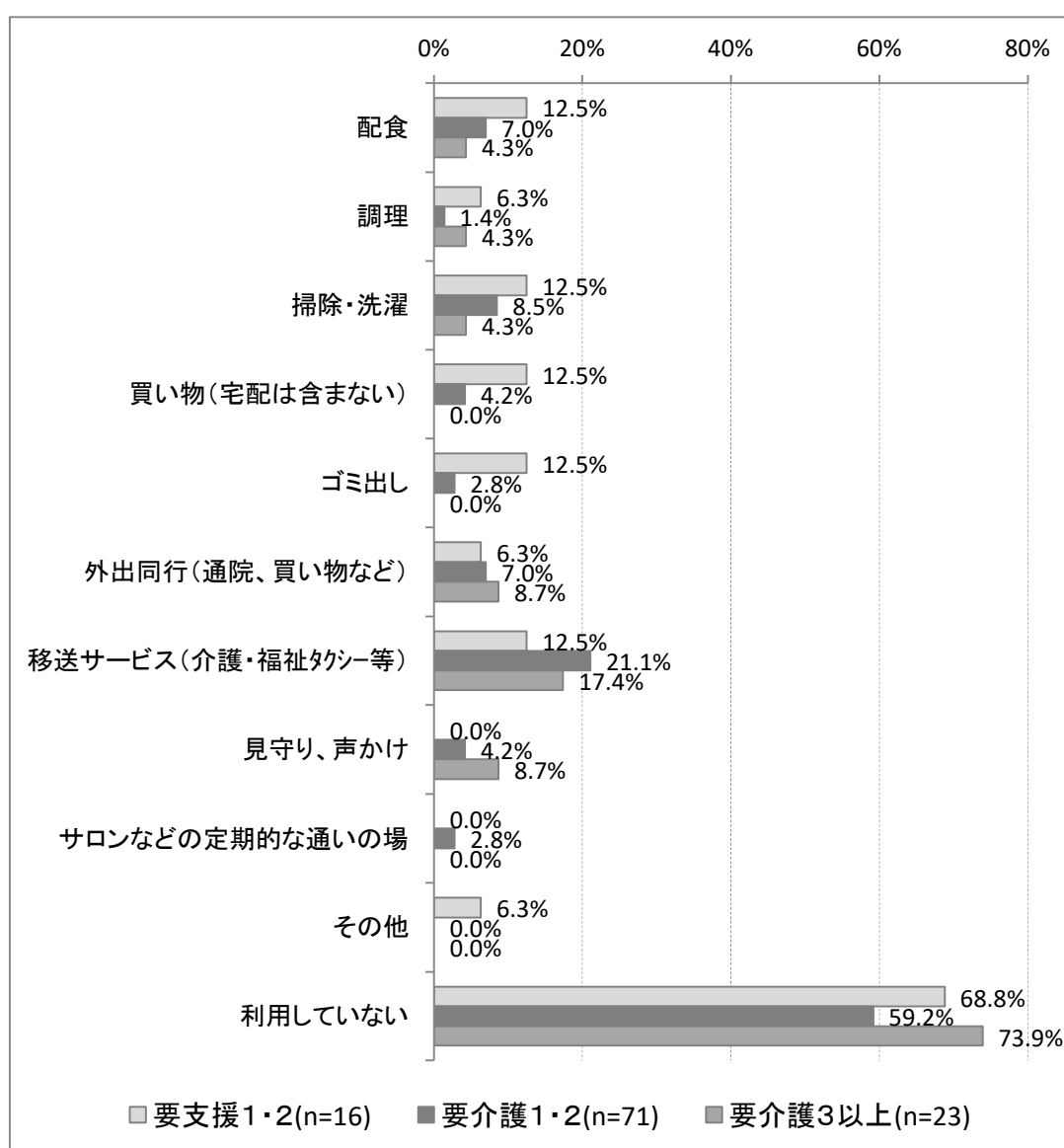
【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が68.8%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.5%、「調理」、「外出同行（通院、買い物など）」、「その他」が6.3%となっている。

「要介護1・2」では「利用していない」が59.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.1%、「掃除・洗濯」が8.5%となっている。

「要介護3以上」では「利用していない」が73.9%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.4%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が8.7%となっている。

図表 3-7 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



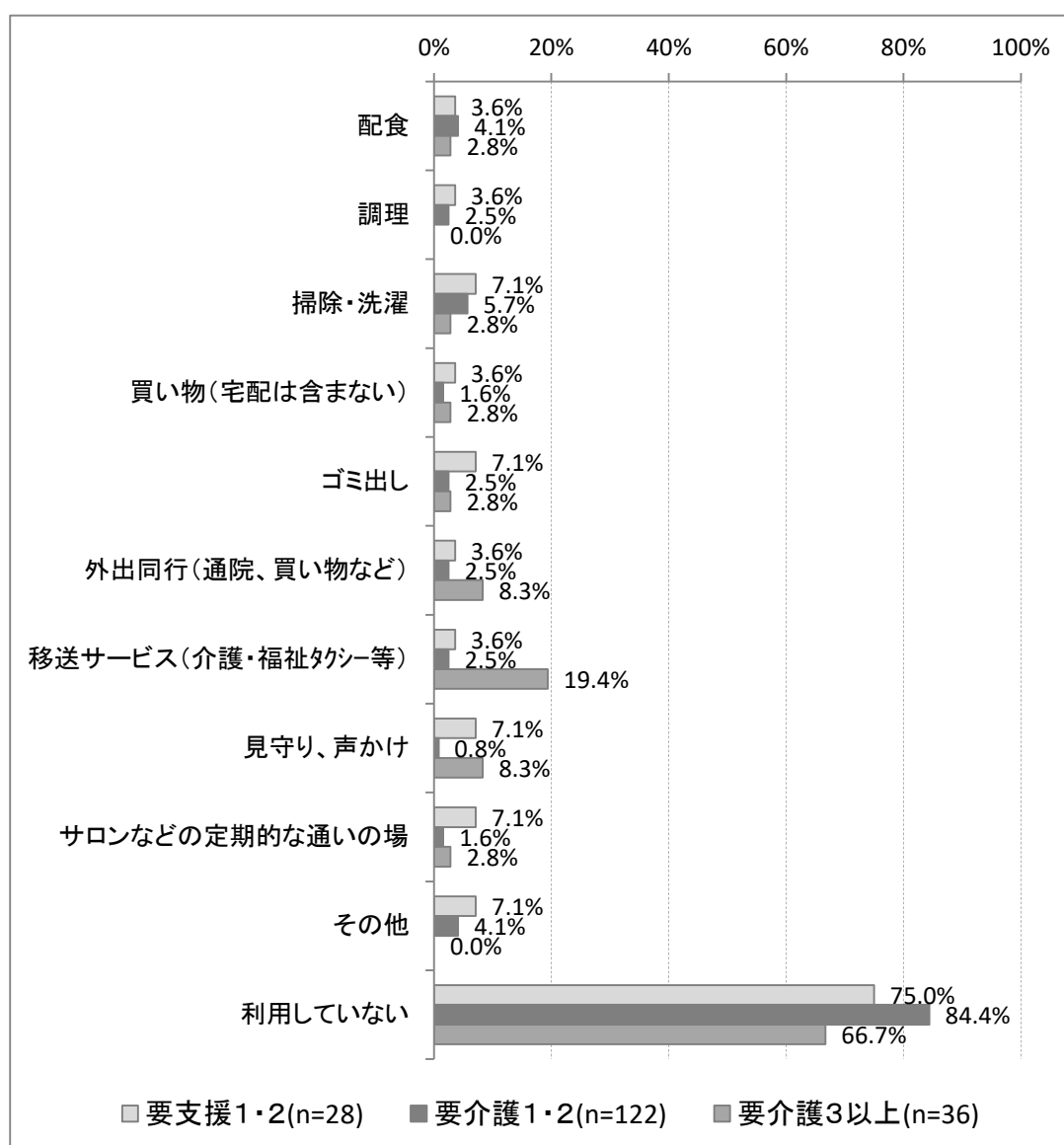
【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が7.1%、「配食」、「調理」、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が3.6%となっている。

「要介護１・２」では「利用していない」が84.4%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が5.7%、「配食」、「その他」が4.1%となっている。

「要介護３以上」では「利用していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.4%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が8.3%となっている。

図表 3-8 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）





#### (4)「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

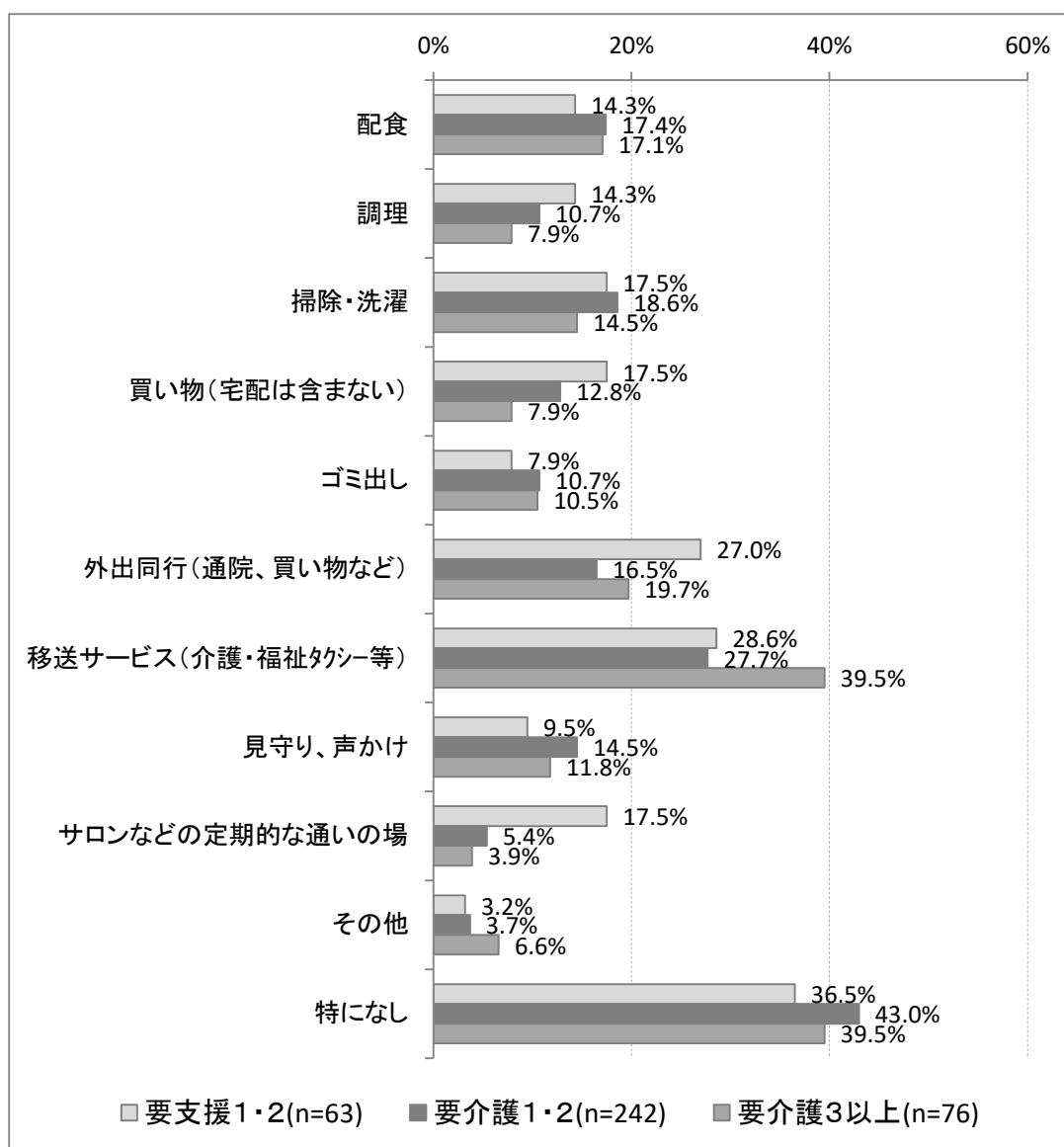
##### 【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が36.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が27.0%となっている。

「要介護1・2」では「特になし」が43.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.7%、「掃除・洗濯」が18.6%となっている。

「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」が39.5%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が19.7%、「配食」が17.1%となっている。

図表 3-9 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



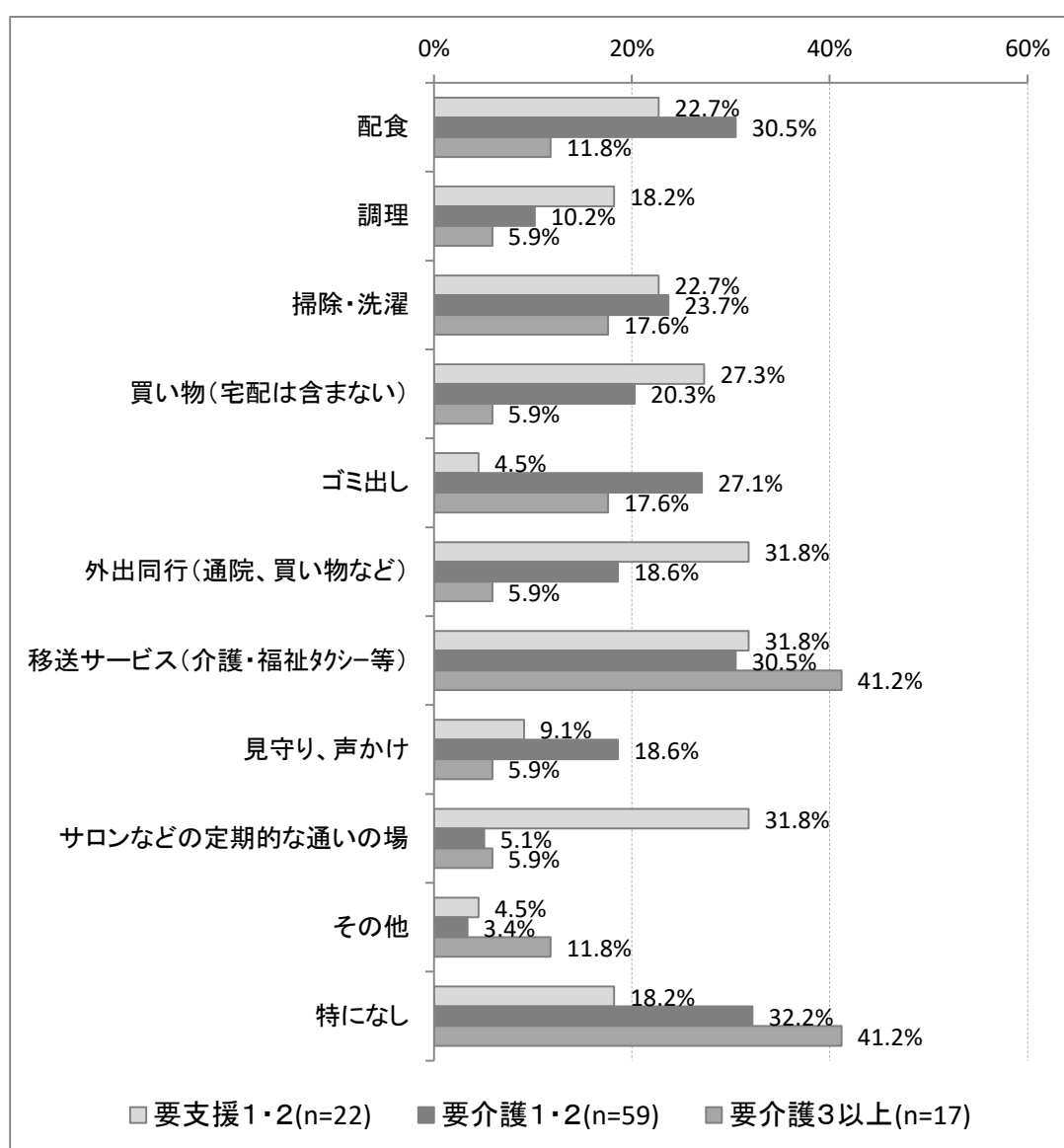
【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「サロンなどの定期的な通いの場」が31.8%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が27.3%、「配食」、「掃除・洗濯」が22.7%となっている。

「要介護1・2」では「特になし」が32.2%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.5%、「ゴミ出し」が27.1%となっている。

「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」が41.2%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」が17.6%、「配食」、「その他」が11.8%となっている。

図表 3-10 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



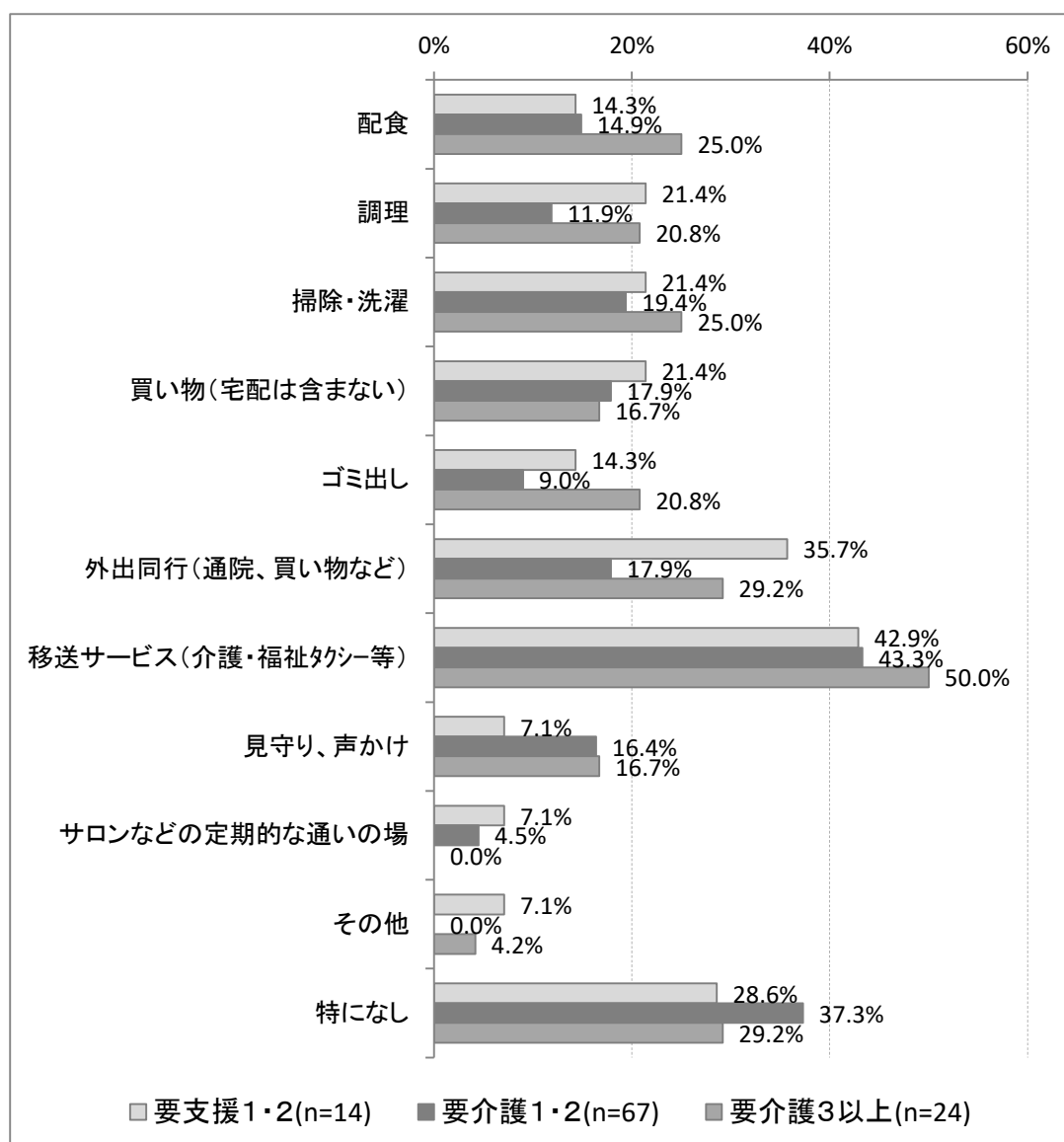
【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 35.7%、「特になし」が 28.6%となっている。

「要介護１・２」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 43.3%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 37.3%、「掃除・洗濯」が 19.4%となっている。

「要介護３以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「特になし」が 29.2%、「配食」、「掃除・洗濯」が 25.0%となっている。

図表 3-11 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



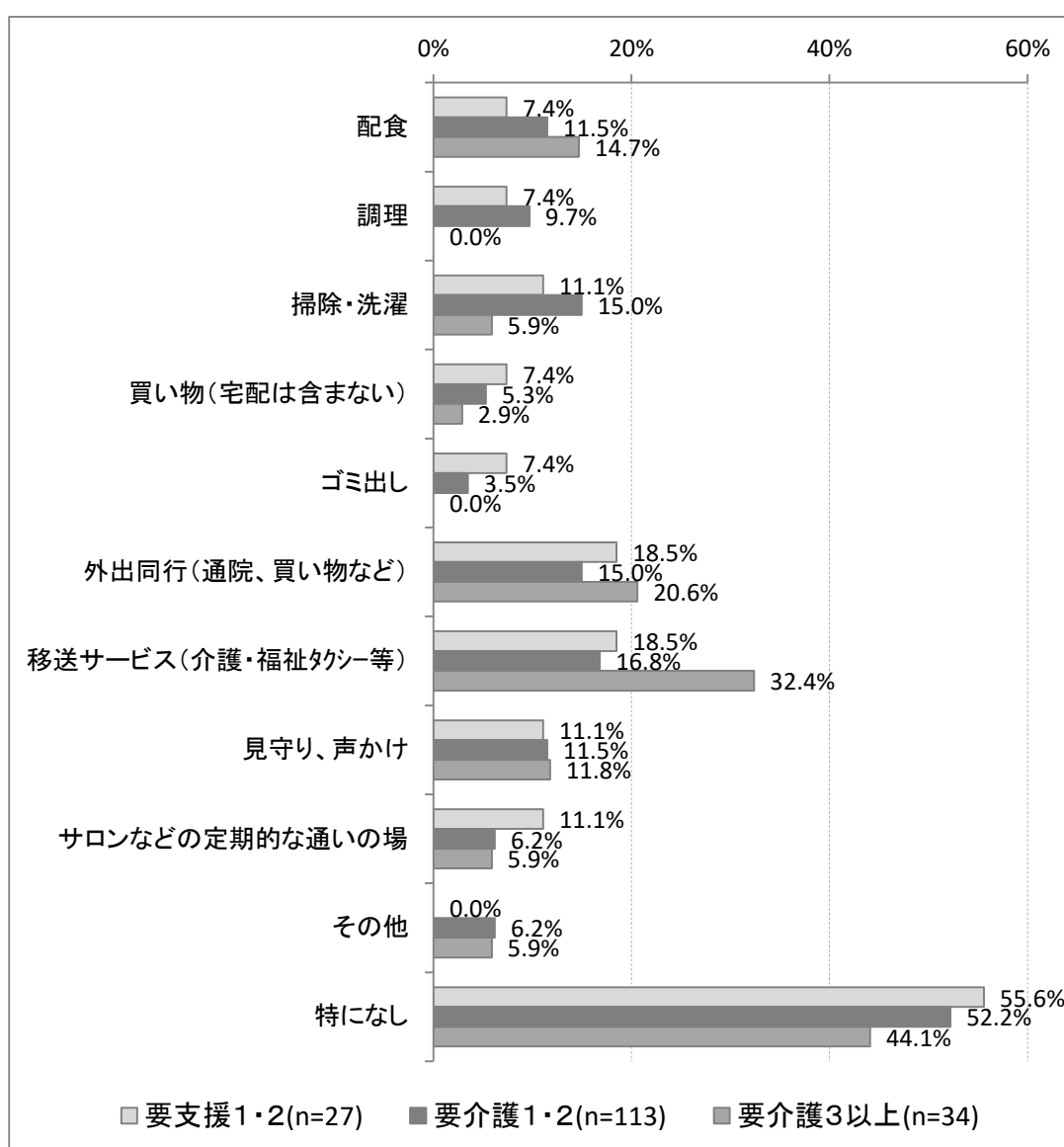
【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が55.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.5%、「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」が11.1%となっている。

「要介護1・2」では「特になし」が52.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.8%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が15.0%となっている。

「要介護3以上」では「特になし」が44.1%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が20.6%となっている。

図表 3-12 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



## 4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

### 4.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。
- 将来の高齢世帯の世帯タイプの構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

### 4.2 集計結果と着目すべきポイント

#### (1) 基礎集計

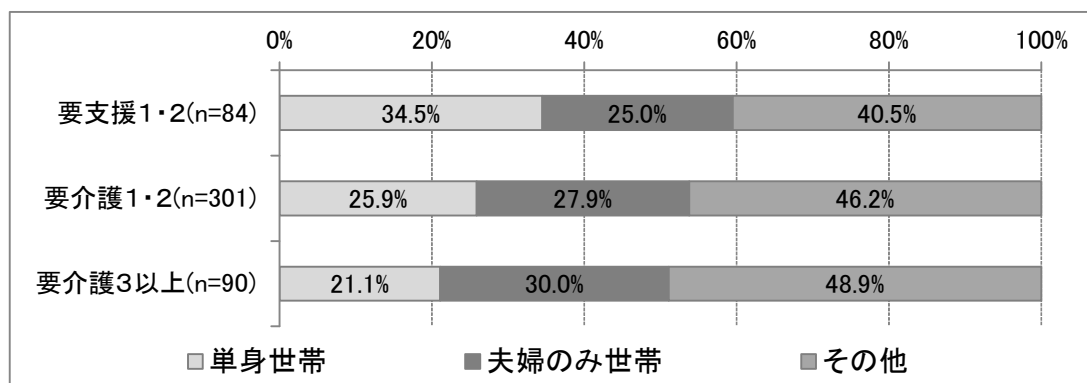
##### 【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他」が40.5%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が34.5%、「夫婦のみ世帯」が25.0%となっている。

「要介護1・2」では「その他」が46.2%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が27.9%、「単身世帯」が25.9%となっている。

「要介護3以上」では「その他」が48.9%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.0%、「単身世帯」が21.1%となっている。

図表 4-1 要介護度別・世帯類型



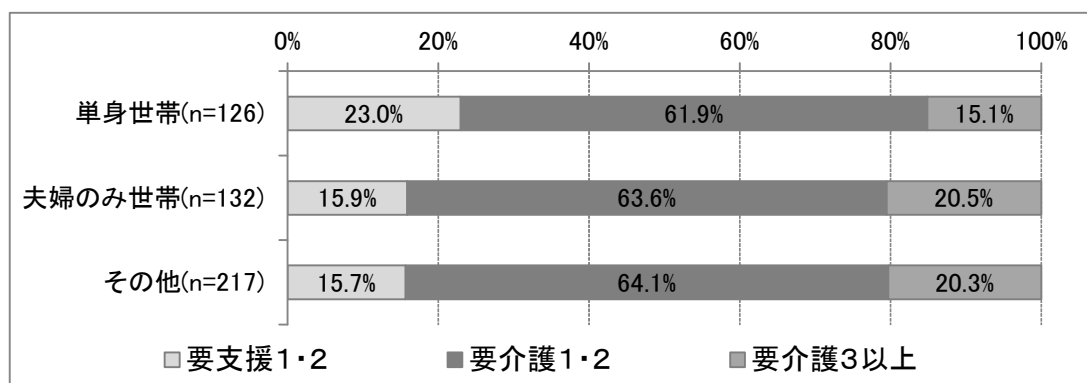
### 【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護1・2」が61.9%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が23.0%、「要介護3以上」が15.1%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が63.6%と最も割合が高く、次いで「要介護3以上」が20.5%、「要支援1・2」が15.9%となっている。

「その他」では「要介護1・2」が64.1%と最も割合が高く、次いで「要介護3以上」が20.3%、「要支援1・2」が15.7%となっている。

図表 4-2 世帯類型別・要介護度



## (2)「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

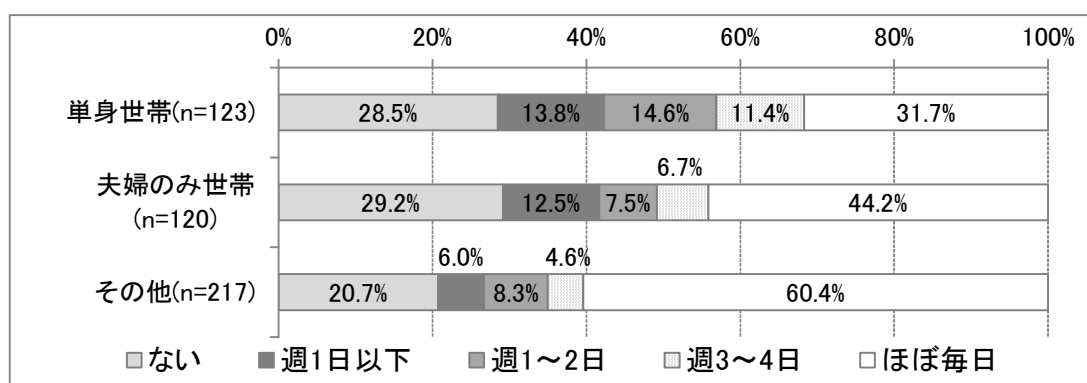
### 【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ほぼ毎日」が31.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が28.5%、「週1～2日」が14.6%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が44.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が29.2%、「週1日以下」が12.5%となっている。

「その他」では「ほぼ毎日」が60.4%と最も割合が高く、次いで「ない」が20.7%、「週1～2日」が8.3%となっている。

図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度<\*\*\*>



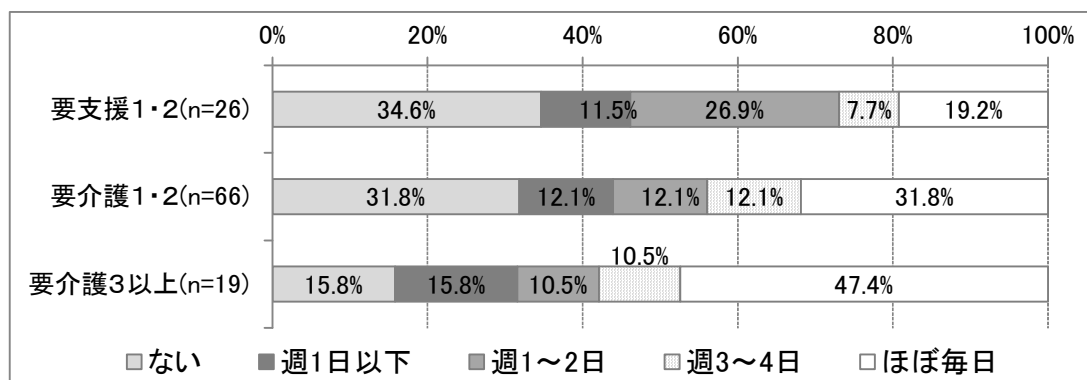
### 【要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が34.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が26.9%、「ほぼ毎日」が19.2%となっている。

「要介護1・2」では「ない」、「ほぼ毎日」が31.8%、「週1日以下」、「週1～2日」、「週3～4日」が12.1%となっている。

「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が47.4%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1日以下」が15.8%、「週1～2日」、「週3～4日」が10.5%となっている。

図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



### 【要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）】

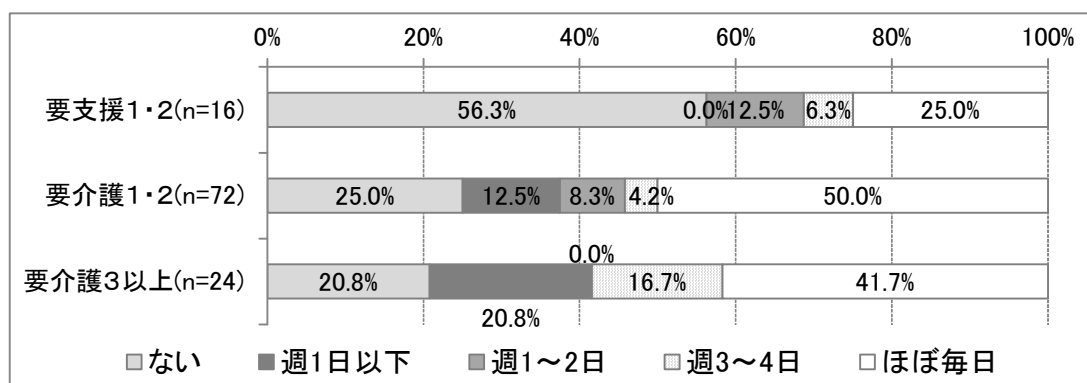
ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が56.3%

と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が25.0%、「週1～2日」が12.5%となっている。

「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が50.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が25.0%、「週1日以下」が12.5%となっている。

「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が41.7%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1日以下」が20.8%、「週3～4日」が16.7%となっている。

図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）<\*>



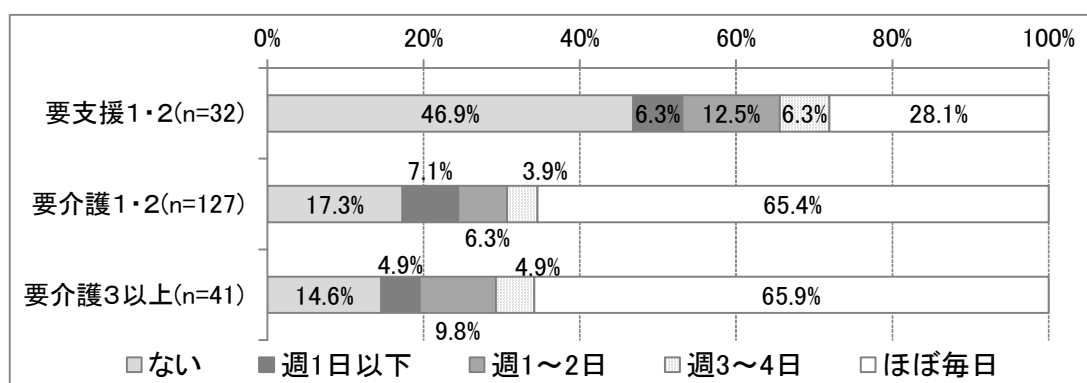
【要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が46.9%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が28.1%、「週1～2日」が12.5%となっている。

「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が65.4%と最も割合が高く、次いで「ない」が17.3%、「週1日以下」が7.1%となっている。

「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が65.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が14.6%、「週1～2日」が9.8%となっている。

図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）<\*>





(3)「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

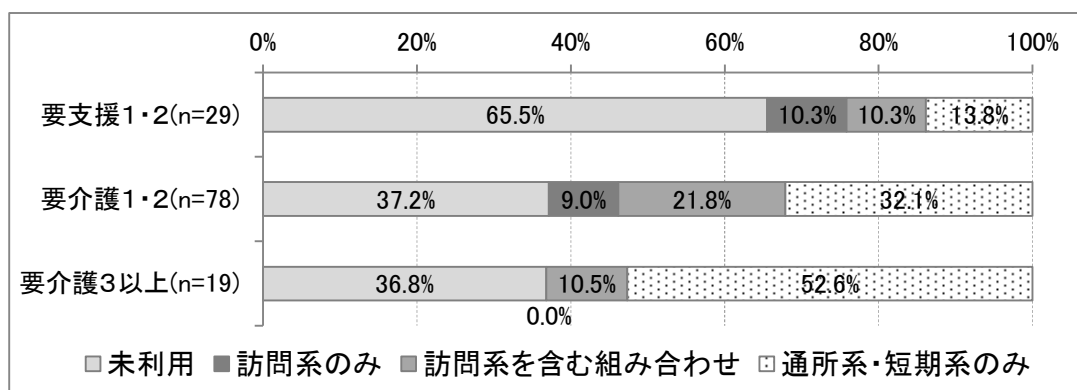
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が65.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が13.8%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が10.3%となっている。

「要介護１・２」では「未利用」が37.2%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が21.8%となっている。

「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が52.6%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が10.5%となっている。

図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）＜＊＞



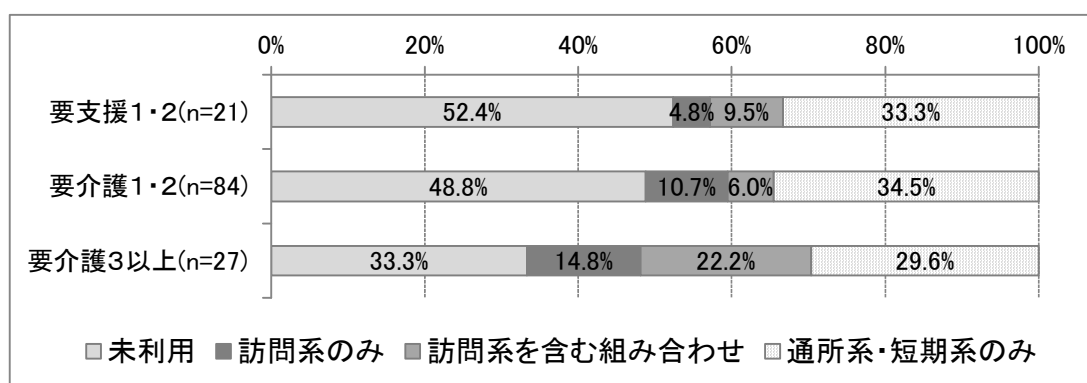
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が52.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が33.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が9.5%となっている。

「要介護１・２」では「未利用」が48.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が34.5%、「訪問系のみ」が10.7%となっている。

「要介護３以上」では「未利用」が33.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が29.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.2%となっている。

図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



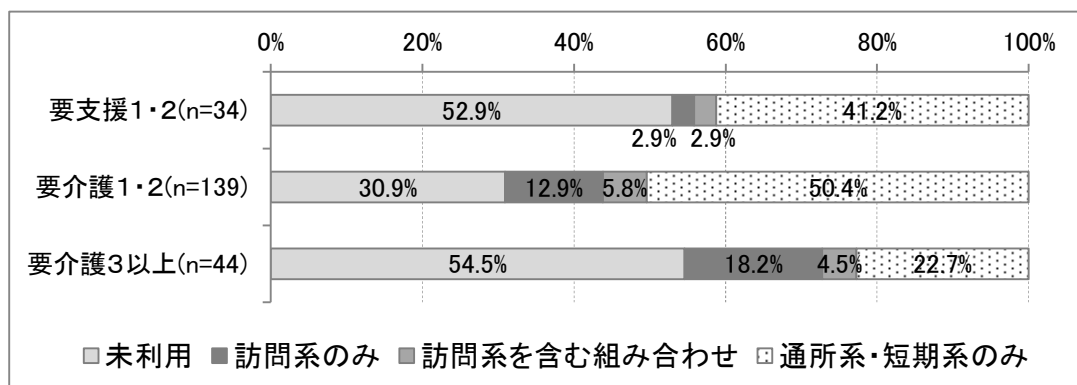
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が52.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が41.2%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が2.9%となっている。

「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が50.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が30.9%、「訪問系のみ」が12.9%となっている。

「要介護３以上」では「未利用」が54.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が22.7%、「訪問系のみ」が18.2%となっている。

図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯） <\*>



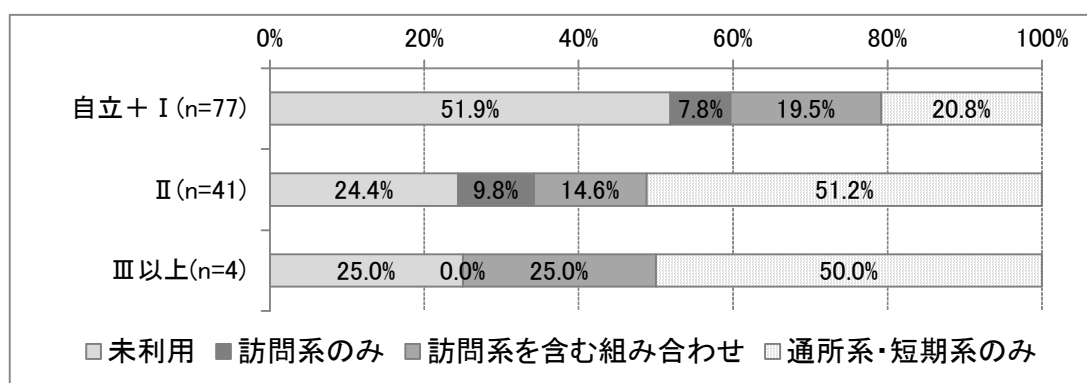
【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が51.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が20.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が19.5%となっている。

「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が51.2%と最も割合が高く、次いで「未利用」が24.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.6%となっている。

「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が25.0%、「訪問系のみ」が0.0%となっている。

図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）＜\*＞



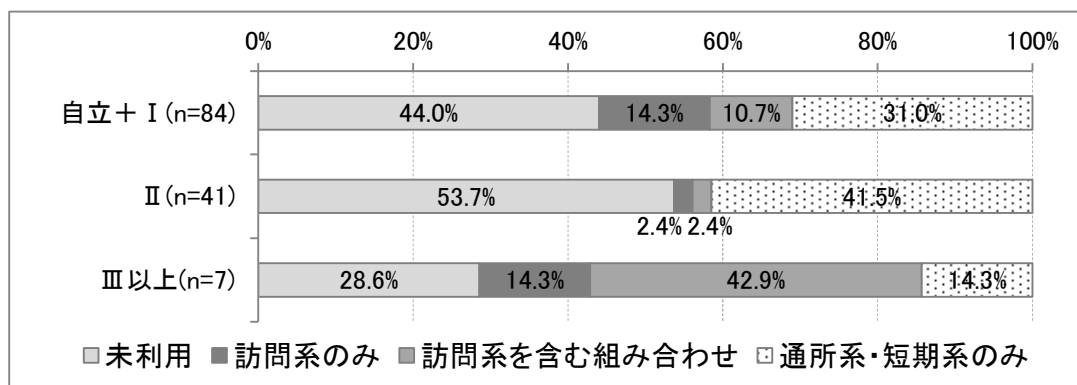
【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が44.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.0%、「訪問系のみ」が14.3%となっている。

「Ⅱ」では「未利用」が53.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が41.5%、「訪問系のみ」が2.4%となっている。

「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が28.6%、「訪問系のみ」が14.3%、「通所系・短期系のみ」が14.3%となっている。

図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）＜\*＞



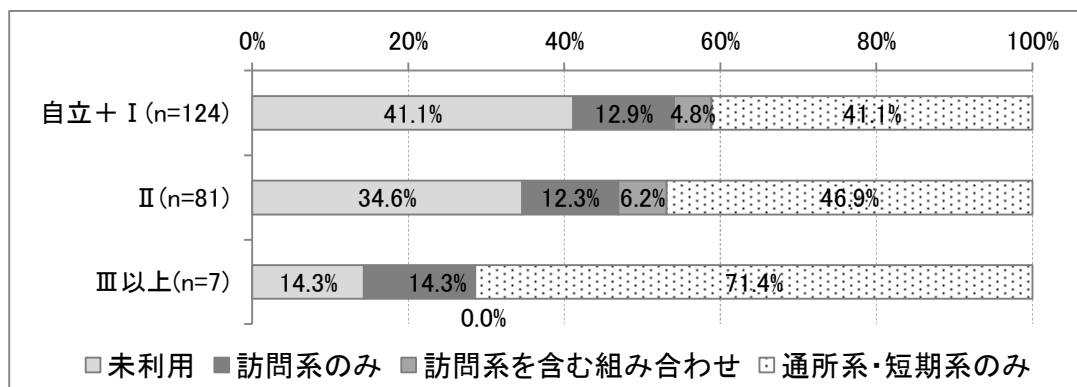
【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が41.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が12.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が4.8%となっている。

「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が46.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が34.6%、「訪問系のみ」が12.3%となっている。

「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が71.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が14.3%、「訪問系のみ」が14.3%となっている。

図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

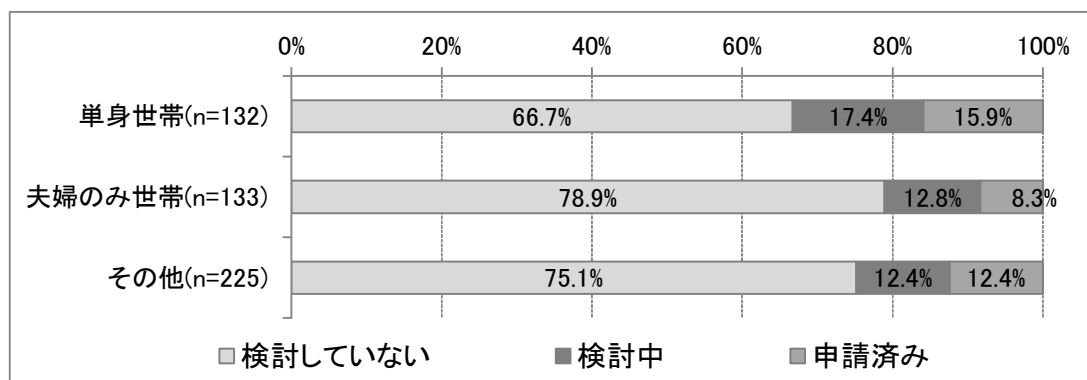


#### (4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

##### 【世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.4%、「申請済み」が15.9%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が78.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.8%、「申請済み」が8.3%となっている。「その他」では「検討していない」が75.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が12.4%となっている。

図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



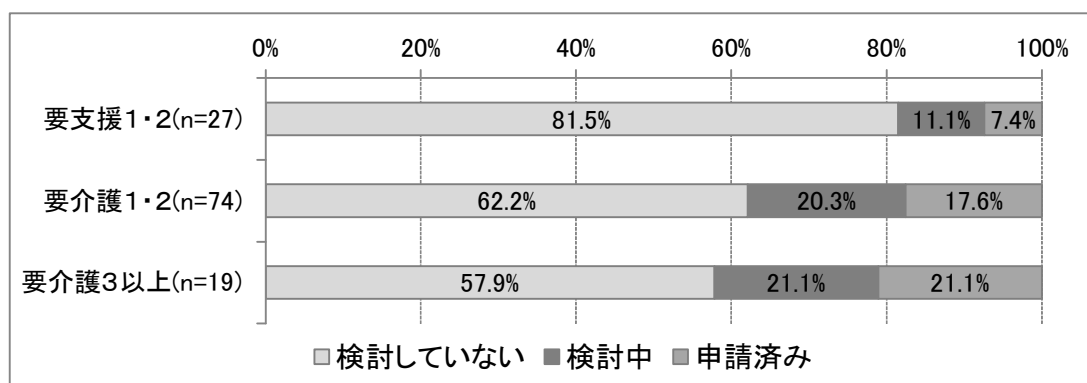
##### 【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が81.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.1%、「申請済み」が7.4%となっている。

「要介護１・２」では「検討していない」が62.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.3%、「申請済み」が17.6%となっている。

「要介護３以上」では「検討していない」が57.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が21.1%となっている。

図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



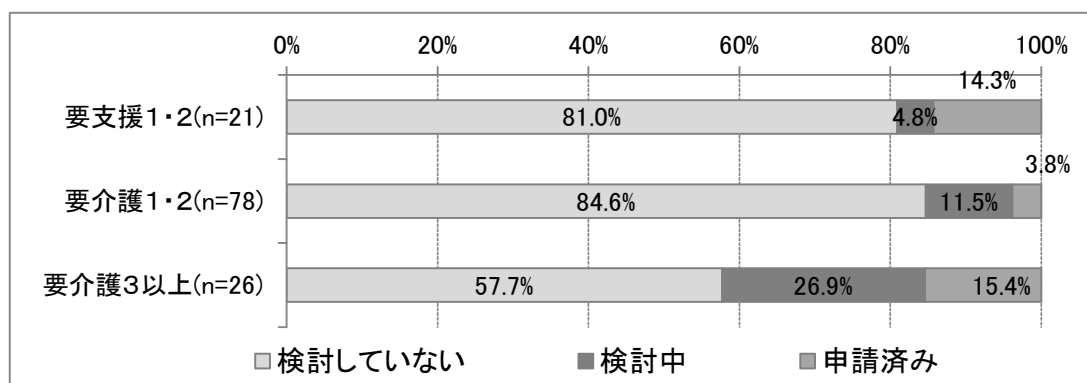
【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 81.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 14.3%、「検討中」が 4.8%となっている。

「要介護１・２」では「検討していない」が 84.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 11.5%、「申請済み」が 3.8%となっている。

「要介護３以上」では「検討していない」が 57.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 26.9%、「申請済み」が 15.4%となっている。

図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）<\*>



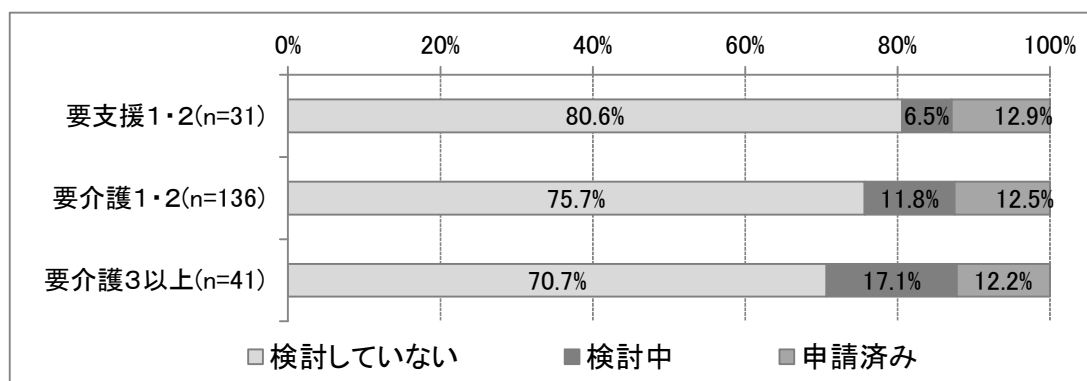
【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 80.6%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 12.9%、「検討中」が 6.5%となっている。

「要介護１・２」では「検討していない」が 75.7%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が 12.5%、「検討中」が 11.8%となっている。

「要介護３以上」では「検討していない」が 70.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 17.1%、「申請済み」が 12.2%となっている。

図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



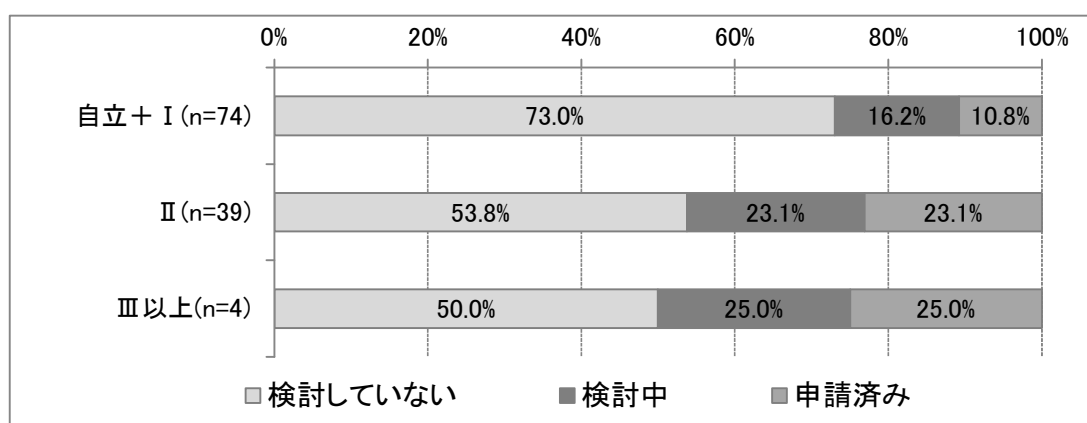
【認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が73.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.2%、「申請済み」が10.8%となっている。

「Ⅱ」では「検討していない」が53.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が23.1%となっている。

「Ⅲ以上」では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が25.0%となっている。

図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



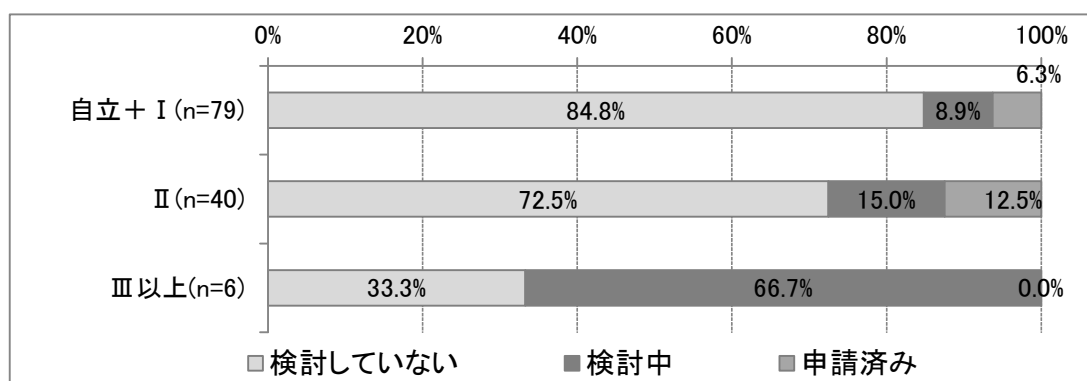
【認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が84.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.9%、「申請済み」が6.3%となっている。

「Ⅱ」では「検討していない」が72.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.0%、「申請済み」が12.5%となっている。

「Ⅲ以上」では「検討中」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）<\*>



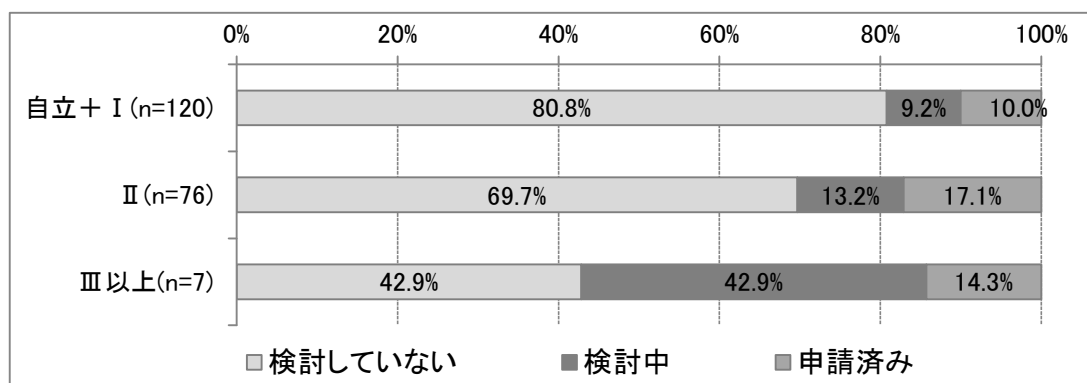
【認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が80.8%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が10.0%、「検討中」が9.2%となっている。

「Ⅱ」では「検討していない」が69.7%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が17.1%、「検討中」が13.2%となっている。

「Ⅲ以上」では「検討していない」、「検討中」が42.9%、「申請済み」が14.3%となっている。

図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）＜＊＞





## 5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

### 5.1 集計・分析の狙い

- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

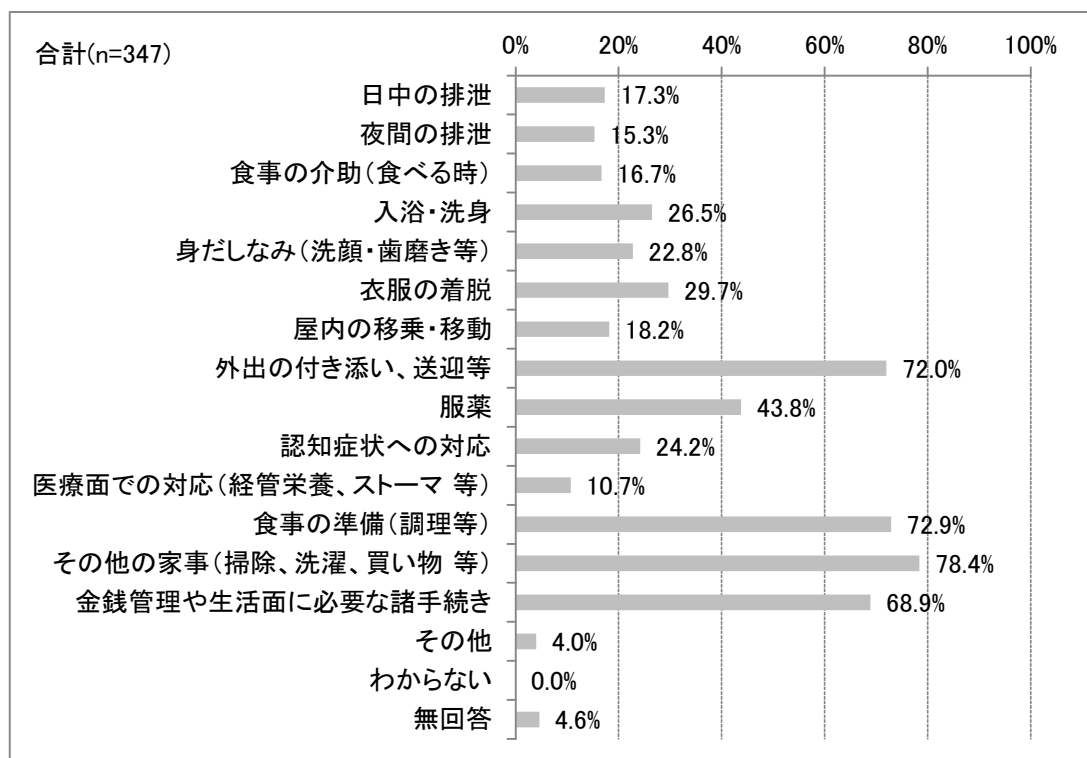
### 5.2 集計結果と着目すべきポイント

#### (1) 基礎集計

##### 【★主な介護者が行っている介護】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 78.4%となっている。次いで、「食事の準備（調理等）（72.9%）」、「外出の付き添い、送迎等（72.0%）」となっている。

図表 5-1 ★主な介護者が行っている介護



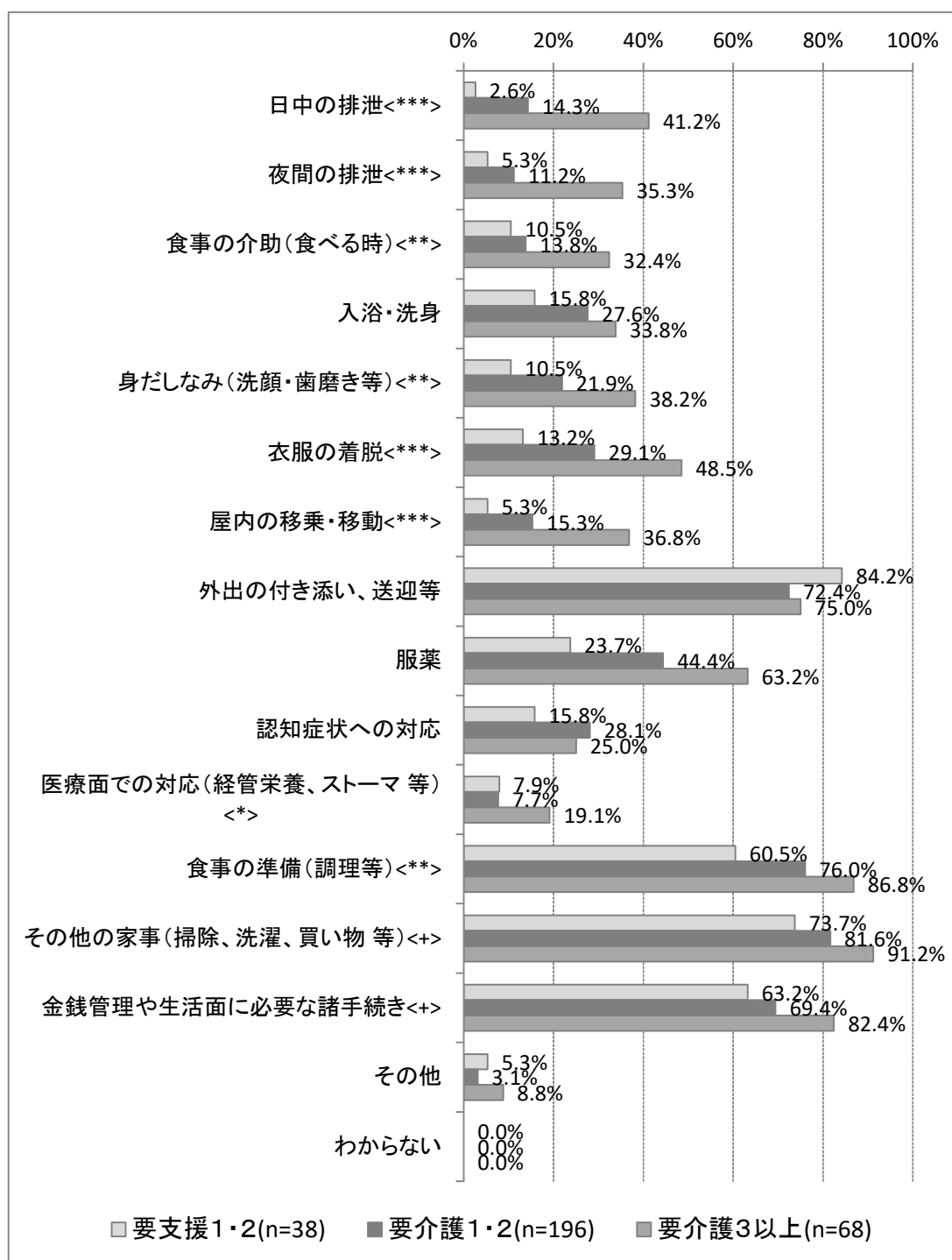
【要介護度別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「外出の付き添い、送迎等」が 84.2%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 73.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 63.2%となっている。

「要介護１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 81.6%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 76.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 72.4%となっている。

「要介護３以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 91.2%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 86.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 82.4%となっている。

図表 5-2 要介護度別・★主な介護者が行っている介護



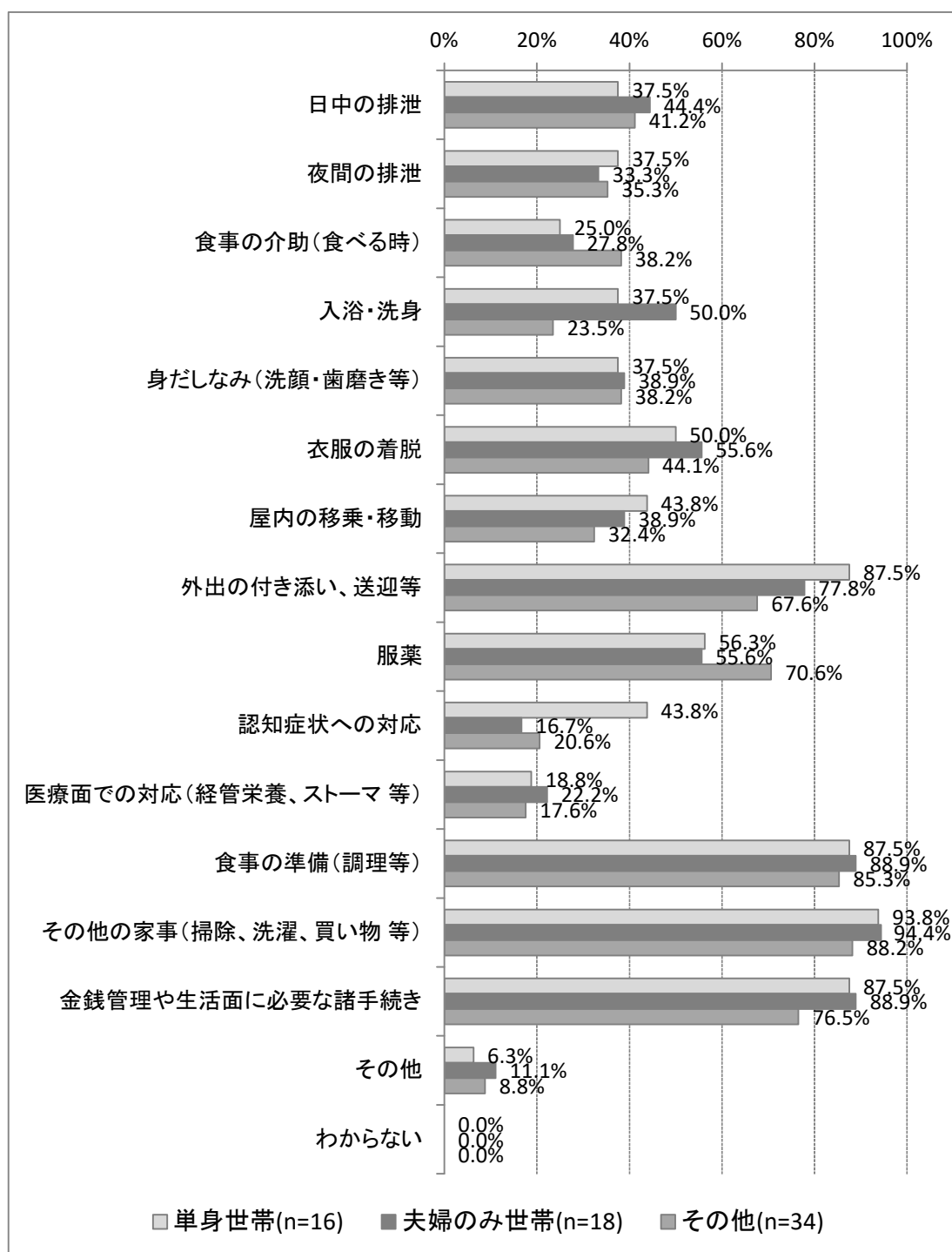
【世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護３以上）】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 93.8%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 87.5%、「服薬」が 56.3%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 94.4%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 88.9%、「外出の付き添い、送迎等」が 77.8%となっている。

「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 88.2%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 85.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 76.5%となっている。

図表 5-3 世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）

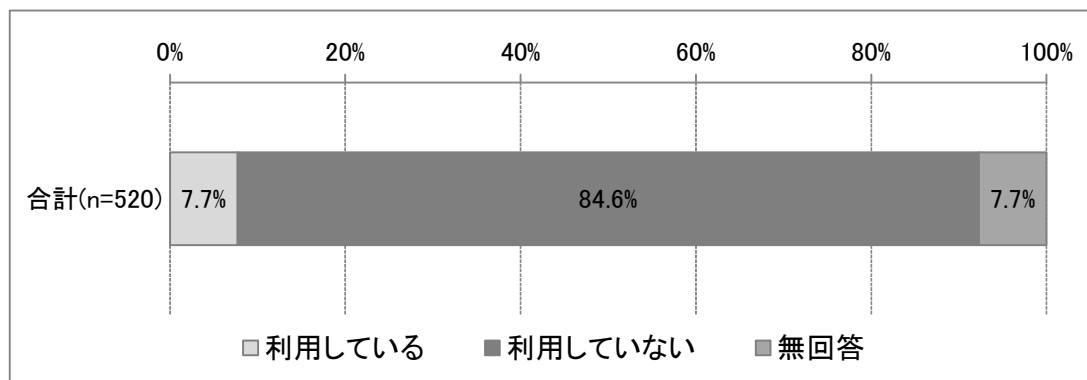


## (2) 訪問診療の利用割合

### 【★訪問診療の利用の有無】

「利用していない」の割合が最も高く 84.6%となっている。次いで、「利用している(7.7%)」となっている。

図表 5-4 ★訪問診療の利用の有無



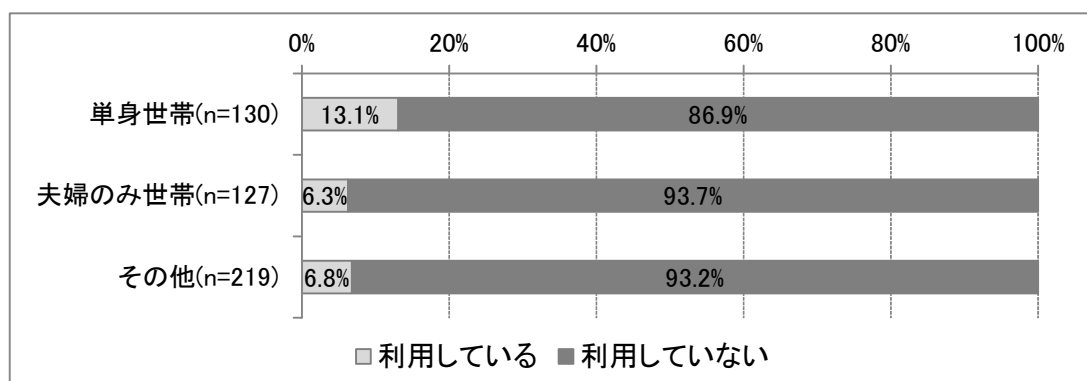
### 【世帯類型別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 86.9%、「利用している」が 13.1%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 93.7%、「利用している」が 6.3%となっている。

「その他」では「利用していない」が 93.2%、「利用している」が 6.8%となっている。

図表 5-5 世帯類型別・★訪問診療の利用割合<+>

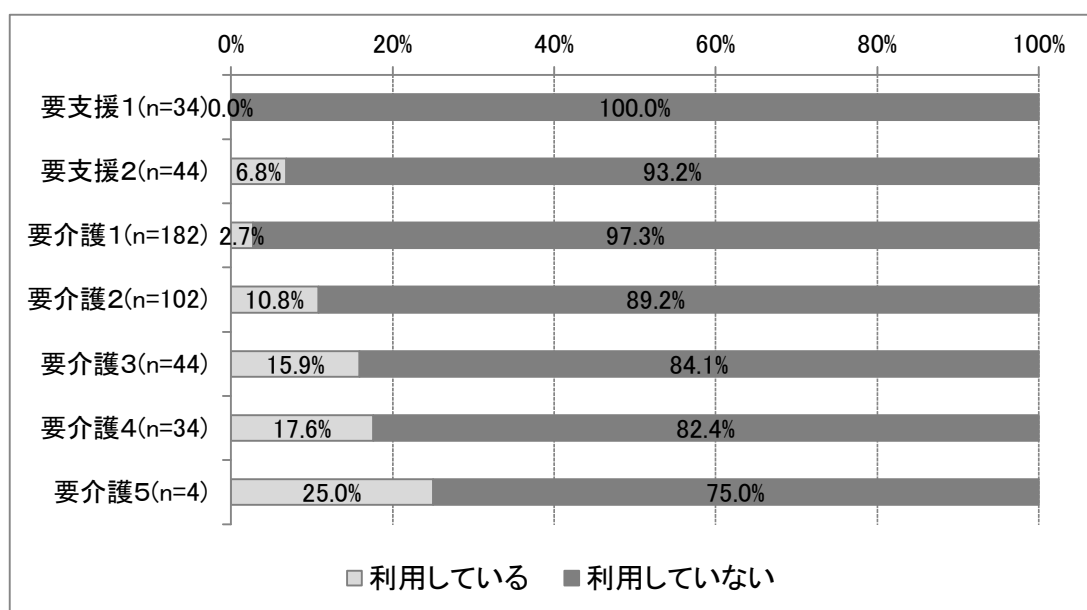


【要介護度別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用していない」が100.0%となっている。

「要支援2」では「利用していない」が93.2%、「利用している」が6.8%となっている。  
「要介護1」では「利用していない」が97.3%、「利用している」が2.7%となっている。  
「要介護2」では「利用していない」が89.2%、「利用している」が10.8%となっている。  
「要介護3」では「利用していない」が84.1%、「利用している」が15.9%となっている。  
「要介護4」では「利用していない」が82.4%、「利用している」が17.6%となっている。  
「要介護5」では「利用していない」が75.0%、「利用している」が25.0%となっている。

図表 5-6 要介護度別・★訪問診療の利用割合<\*>



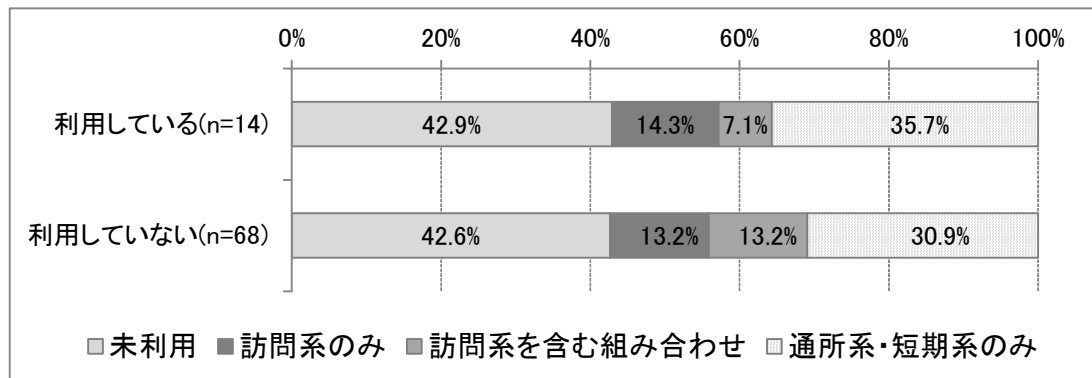
### (3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

#### 【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「未利用」が42.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が35.7%、「訪問系のみ」が14.3%となっている。

「利用していない」では「未利用」が42.6%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.9%、「訪問系のみ」、 「訪問系を含む組み合わせ」が13.2%となっている。

図表 5-7 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）





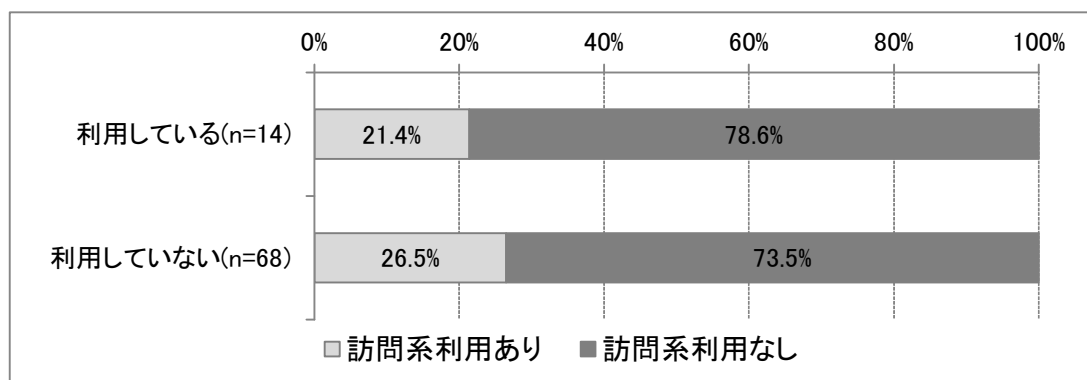
(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用なし」が78.6%、「訪問系利用あり」が21.4%となっている。

「利用していない」では「訪問系利用なし」が73.5%、「訪問系利用あり」が26.5%となっている。

図表 5-8 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）

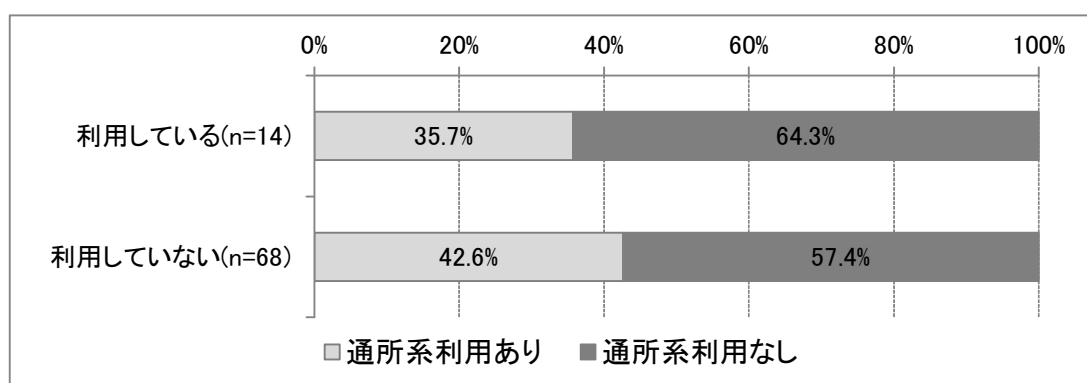


【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が64.3%、「通所系利用あり」が35.7%となっている。

「利用していない」では「通所系利用なし」が57.4%、「通所系利用あり」が42.6%となっている。

図表 5-9 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）

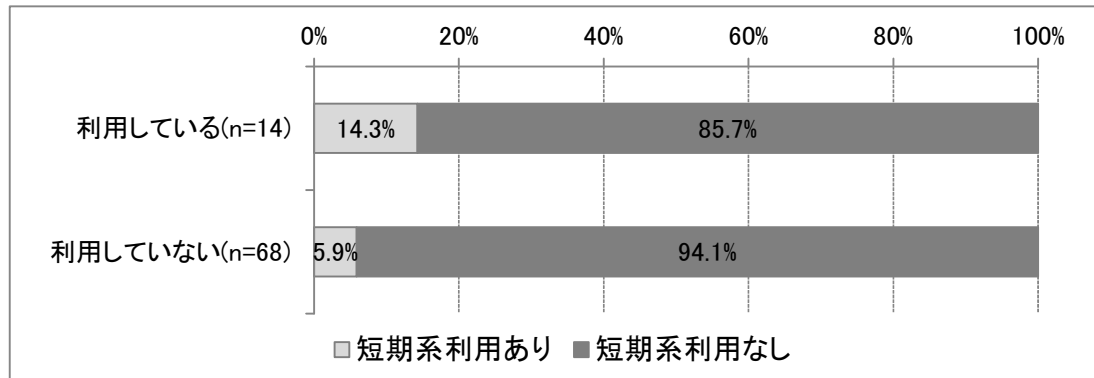


【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が85.7%、「短期系利用あり」が14.3%となっている。

「利用していない」では「短期系利用なし」が94.1%、「短期系利用あり」が5.9%となっている。

図表 5-10 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



## 6 サービス未利用の理由など

### 6.1 集計・分析の狙い

- ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。
- 主要なデータは、テーマ1～テーマ5において整理をしていますが、ここで整理する集計結果も必要に応じてご活用ください。

## 6.2 集計結果（参考）

### （１）要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

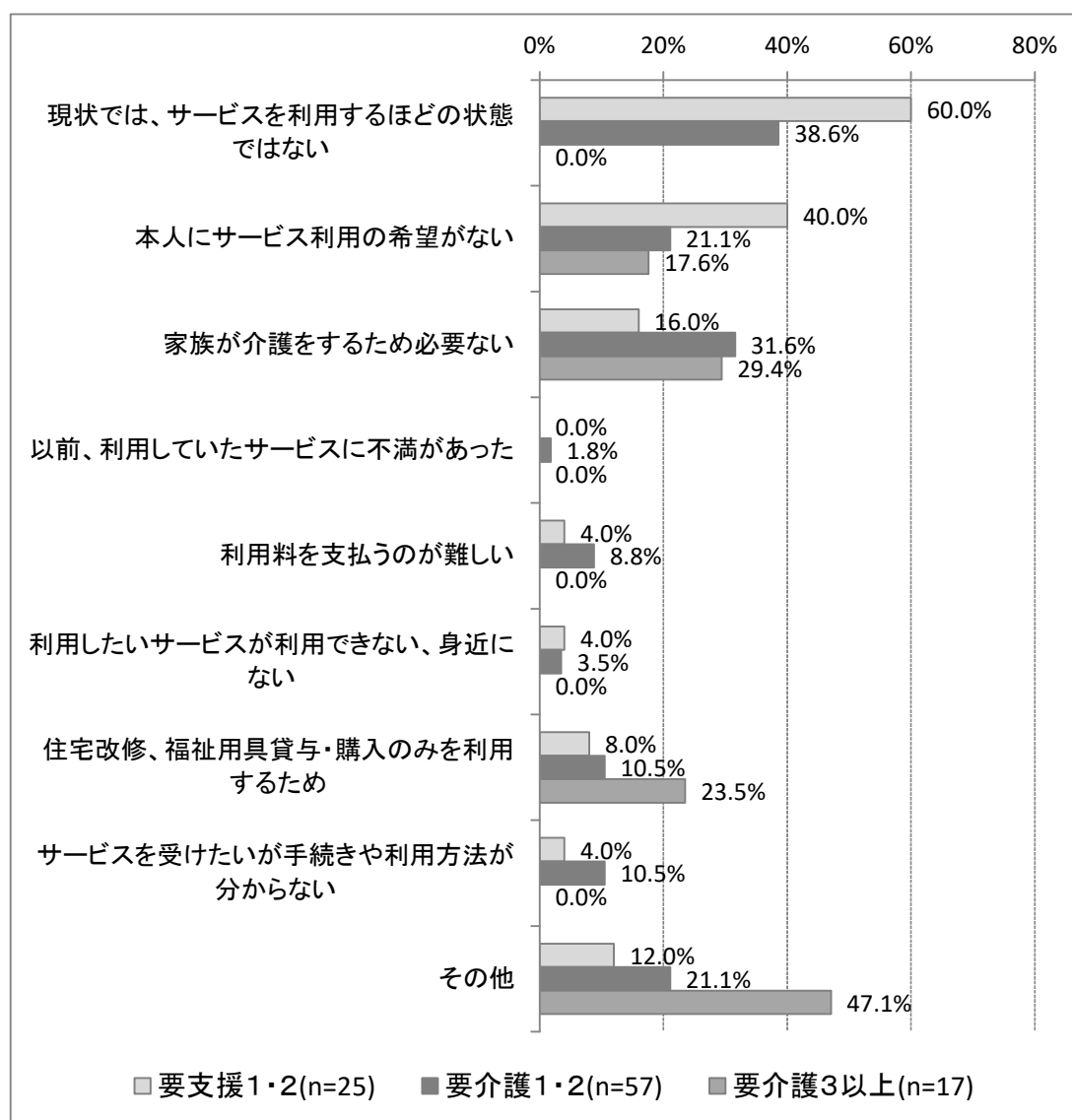
#### 【要介護度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が40.0%、「家族が介護をするため必要ない」が16.0%となっている。

「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が38.6%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が31.6%、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が21.1%となっている。

「要介護３以上」では「その他」が47.1%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が29.4%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が23.5%となっている。

図表 6-1 要介護度別の★サービス未利用の理由



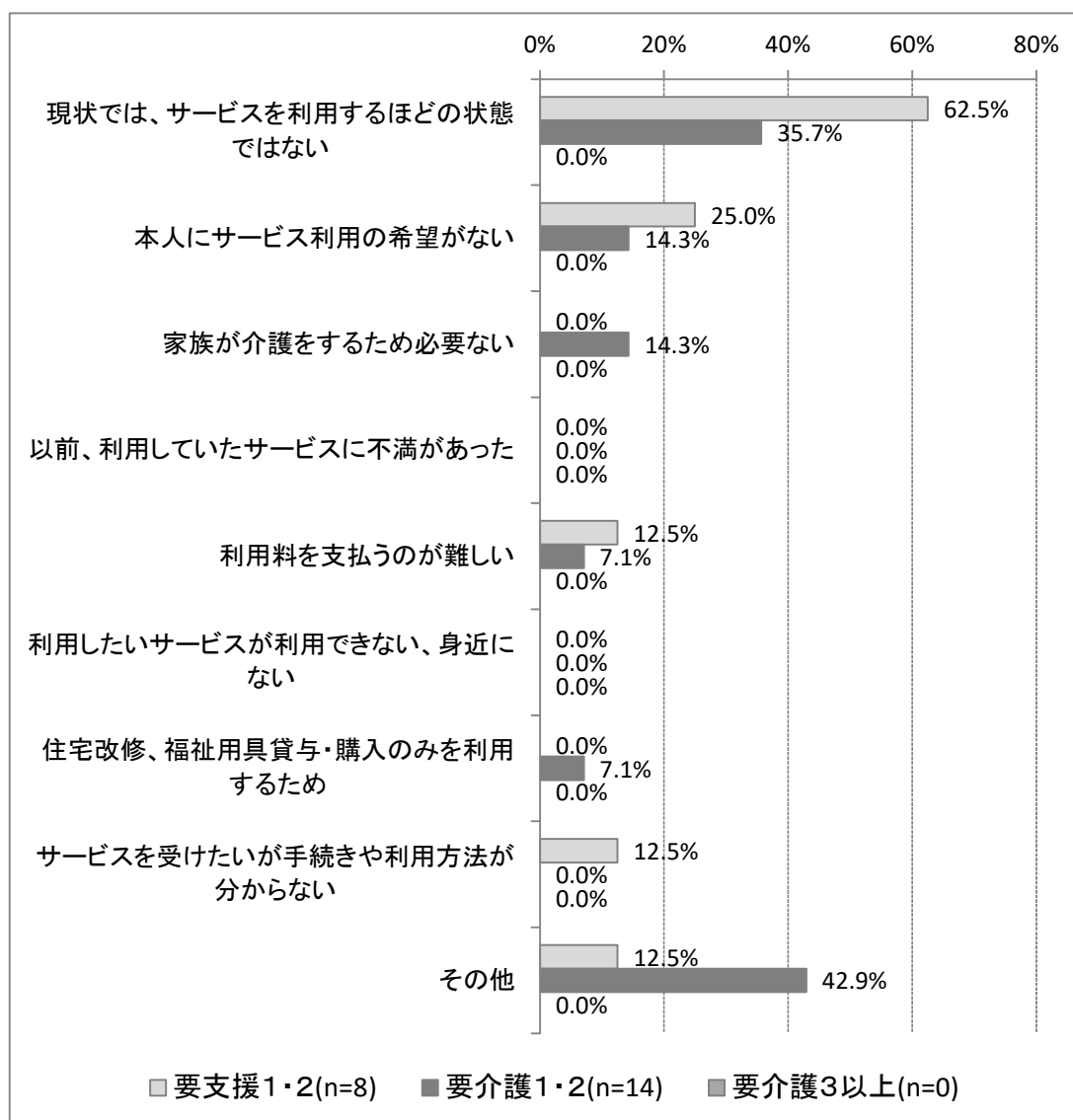
【要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.0%、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が12.5%となっている。

「要介護1・2」では「その他」が42.9%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.7%、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が14.3%となっている。

「要介護3以上」では該当者はいなかった。

図表 6-2 要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



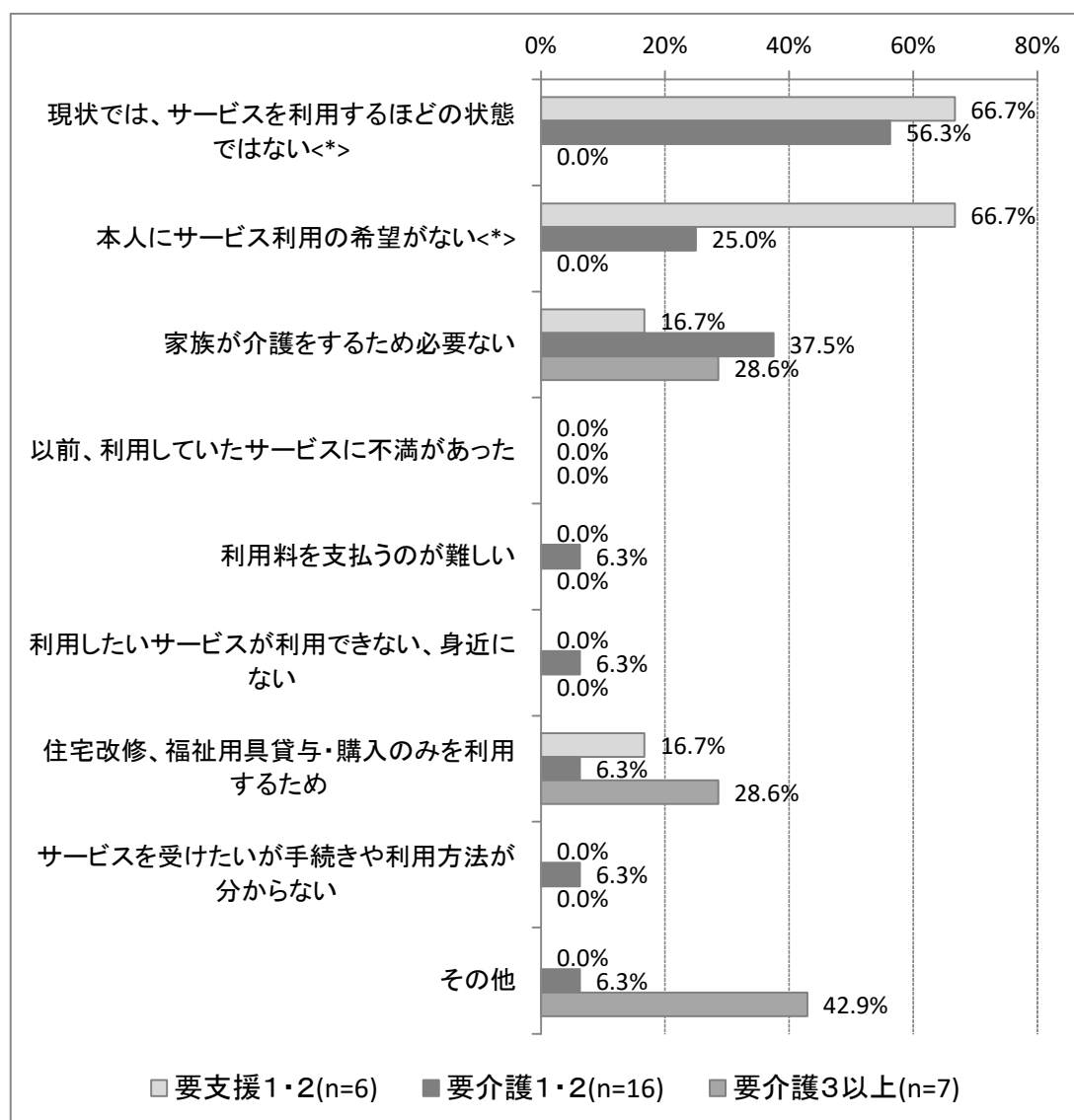
【要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 66.7%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 16.7%となっている。

「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 56.3%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 37.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が 25.0%となっている。

「要介護３以上」では「その他」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 28.6%となっている。

図表 6-3 要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



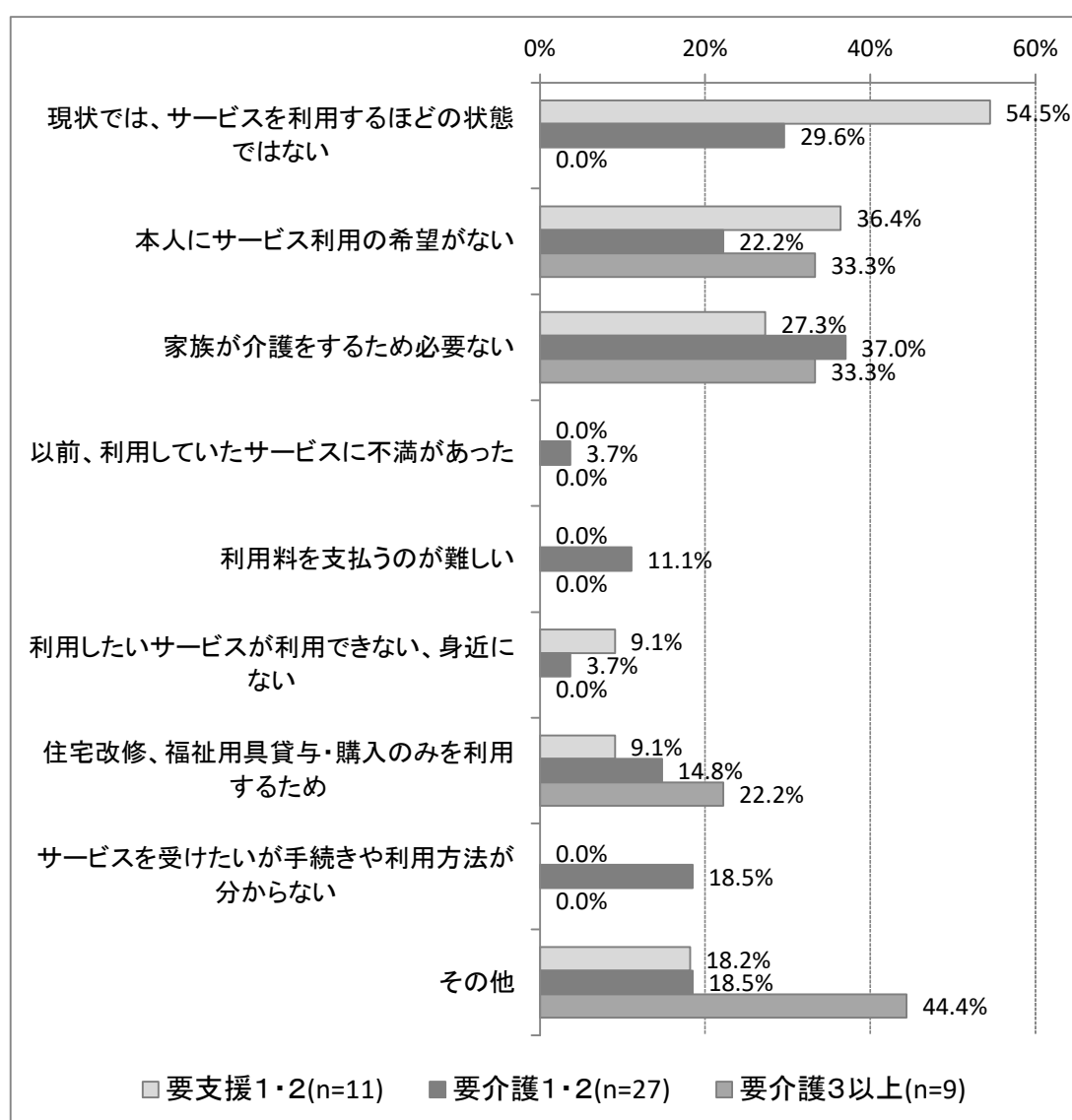
【要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が54.5%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が36.4%、「家族が介護をするため必要ない」が27.3%となっている。

「要介護1・2」では「家族が介護をするため必要ない」が37.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が29.6%、「本人にサービス利用の希望がない」が22.2%となっている。

「要介護3以上」では「その他」が44.4%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、 「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が22.2%となっている。

図表 6-4 要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）



## (2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

### 【認知症自立度別の★サービス未利用の理由】

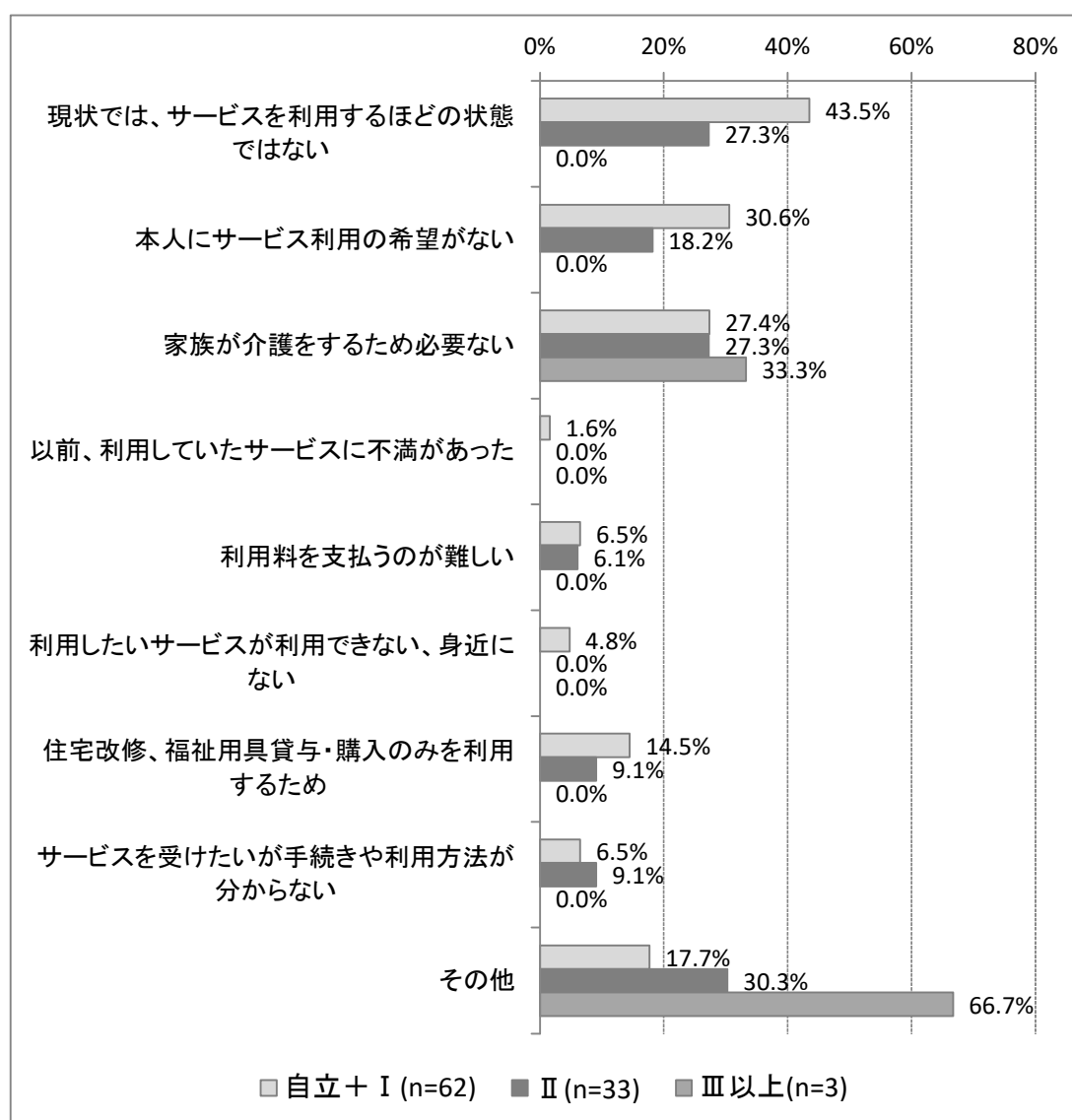
未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が43.5%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が30.6%、「家族が介護をするため必要ない」が27.4%となっている。

「Ⅱ」では「その他」が30.3%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が27.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が18.2%となっている。

「Ⅲ以上」では「その他」が66.7%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が33.3%となっている。



図表 6-5 認知症自立度別の★サービス未利用の理由



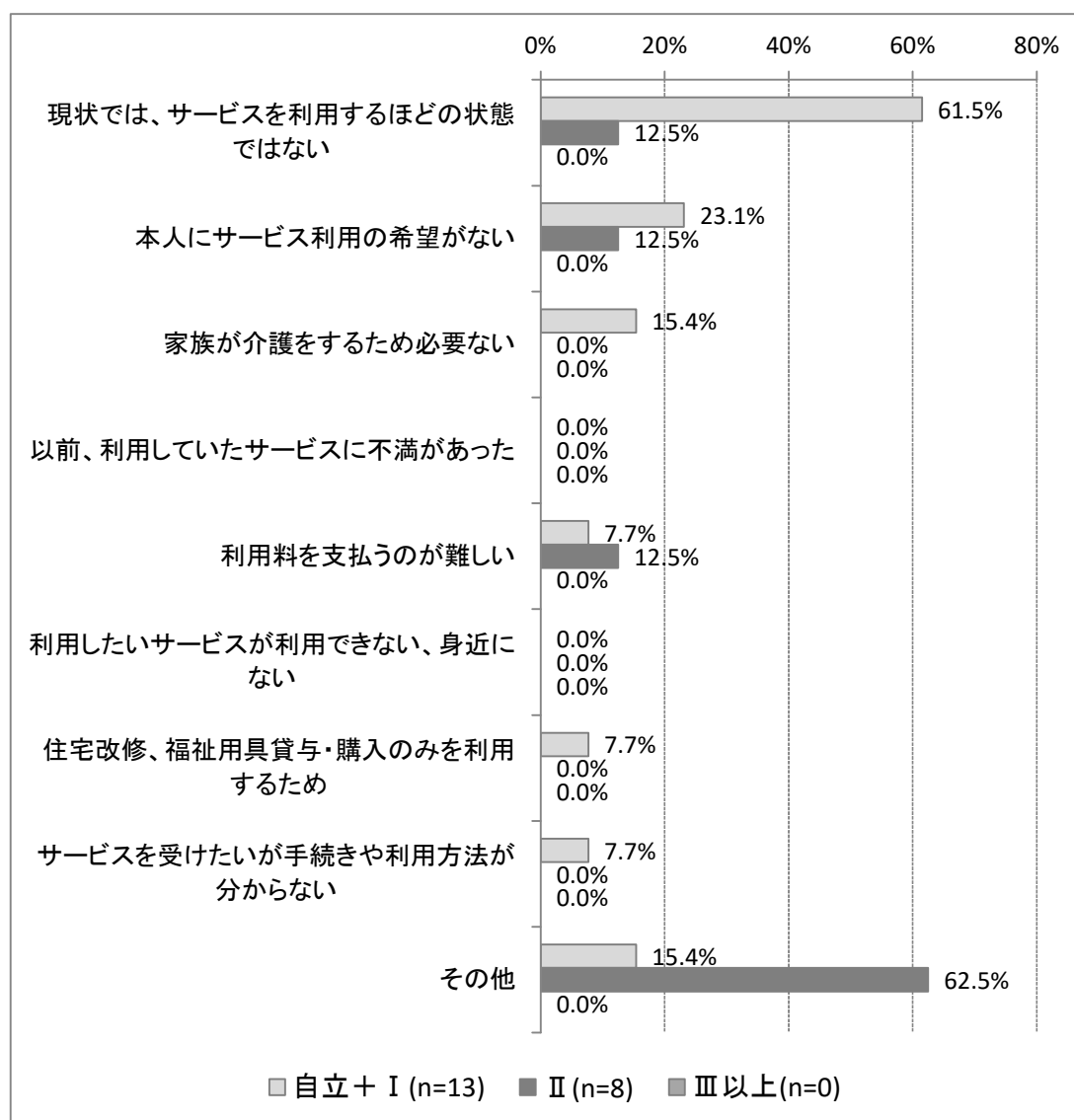
【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が61.5%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.1%、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が15.4%となっている。

「Ⅱ」では「その他」が62.5%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「利用料を支払うのが難しい」が12.5%となっている。

「Ⅲ以上」では該当者はなかった。

図表 6-6 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



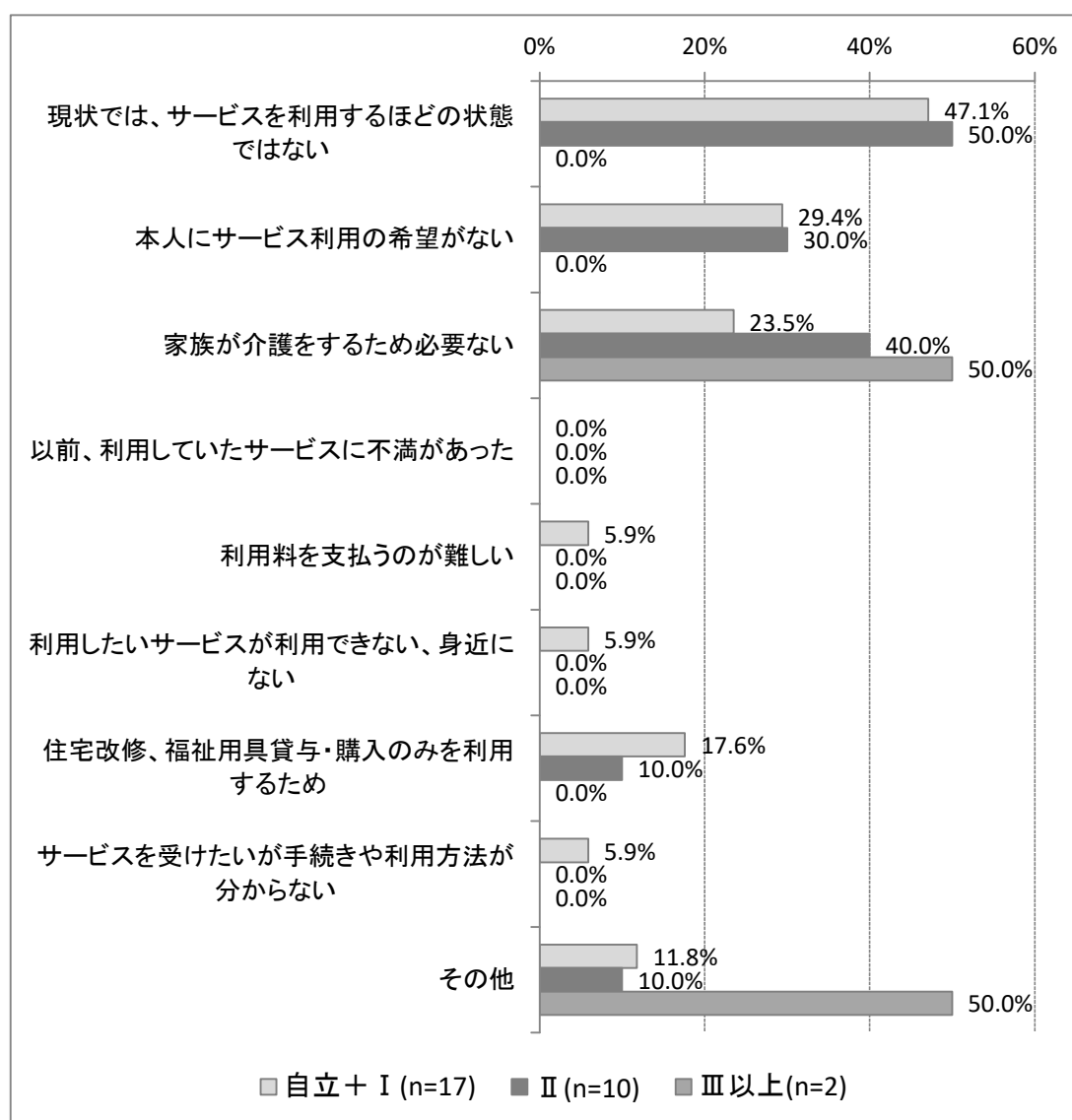
【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が29.4%、「家族が介護をするため必要ない」が23.5%となっている。

「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が40.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が30.0%となっている。

「Ⅲ以上」では「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が50.0%となっている。

図表 6-7 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



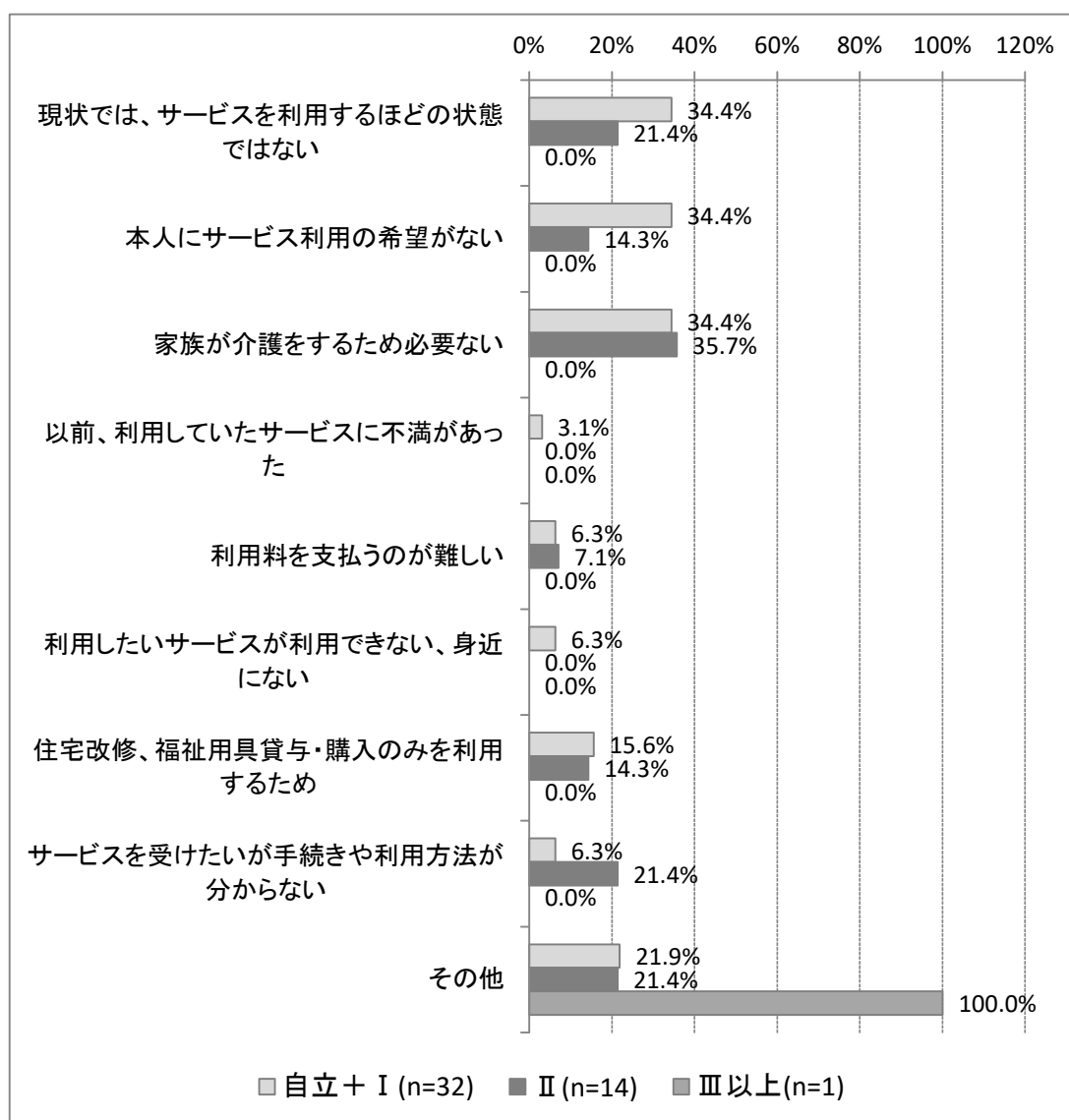
【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が34.4%と最も割合が高く、次いで「その他」が21.9%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が15.6%となっている。

「Ⅱ」では「家族が介護をするため必要ない」が35.7%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が21.4%、「本人にサービス利用の希望がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が14.3%となっている。

「Ⅲ以上」では「その他」が100.0%となっている。

図表 6-8 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）



### (3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス

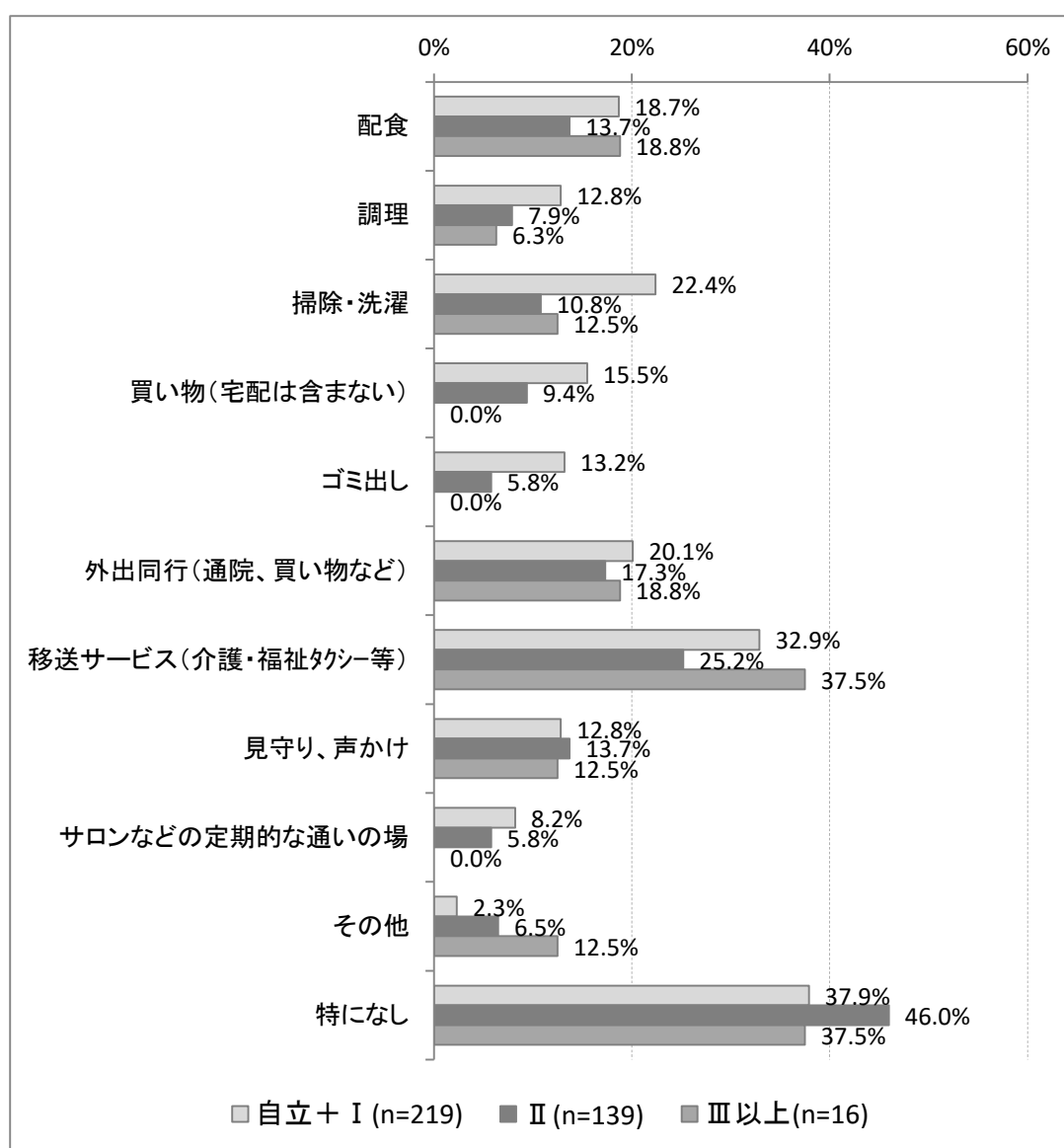
#### 【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が37.9%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.9%、「掃除・洗濯」が22.4%となっている。

「Ⅱ」では「特になし」が46.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.3%となっている。

「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」が37.5%と最も割合が高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が18.8%、「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が12.5%となっている。

図表 6-9 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス



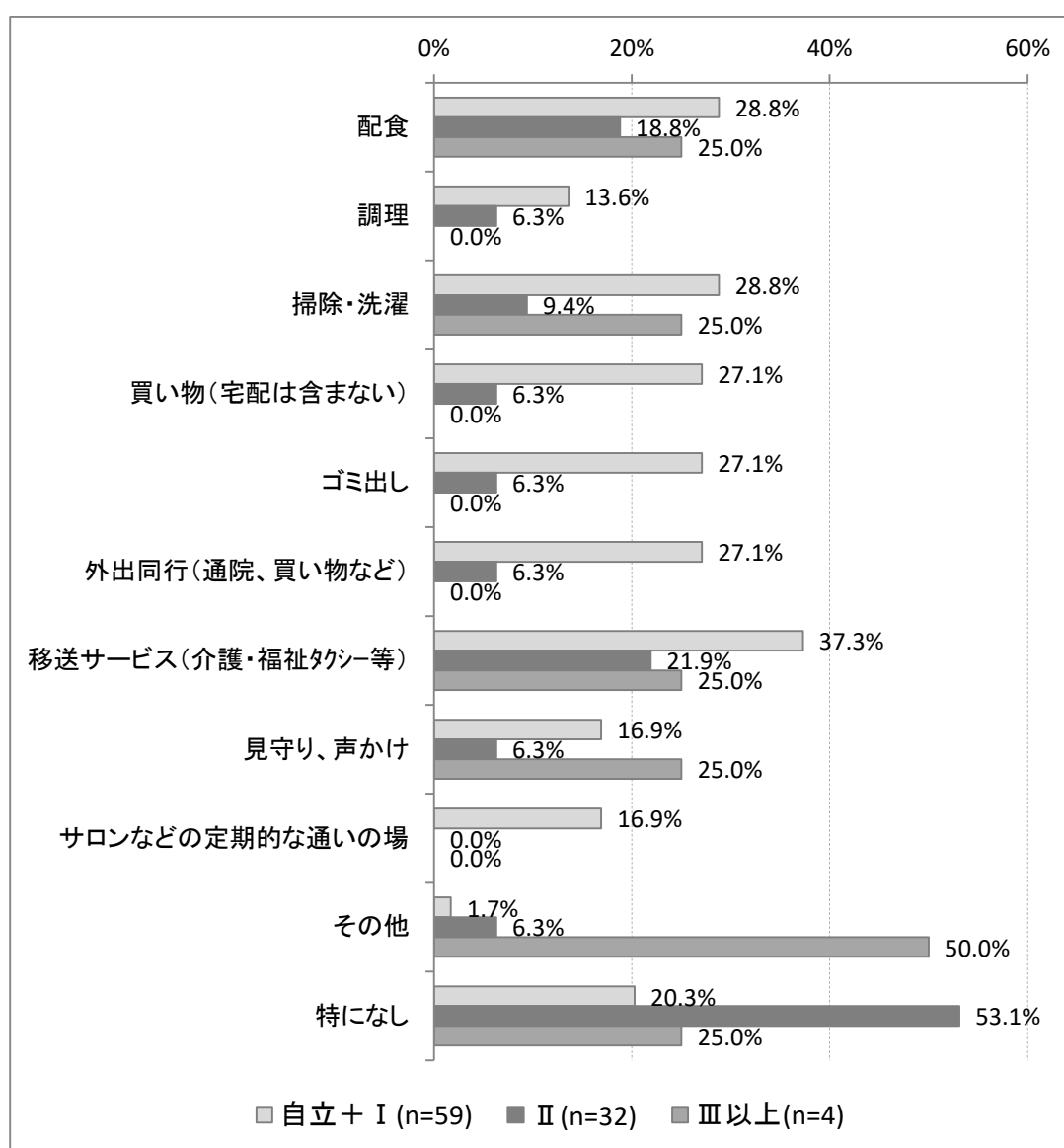
【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が37.3%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」が28.8%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が27.1%となっている。

「Ⅱ」では「特になし」が53.1%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.9%、「配食」が18.8%となっている。

「Ⅲ以上」では「その他」が50.0%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」、「特になし」が25.0%となっている。

図表 6-10 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）





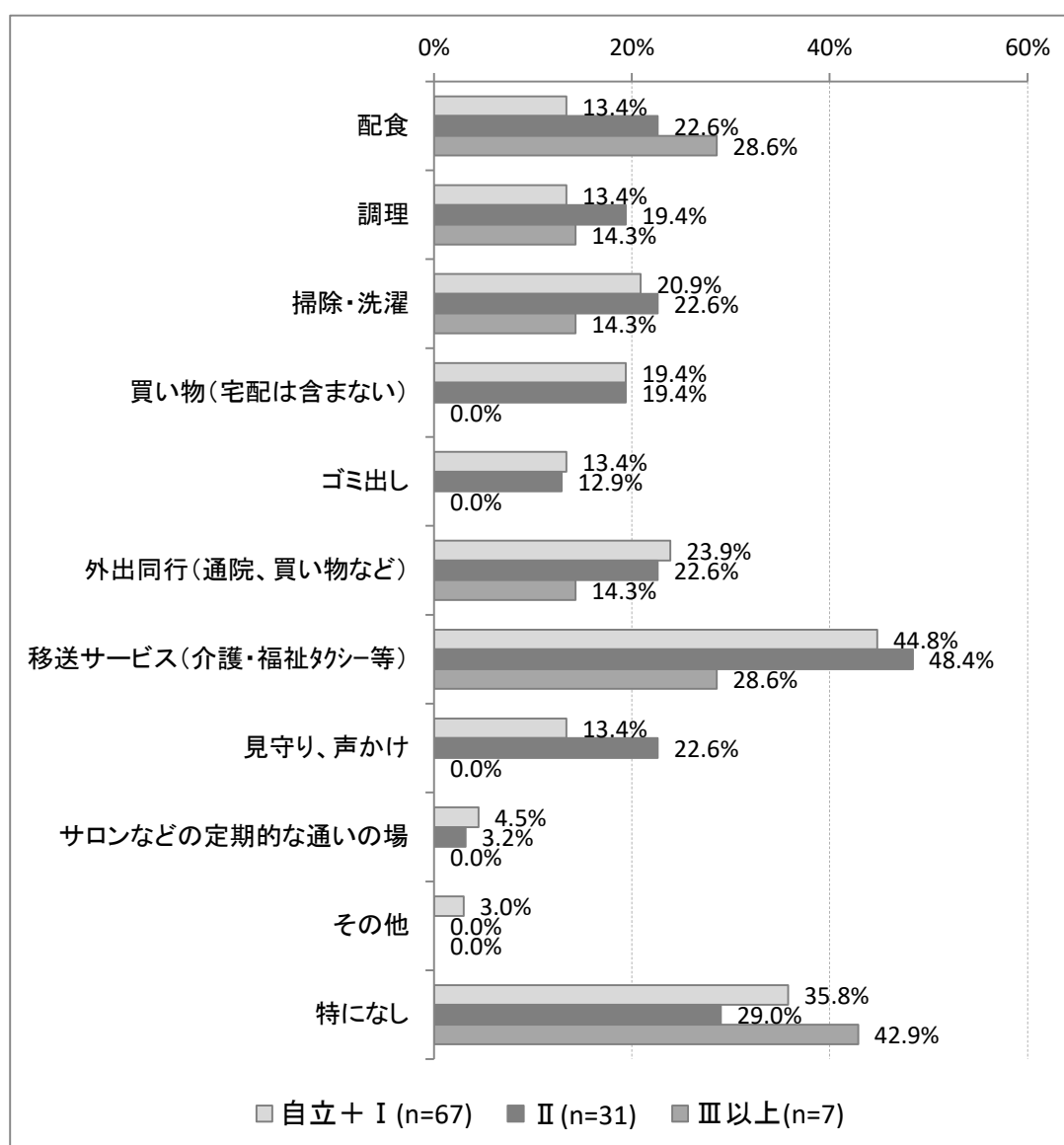
【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が44.8%と最も割合が高く、次いで「特になし」が35.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.9%となっている。

「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が48.4%と最も割合が高く、次いで「特になし」が29.0%、「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が22.6%となっている。

「Ⅲ以上」では「特になし」が42.9%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.6%、「調理」、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が14.3%となっている。

図表 6-11 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



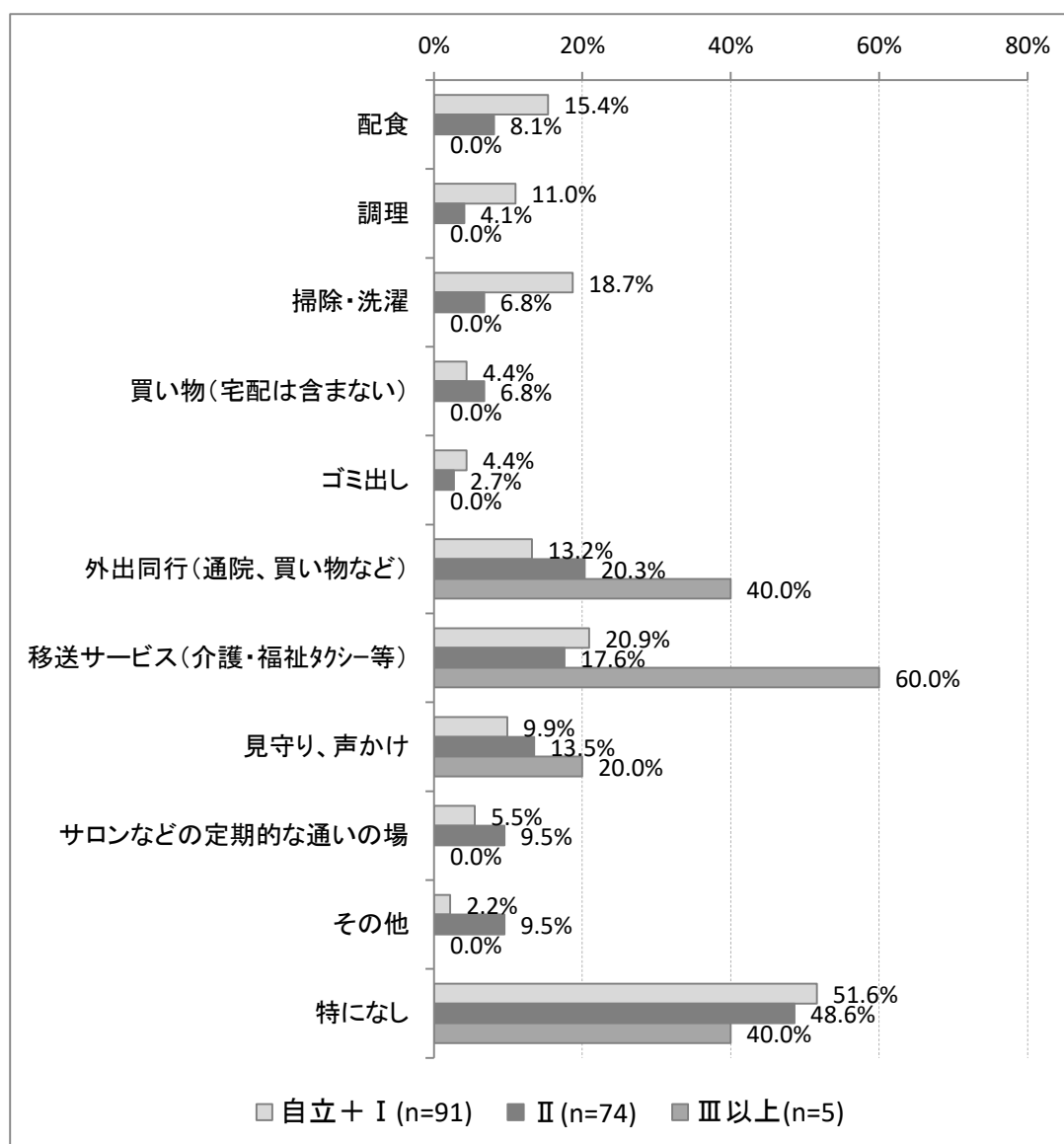
【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が51.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.9%、「掃除・洗濯」が18.7%となっている。

「Ⅱ」では「特になし」が48.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が20.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.6%となっている。

「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が60.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「特になし」が40.0%、「見守り、声かけ」が20.0%となっている。

図表 6-12 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



#### (4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

##### 【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65歳未満」では「60歳代」が43.8%と最も割合が高く、次いで「40歳未満」、「50歳代」が18.8%、「70歳代」が12.5%となっている。

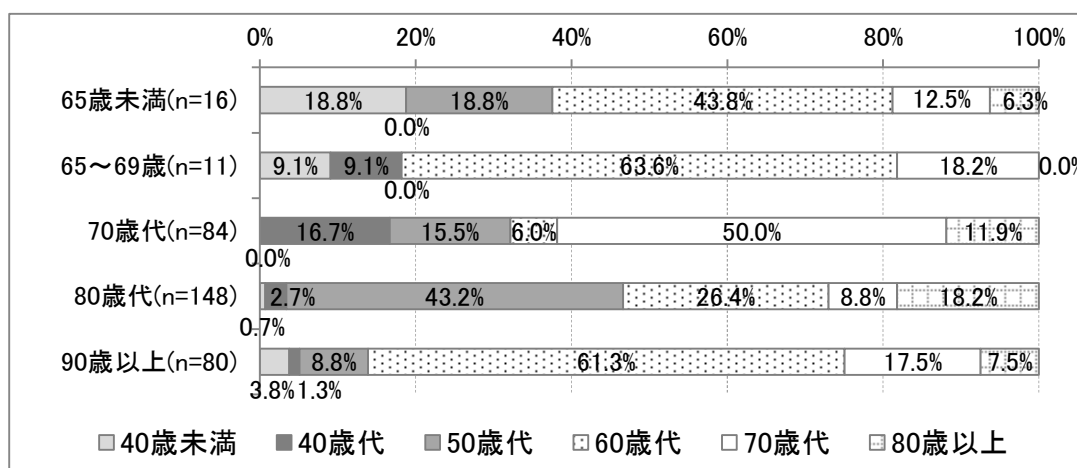
「65～69歳」では「60歳代」が63.6%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が18.2%、「40歳未満」、「40歳代」が9.1%となっている。

「70歳代」では「70歳代」が50.0%と最も割合が高く、次いで「40歳代」が16.7%、「50歳代」が15.5%となっている。

「80歳代」では「50歳代」が43.2%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が26.4%、「80歳以上」が18.2%となっている。

「90歳以上」では「60歳代」が61.3%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が17.5%、「50歳代」が8.8%となっている。

図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢<\*\*\*>



#### (5) 要介護度別の抱えている傷病

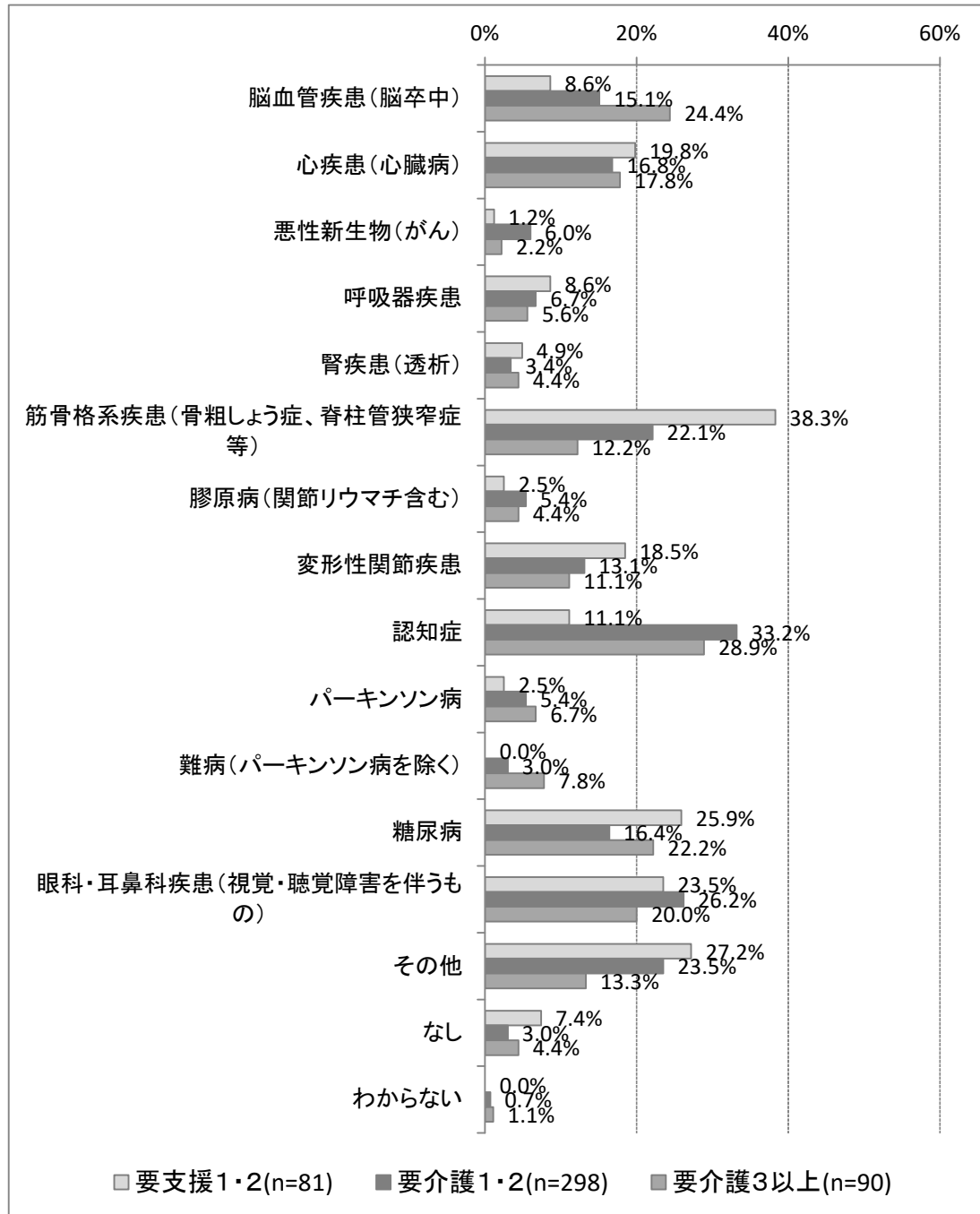
##### 【要介護度別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が38.3%と最も割合が高く、次いで「その他」が27.2%、「糖尿病」が25.9%となっている。

「要介護1・2」では「認知症」が33.2%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.2%、「その他」が23.5%となっている。

「要介護3以上」では「認知症」が28.9%と最も割合が高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が24.4%、「糖尿病」が22.2%となっている。

図表 6-14 要介護度別・★抱えている傷病



(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「認知症」が31.6%と最も割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が23.7%、「その他」が21.1%となっている。

「利用していない」では「認知症」が29.2%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.6%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.4%となっている。

図表 6-15 ★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病

